

厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)

稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究

平成 26 年度～28 年度 総合研究報告書

研究代表者 天谷雅行

平成 29 (2017) 年 3 月

目次

- -総合研究報告

- ・稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究 1
研究代表者 天谷雅行 慶應義塾大学医学部皮膚科 教授

- -研究成果の刊行に関する一覧表 40

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）
総合研究報告書

稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究
研究代表者 天谷雅行 慶應義塾大学医学部皮膚科 教授

【研究要旨】

本研究班は、稀少難治性皮膚疾患を対象として、全国疫学調査、QOL調査等による科学的根拠の集積・分析を推進するとともに、医療情報提供と社会啓発活動を通して、臨床現場における医療の質の向上を図り、国民への研究成果の還元を促進することを目的としている。あわせて日本皮膚科学会などの関係学会と連携しながら、エビデンスに基づいた診療ガイドラインの作成・改訂や国際シンポジウムの開催など、グローバルな情報発信を行う。

安定的な医療費助成制度の確立をめざし、新たに成立した「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づいた難病対策が2015年7月1日から施行された。本研究班では、新制度の要求に沿った形で、2014年度から疾患概要の整備、診断基準および重症度判定基準の設定を行い、類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）、先天性魚鱗癬、弾性線維性仮性黄色腫、眼皮膚白皮症、特発性後天性無汗症（2016年度より独立した研究班へ）、肥厚性皮膚骨膜炎（2015年度より独立した研究班へ）が新規の難病に認定される上での基礎情報を提供した。また、既に指定難病として認定されていた天疱瘡、表皮水疱症、膿疱性乾癬についても、より客観性の高い重症度判定基準の導入を提案し、医療費助成対象の選定基準の見直しを行った。また疾患を横断する研究として、症例登録（レジストリ）、疫学調査、生体試料集積、統括的ゲノム解析、医療情報提供が行われ、一部の疾患では合併症リスクの解析など、統合的な成果が見られつつある。

新しい難病対策は、まだ全国的に浸透していない可能性もあり、診断基準・重症度判定基準の妥当性の評価とともに調査研究班として注意深く経過を見ていく必要がある。また、全国的に指定難病全般の診断および治療水準を引き上げるため、今後も診療ガイドラインの策定・最適化を進めていく。

A. 研究目的

本研究班は、原因不明で治療法が確立していない難治性皮膚疾患に対する医療の基盤を強化するため、各疾患の診断基準・重症度分類基準の策定と普及、疫学調査とデータベースの作成、全国共通で国際的に通用する診療ガイドラインの策定・改訂を目的とする。

1. 各疾患群の研究

[天疱瘡] 診療ガイドラインの最適化・改訂を目的とした臨床研究（ガイドラインに基づいた治療成績の評価など）を施行する。

[類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）] 2015年より指定難病に追加された。客観性の高い診断基準および重症度分類、診療ガイドラインを作成する。

[膿疱性乾癬] 診断基準・重症度判定基準を整備するとともに、診療ガイドラインを改訂する。また、診療ガイドラインの有用性について検証する。

[表皮水疱症] 2015年より重症の単純型も指定難病の認定を受けることができるようになった。診断基準および重症度判定基準の妥当性を評価するとともに、診断および治療法選択について標準的医療の提供を可能にする診療ガイドラインを作成する。

[先天性魚鱗癬] 2015年より厚生労働省の指定難病に追加された。患者重症度分類の確立とQOL調査を通じて、診療ガイドライン策定を進める。

[弾性線維性仮性黄色腫] 2015年より指定難病に追加された。患者の実態調査に基づいた診療ガイドラインを作成する。

[眼皮膚白皮症] 2015年より指定難病に追加された。2014年に発表された診療ガイドラインの補完と、難病申請の実状に役立つように最適化をはかる。

[遺伝性血管性浮腫] 日本での罹患実態を明らかにして、治療薬の位置づけと使用法を確立するとともに、医学的および社会的な側面から診療体制を構築する。

2. 共通研究課題

[症例登録と疫学解析] 全国規模での各疾患の症例登録を進めるとともに、臨床疫学像・重症度分布を把握する。各疾患の臨床調査個人票に基づいたデータベースを解析する。

[医療情報提供と社会啓発] 本研究班の対象疾患に関して、患者および家族を対象とした啓発活動の推進、地域の一般臨床医や医療従事者への医療情報提供を行う。

[生体試料蓄積] 多施設共同で各疾患の臨床情報と連結可能な生体試料を寄託・管理・分譲できるネットワークシステムの整備・拡充に取り組む。

[統括的ゲノム解析] 各疾患における遺伝的背景や遺伝子型と臨床症状との相関関係等を明らかにすることで、診療ガイドラインの最適化に貢献する。

B. 研究方法

班員の所属施設を拠点として、対象となっている各疾患について臨床研究・症例登録・生体試料収集に取り組むとともに、得られた成果を患者に還元するため医療情報共有と社会啓発活動を継続的に展開する。

1. 各疾患群の研究

[天疱瘡] 臨床症状スコアであるPDAIによる重症度判定に関する評価、診療ガイドラインに基づいた治療成績の評価、新しい自己抗体検査法であるCLEIA法の臨床的有用性についての検討を行なった。

[類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）] 指定難病としての診断基準および重症度判定基準を策定するため、臨床症状スコアBPDAIによる重症度判定の評価を行なった。また、自己免疫性水疱症の診療拠点となっている全国8つの大学病院皮膚科からなる「類天疱瘡診療ガイドライン作成委員会」を組織し、ガイドライン策定作業を行った。

[膿疱性乾癬] IL-36RN遺伝子異常などの新知見を盛り込んだ診断基準、重症度判断基準の見直しを行なった。また診療ガイドラインの英語版を作成するとともに、新しい治療のエビデンスに基づいた診療ガイドラインの普及と改訂の準備、患者QOL調査を行った。

[表皮水疱症] 全身症状を盛り込みつつ客観性を高めるため、スコアに基づいた新しい重症度判定基準を提案するとともに、その有用性・汎用性・妥当性について検討した。またガイドライン作成委員会を組織し、疫学・病態・診断・治療のそれぞれについて必要な最新情報を整理して、診療ガイドライン策定作業を進めた。

[先天性魚鱗癬] 病型分類、診断基準、重症度判定基準の策定を行なった。診療ガイドライン作成の準備として、重症度調査票の整備とQOL調査を行った。

[弾性線維性仮性黄色腫] 全国的疫学調査および罹患実態調査の結果をもとに、診断基準・重症度判定基準を設定し、皮膚科・眼科・循環器科の医師を中心にガイドライン作成委員会を組織して、診療ガイドラインの草稿を準備した。

[眼皮膚白皮症] 小児慢性特定疾患との整合性を検討しながら、診断基準、重症度判定基準の策定を行なった。疫学に関する全国調査を行うとともに、診療ガイドライン最適化を進めた。

[遺伝性血管性浮腫]、患者に対するアンケート調査を施行して罹患実態を把握するとともに、国際ガイドライン、海外で使用されている患者レジストリの状況を調査し、日本に適したレジストリ構築を検討した。

2. 共通研究課題

[症例登録と疫学解析] 症例レジストリに登録されたデータ、臨床調査個人票データベースを活用して、膿疱性乾癬における頻回再発や関節症合併のリスクについて、天疱瘡における免疫抑制剤の併用効果などを検討した。

[医療情報提供と社会啓発] ホームページ掲載を継続するとともに、天疱瘡・類天疱瘡、表皮水疱症、魚鱗癬の患者会について、医学的側面からサポートするとともに会員からの情報収集を行った。

[生体試料蓄積] 2009年度に構築された基本的枠組みを生かしつつ、独立行政法人・医薬基盤研究所・難病研究資源バンクと提携しながら生体試料収集を継続した。

[統括的ゲノム解析] 生体試料バンクとの連携体制を整えるとともに、天疱瘡の新規患者試料の受け入れ、ゲノムDNAの抽出と保存を行なった。

【倫理面への配慮】

本研究は、「臨床研究に関する倫理指針」(平成20年厚生労働省公示第415号)を遵守する。また「ヘルシンキ宣言(2000年改訂)」の趣旨を尊重し、医の倫理に十分配慮して行う。疫学調査は「疫学研究に関する倫理指針(文部科学省、厚生労働省、平成20年12月1日改正)」に基づき、倫理委員会の承認を得た上で行う。各分担施設に関しても同様に行う。以下は、倫理規定による承認。

<慶應義塾大学>

1)「稀少難治性皮膚疾患臨床統計調査研究計画」(20090016)

2)「ステロイド治療抵抗性の天疱瘡患者および類天疱瘡患者、後天性表皮水疱症患者を対象としたRituximabの効果・安全性の探索的研究」(20090040)

3)「天疱瘡における遺伝的背景の検索」(20090066)

4)「患者検体を用いた自己免疫性皮膚疾患発症機序の解明」(20120180)

5)「ステロイド治療抵抗性の自己免疫性水疱症患者を対象とした維持投与を含むRituximab治療 Rtx-BD Trial (Rituximab of Intractable Autoimmune Bullous Disease Trial)2」(20140238)

<北海道大学>

6)「新規ELISAを用いた水疱性類天疱瘡診断システムの開発」(012-0173)

< 岡山大学 >

7) 「天疱瘡における遺伝的背景の検索」(127)

8) 「天疱瘡患者における改良ELISA法で検出される病因性抗体値と疾患活動性との関連性についての解析」(893)

9) 「ステロイド治療抵抗性の天疱瘡患者および類天疱瘡患者、後天性表皮水疱症患者を対象としたRituximabの効果・安全性の探索的研究」(1015, 1492)

10) 「稀少難治性皮膚疾患臨床情報レジストリ研究計画」(651)

11) 「稀少難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究」(232, 239)

< 名古屋大学 >

12) 「遺伝性角化異常症の遺伝子診断」(1088-4)

< 順天堂大学 >

13) 「稀少難治性皮膚疾患臨床情報レジストリ研究計画」(2013037, 03-031)

14) 「稀少難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究」(202137, 897)

15) 「先天性魚鱗癬の重症度と QOL 調査」(14-135)

< 長崎大学 >

16) 「多施設患者登録システムによる、弾性線維性仮性黄色腫の臨床像、自然経過、予後、病因、治療の反応性の解析」(100802191)

< 新潟大学 >

17) 「天疱瘡における遺伝的背景の検索」(408)

18) 「遺伝性皮膚疾患の遺伝子解析」(517)

19) 「自己免疫性水疱症の遺伝子解析研究」(558)

< 山口大学 >

20) 「稀少難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究」(H23-33-2, 151)

21) 「稀少難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究」(H23-33-3, 151)

22) 「膿疱性乾癬の発症に關与する遺伝要因の解明」(H24-84, 161)

< 山形大学 >

23) 「遺伝性色素異常症患者の遺伝子診断」(H24-139)

< 久留米大学 >

24) 「自己免疫性水疱症の遺伝子解析研究」(127)

25) 「自己免疫性水疱症の自己抗体研究」(12164)

26) 「自己免疫性水疱症に関するアンケート調査研究」(14089)

C. 研究成果

1. 各疾患群の研究

[天疱瘡] 研究結果に基づいて、PDAIによる重症度判定基準のカットオフ値(重症25点以上、中等症9~24点、軽症8点以下)を提案した。また、慶應義塾大学でガイドラインに基づいて初期治療が行われた天疱瘡患者62例において、1年以内に64.5%、2年以内に90.3%が寛解(プレドニゾロン換算で10mg/日以下の治療で2ヶ月間病変がない状態)となっていた。ただし72.6%で有害事象が見られ、そのうち6例は重篤と判断された。また、CLEIA法による自己抗体価は、臨床症状スコアの動きに一致して変動することが示され、従来の

ELISA法と同等以上に有用であることが示された。

[類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)] 水疱性類天疱瘡(BP)、粘膜類天疱瘡(MMP)、後天性表皮水疱症(EBA)を包含し、I.概要、II.診断基準と重症度判定基準、III.治療指針から構成される診療ガイドラインを完成できた。2017年2月に日本皮膚科学会理事会にて承認され、まもなく公開される予定。

[膿疱性乾癬] 診療ガイドラインに、新しい治療法である生物学的製剤、顆粒球・単球吸着療法などを組み入れて改訂した。また、膿疱性乾癬におけるIL36RNなどの遺伝子変異の検査が実臨床に応用されていることから、臨床調査個人票を改訂した。診療ガイドライン英語版が、まもなく公開される予定である。

[表皮水疱症] 病型に関わらず皮膚症状および合併症をスコア化して重症度を判定できるように重症度判定基準を改定した。これまで特定疾患に認定されなかった単純型でも、広範囲の水疱形成や歩行障害などの症状を呈する症例は特定疾患と認定されるようになった。また、ガイドライン作成委員会を組織して診療ガイドライン案を作成した。

[先天性魚鱗癬] 病型分類を、1.ケラチン症性魚鱗癬、2.道化師様魚鱗癬、3.道化師様魚鱗癬以外の常染色体劣性遺伝性魚鱗癬、4.魚鱗癬症候群の4亜型とし、指定難病の認定に用いられうる診断基準と重症度診断基準を策定した。過去の調査研究で得られた魚鱗癬症候群の臨床データをもとに皮膚の重症度について解析したところ、症例間の多様性が観察された。

[弾性線維性仮性黄色腫] 患者データをもとに、診断基準の改定およびスコア化による重症度判定基準を策定した。スコア化により、全国の罹患実態が詳細に把握され、海外の症例に比較して日本の患者では重症度が有意に低いことが示された。

[眼皮膚白皮症] 全国調査の結果、年間患者数の概数が把握できた。指定難病の拡大に際して、より生命に関わる症状の有無、日常のQOLに最も大きな影響を与える視力障害が重視されるように、診断基準および重症度判定基準を再評価した。また、147例の眼皮膚白皮症および疑い患者の遺伝子診断によるサブタイプ解析の結果、以前の報告とほぼ同様、4型、1型の順に多いことがわかった。ただし42例(28.6%)では、原因遺伝子は不明のままである。2017年2月、日本皮膚科学会雑誌にガイドラインの補遺を発表した。

[遺伝性血管性浮腫] 全国調査の結果、日本における患者数が増加傾向にあることが確認された。世界アレルギー機構(WAO)が作成した国際ガイドラインを翻訳し、原著者の承諾を得て日本アレルギー学会誌で発表した。アンケート調査の結果、患者一人あたり1年間で平均18回の発作があり、精神的な不安を感じながら日常生活を送っており、約70%の患者が自己注射を希望していることが判明した。レジストリ構築に関して、ウェブサイト上で登録可能なプラットフォームについて検討した。

2. 共通研究課題

[症例登録と疫学解析] 多重ロジスティックモデルによる膿疱性乾癬発症4年後の関節症合併リスクについて解析が可能となった。その結果、尋常性乾癬の既往あり、全身性の紅斑および膿疱形成、白血球 $10000 (/mm^3)$ 以上、赤沈(mm/60分)50以上、CRP(mg/dl)7.0以上、RA陽性のオッズ比が2以上と高かったが有意ではなかった。

[医療情報提供と社会啓発] ウェブサイトでの情報更新を継続するとともに、「天疱瘡・類天疱瘡友の会」、「魚鱗癬の会」、「表皮水疱症患者会」などの交流会で情報発信を行っ

た。またアンケート調査などを通じて、より要望に応える形態について検討を重ねた。

[生体試料蓄積] 既に集積された生体試料 (DNA) のうち、本研究班の対象疾患は、天疱瘡6検体、膿疱性乾癬5検体、表皮水疱症 (単純型) 3検体、先天性魚鱗癬4検体、類天疱瘡5検体である。原因遺伝子が同定されているものについては、当該遺伝子の変異情報も付与するように努めた。

[統括的ゲノム解析] 2016年度内に収集された48名分の天疱瘡患者からのゲノムDNAをSNPアレイで解析し、これまでの144名分のデータと合わせて健常人日本人のゲノムデータと比較して統計学的処理を行い、疾患感受性遺伝子の候補が複数同定された。

D. 考 察

3年間の総括について以下に述べる。

1. 各疾患群の研究

[天疱瘡] 臨床症状スコアPDAIによる重症度判定、またCLEIA法で測定した血清抗体価を用いた診断・病勢評価の妥当性・有用性は、今回の研究を通じて普及しつつある。抗CD20抗体療法をはじめとした新たな治療法が今後導入されることが予想されるが、現行の診療ガイドラインによる治療成績評価なども進められており、将来的なガイドライン最適化に向けて重要な知見が得られた。

[類天疱瘡 (後天性表皮水疱症を含む)] 2015年より新たに指定難病となった時期に一致して診断基準・重症度判定基準を確立し、診療ガイドラインを発表できたことは有意義であった。ただ、診療ガイドラインの策定にあたり、特に粘膜類天疱瘡、後天性表皮水疱症についてはエビデンスレベルの高い報告に乏しいことがあらためて判明した。今後もエビデンスを蓄積して、より正確かつ実用的なガイドラインにしていく必要があると考えられた。

[膿疱性乾癬] 診断基準および重症度判定基準の整備、小児慢性特定疾病との連携、新しい治療 (生物学的製剤など) を含んだ診療ガイドラインの改訂、国際シンポジウムの開催による問題共有と発信などが計画的に進められた。

[表皮水疱症] 2015年より診断基準および重症度判定基準が見直され、各病型を統合的に管理できる診療ガイドライン作成が進んでいる。また、スコアによる重症度判定は、客観的な観察から採点することが可能であり、汎用性に優れていると考えられた。

[先天性魚鱗癬] 2015年から新たに指定難病となった時期に一致して、客観的な診断基準・重症度判定基準を策定できたことは有意義と考えられた。症例数が限られるため容易ではないものの、将来的には重症度とQOLについての調査の進行とともに、各病型における診療ガイドラインの作成が期待される。

[弾性線維性仮性黄色腫] 2015年から新たに指定難病となった時期に一致して、客観的な診断基準・重症度判定基準を策定できたことは有意義であった。海外に比べて日本の症例で重症度が低いことは興味深く、人種や遺伝的背景、ライフスタイルなどに起因する可能性が考えられた。

[眼皮膚白皮症] 2015年から新たに指定難病となった時期に一致して、臨床現場で適用しやすい客観的な症状や検査値による診断基準・重症度判定基準を策定できた。サブタイプ解析では、他の民族に比べて日本人では、眼皮膚白皮症4型とHermansky-Pudlak症候群1型の相対頻度が高いことが改めて確認された。さらに眼皮膚白皮症の1型の相対頻度が低い

こと、3型は頻度が低いながらも存在することが明らかとなった。また、今後も継続して臨床的に使用しやすい診断基準・重症度判定基準の評価が必要になると考えられる。

[遺伝性血管性浮腫] 3年間の研究を通じて、罹患実態と患者の意識が検討され、日本においても、適切な治療体制を早急に導入する必要があるという課題が明確に示された。患者アンケート調査の結果から、多くの患者がより進んだ治療を希望しており、国際的な治療基準に比較して日本では治療の選択肢が限られる実状が明らかになった。

2. 共通研究課題

[症例登録と疫学解析] 本年度の研究で用いられた連結データは数が限られており、性別や既往歴で層別化した分析は困難だったが、症例登録事業で300例程度を5年以上良好に追跡できれば分析は可能と考えられた。指定難病の拡大に伴って、疫学調査・症例登録の重要性は高まるばかりである。将来的には症例レジストリおよびデータベースが充実し、それらを活用した診療ガイドラインの評価などが望まれる。

[医療情報提供と社会啓発] 今後も患者会への支援、社会啓発活動などを継続していく必要があると考えられ、ウェブサイト、パンフレットなどを通じた情報提供により、国民・患者および家族・医療従事者の理解や協力が得られれば、各疾患の調査・研究もさらなる発展が期待される。

[生体試料蓄積] 保存されている生体試料および参加施設は徐々に増加してきている。難治性疾患政策研究事業の基盤としての生体試料バンク事業をめざして、今後も試料収集と分譲業務などの管理・運営を行っていく。

[統括的ゲノム解析] 本年度までの研究で、HLAの遺伝子座の近傍に局在する遺伝子、表皮に発現している遺伝子上のSNPが患者群と健常人群で有意差を示し、複数の遺伝子が共通の遺伝子座に局在していることから、天疱瘡の発症に關与する染色体上の領域（疾患感受性領域）が同定されてきた可能性がある。今後、ガイドライン最適化に資する有用な情報が提供されることが期待される。

E. 結 論

本研究班の目的は、稀少難治性皮膚疾患における、1)診療ガイドライン作成・改訂、2)データベース作成・疫学解析、3)情報提供と社会啓発であり、各疾患グループと横断グループが協調しながら研究が進められた。新しい難病政策の施行に伴い、本研究班の対象疾患で2015年7月から拡大された指定難病（類天疱瘡、先天性魚鱗癬、弾性線維性仮性黄色腫、眼皮膚白皮症、特発性後天性全身性無汗症、肥厚性皮膚骨膜症）における診断基準と重症度判断基準の整備と検証、ガイドライン作成に向けた準備が主要な成果の一つとなった。既存の指定難病（天疱瘡、表皮水疱症、膿疱性乾癬）においても、より客観性の高い重症度判定基準が導入され、臨床調査個人票の見直しに貢献できたと考えられた。

F. 研究発表

（平成26年度）

論文発表

書籍（和文）

1. 青山裕美. 水疱症 自己抗体の抗原検索. 宮地良樹, 定番 皮膚科外来検査のすべて.

- 文光堂（東京），152-154，2014
2. 橋本隆．臓器特異性自己免疫性疾患のプロトタイプとしての自己免疫性水疱症の最新の知見．松村稔、吉田佳代、市原達矢，アレルギー・免疫11月号．医療ジャーナル社（大阪府），17-19，2014
 3. 武藤正彦．掌蹠角化症，渡辺晋一、古川福実，皮膚疾患 最新の治療2015-2016．南江堂（東京），145，2015

雑誌（欧文）

1. Tanahashi K, Sugiura K, Asagoe K, Aoyama Y, Iwatsuki K, Akiyama M: Novel TGM1 Missense Mutation p.Arg727Gln in a Case of Self-healing Collodion Baby. *Acta Derm Venereol*, 94(5): 589-590, 2014.
2. Shimizu T, Takebayashi T, Sato Y, Niizeki H, Aoyama Y, Kitajima Y, Iwatsuki K, Hashimoto T, Yamagami J, Werth VP, Amagai M, Tanikawa A: Grading criteria for disease severity by pemphigus disease area index. *J Dermatol*, 41(11): 963-973, 2014.
3. Committee for guidelines for the management of pemphigus disease, Amagai M, Tanikawa A, Shimizu T, Hashimoto T, Ikeda S, Kurosawa M, Niizeki H, Aoyama Y, Iwatsuki K, Kitajima Y: Japanese guidelines for the management of pemphigus. *J Dermatol*, 41(6): 471-486, 2014.
4. Niizeki H, Shiohama A, Sasaki T, Seki A, Kabashima K, Otsuka A, Takeshita M, Hirakiyama A, Okuyama T, Tanese K, Ishiko A, Amagai M, Kudoh J: The novel SLC02A1 heterozygous missense mutation p.E427K and nonsense mutation p.R603* in a female patient with pachydermoperiostosis with an atypical phenotype. *Br J Dermatol*, 170(5): 1187-1189, 2014.
5. Niizeki H, Shiohama A, Sasaki T, Seki A, Kabashima K, Otsuka A, Kosaki K, Ogo A, Yamada T, Miyasaka M, Matsuoka K, Hirakiyama A, Okuyama T, Matsuda M, Nakabayashi K, Tanese K, Ishiko A, Amagai M, Kudoh J: The complete type of pachydermoperiostosis: A novel nonsense mutation p.E141* of the SLC02A1 gene. *Dermatol Sci*, 75(3): 193-195, 2014.
6. Shimizu Y, Ogawa Y, Sugiura K, Takeda J, Sakai-Sawada K, Yanagi T, Kon A, Sawamura D, Shimizu H, Akiyama M: A palindromic motif in the -2084 to -2078 upstream region is essential for ABCA12 promoter function in cultured human keratinocytes. *Sci Rep*, 4: 6737, 2014.
7. Yoshihara N, Nakano H, Sawamura D, Ikeda S: Novel missense mutation of COL7A1 in a recessive dystrophic epidermolysis bullosa patient with mild clinical phenotype. *J Dermatol*, 41(10): 939-940, 2014.
8. Moritsugu R, Tamai K, Nakano H, Aizu T, Nakajima K, Yamazaki T, Sawamura D: Functional analysis of the nuclear localization signal of the POU transcription factor Skn-1a in epidermal keratinocytes. *Int J Mol Med*, 34(2): 539-544, 2014, DOI: 10.3892/ijmm.2014.1803
9. Park K, Nakano H, Sawamura D, Kabashima K, Miyachi Y: A case of dominant

- dystrophic epidermolysis bullosa with diabetes mellitus presenting as progressive recalcitrant blisters and erosions. *Int Wound J*, 11(5): 567-568, 2014.
10. Sugiura K, Muto M, Akiyama M: Card 14 c.526G>C(p.Asp176His) is a significant risk factor for generalized pustular psoriasis with psoriasis vulgaris in the Japanese cohort. *J Invest Dermatol*, 134: 1755-1757, 2014.
 11. Nakamura Y, Takahata H, Teye K, Ishii N, Hashimoto T, Muto M: A case of pemphigus herpetiformis-like atypical pemphigus with IgG anti-desmoglein 3 antibodies. *Br J Dermatol*, 171: 1555-1608, 2014.
 12. Nakahara T, Takagi A, Yamagami J, Kamiya K, Aoyama Y, Iwatsuki K, Ikeda S: High Anti-Desmoglein 3 Antibody ELISA Index and Negative Indirect Immunofluorescence Result in a Patient With Pemphigus Vulgaris in Remission: Evaluation of the Antibody Profile by Newly Developed Methods. *JAMA Dermatol*, 150(12): 1327-1330, 2014.
 13. Demitsu T, Yamada T, Nakamura S, Kakurai M, Dohmoto T, Kamiya K, Aoyama Y, Iwatsuki K, Yamagami J, Ohyama B, Ohata C, Koga H, Hashimoto T: Detection of Autoantibodies to Precursor Proteins of Desmogleins in Sera of a Patient with Bowen Carcinoma. *Acta Derm Venereol*, 94(5): 601-603, 2014
 14. Kurata M, Mizukawa Y, Aoyama Y, Shiohara T: Herpes simplex virus reactivation as a trigger of mucous lesions in pemphigus vulgaris. *Br J Dermatol*, 171(3): 554-560, 2014.
 15. Ujiie H, Sasaoka T, Izumi K, Nishie W, Shinkuma S, Natsuga K, Nakamura H, Shibaki A, Shimizu H: Bullous pemphigoid autoantibodies directly induce blister formation without complement activation. *J Immunol*, 193: 4415-4428, 2014.
 16. Nishie W, Natuga K, Nakamura H, Ito T, Toyonaga E, Sato H, Shimizu H: A recurrent 'hot spot' glycine substitution mutation, G2043R in COL7A1, induces dominant dystrophic epidermolysis bullosa associated with intracytoplasmic accumulation of pro-collagen VII. *J Dermatol Sci*, 75: 63-71, 2014.
 17. Akiyama T, Niyonsaba F, Kiatsurayanon C, Nguyen TT, Ushio H, Fujimura T, Ueno T, Okumura K, Ogawa H, Ikeda S: The human cathelicidin LL-37 host defense peptide upregulates tight junction-related proteins and increases human epidermal keratinocyte barrier function. *J Innate Immun*, 6(6): 739-753, 2014.
 18. Hattori F, Kiatsurayanon C, Okumura K, Ogawa H, Ikeda S, Okamoto K, Niyonsaba F: The antimicrobial protein S100A7/psoriasin enhances the expression of keratinocyte differentiation markers and strengthens the skin's tight junction barrier. *Br J Dermatol*, 171(4): 742-753, 2014.
 19. Mine Y, Iwanaga A, Ikehara S, Koike Y, Takamura N, Utani A: Pseudoxanthoma elasticum-like skin lesions with congenital erythropoietic porphyria. *Eur J Dermatol*, 24: 401-402, 2014.
 20. Tanioka M, Utani A, Tamura H, Yoshimura N, Kashiwagi N, Kondo E, Konishi I, Miyachi

- Y. Calcification of the placenta in a woman with pseudoxanthoma elasticum with a mutation of the ABCC6 gene. *J Dermatol*, 41: 189-191, 2014.
21. Ito T, Furukawa F, Iwatsuki K, Matsue H, Shimada S, Takigawa M, Tokura Y, Efficacious treatment of psoriasis with low-dose and intermittent cyclosporin microemulsion therapy. *J Dermatol*, 41: 377-381, 2014.
 22. Mabuchi T, Ota T, Manabe Y, Ikoma N, Ozawa A, Terui T, Ikeda S, Inoko H, Oka A: HLA-C*12:02 is a susceptibility factor in late-onset type of psoriasis in Japanese. *J Dermatol*, 41: 697-704, 2014.
 23. Vinay K, Kanwar AJ, Sawatkar GU, Dogra S, Ishii N, Hashimoto T: Successful use of rituximab in the treatment of childhood and juvenile pemphigus. *J Am Acad Dermatol*, 71(4): 669-675, 2014.
 24. Hida T, Kase K, Hamada T, Matsuda M, Hashimoto T, Yamashita T: Ankyloblepharon-ectodermal defects-cleft lip/palate syndrome: a case with a novel p63 mutation associated with abnormal keratohyalin granules. *Eur J Dermatol*, 24(4): 495-497, 2014.
 25. Hayakawa T, Furumura M, Fukano H, Li X, Ishii N, Hamada T, Ohata C, Tsuruta D, Shimozato K, Hashimoto T: Diagnosis of oral mucous membrane pemphigoid by means of combined serologic testing. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*, 117(4): 483-496, 2014.
 26. Zenke Y, Nakano T, Eto H, Koga H, Hashimoto T: A case of vancomycin-associated linear IgA bullous dermatosis and IgA antibodies to the alpha3 subunit of laminin-332. *Br J Dermatol*, 170(4): 965-969, 2014
 27. Sato M, Oiso N, Koga H, Ishii N, Matsuda H, Hayamizu K, Saitou K, Doi K, Hashimoto T, Kawada A: Mucosal dominant-type pemphigus vulgaris associated with gastrointestinal stromal tumor. *Eur J Dermatol*, 24(4): 494-495, 2014
 28. Furuya A, Takahashi E, Ishii N, Hashimoto T, Satoh T: IgG/IgA pemphigus recognizing desmogleins 1 and 3 in a patient with Sjögren's syndrome. *Eur J Dermatol*, 24(4): 512-513, 2014.
 29. Sato H, Toriyama K, Yagi S, Takanari K, Takama H, Sawada M, Hashimoto T, Kamei Y: Surgical Correction of Microstomia in a Patient With Antilaminin 332 Mucous Membrane Pemphigoid. *Ann Plast Surg*, 72(5): 553-555, 2014.
 30. Hatano Y, Ishikawa K, Koga H, Ishii N, Hashimoto T, Takeo N, Shimada H, Sakai T, Okamoto O, Fujiwara S: A case of concurrent pemphigoid vegetans and pemphigus vegetans remitted without oral corticosteroid. *Br J Dermatol*, 170(5): 1192-1194, 2014.
 31. Kanwar AJ, Vinay K, Sawatkar GU, Dogra S, Minz RW, Shear NH, Koga H, Ishii N, Hashimoto T: Clinical and immunological outcomes of high and low dose rituximab treatments in pemphigus patients. A randomized comparative observer blinded study. *Br J Dermatol*, 170(6): 1341-1349, 2014.
 32. Aoki N, Nakajima K, Shiga T, Koga H, Hashimoto T, Sano S: A case of anti-BP180

- type mucous membrane pemphigoid treated with intravenous immunoglobulin. *J Dermatol*, 41(6): 557-559, 2014.
33. Osawa M, Ueda-Hayakawa I, Isei T, Yoshimura K, Fukuda S, Hashimoto T, Okamoto H: A case of childhood bullous pemphigoid with IgG and IgA autoantibodies to various domains of BP180. *J Am Acad Dermatol*, 70(6): e129-131, 2014.
 34. Takayama N, Nakazono S, Kumagai J, Kawamura T, Suzuki F, Ishii N, Hashimoto T, Namiki T: Case of subepidermal bullous disease with diffuse esophageal involvement presenting with immunoglobulin G autoantibodies to both the BP180 NC16a and C-terminal domains, and immunoglobulin A autoantibodies to the BP180 NC16a domain. *J Dermatol*, 41(7): 665-667, 2014.
 35. Nagamoto E, Fujisawa A, Jinnin M, Koga H, Ishii N, Hashimoto T, Yoshino Y: Case of pemphigoid vegetans positive with both BP180 and BP230 in enzyme-linked immunosorbent assays. *J Dermatol*, 41(7): 667-668, 2014.
 36. Kanaoka M, Matsukura S, Ishikawa H, Matsuura M, Ishii N, Hashimoto T, Aihara M: Paraneoplastic pemphigus associated with fatal bronchiolitis obliterans and appearance of anti-BP180 antibodies in the late stage of the disease. *J Dermatol*, 41(7): 628-630, 2014.
 37. Tsuchisaka A, Kawano H, Yasukochi A, Teye K, Ishii N, Koga H, Sogame R, Ohzono A, Krol RP, Kawakami T, Furumura M, Ohata C, Li X, Hashimoto T: Immunological and Statistical Studies of Anti-BP180 Antibodies in Paraneoplastic Pemphigus. *J Invest Dermatol*, 134(8): 2283-2287, 2014.
 38. Matsukura S, Takahashi K, Hirokado M, Ikezawa Y, Nakamura K, Fukuda S, Hashimoto T, Ikezawa Z, Aihara M, Kambara T: Recalcitrant pemphigus herpetiformis with high titer of immunoglobulin G antibody to desmoglein 1 and positive IgG antibody to desmocollin 3, elevating thymus and activation-regulated chemokine. *Int J Dermatol*, 53(8): 1023-1026, 2014.
 39. Qian H, Kusuhara M, Li X, Tsuruta D, Tsuchisaka A, Ishii N, Koga H, Hayakawa T, Ohara K, Karashima T, Ohyama B, Ohata C, Furumura M, Hashimoto T: B-cell activating factor detected on both naive and memory B-cells in bullous pemphigoid. *Exp Dermatol*, 23(8): 596-605, 2014.
 40. Yoneda K, Moriue J, Demitsu T, Ishii N, Kubota Y, Hashimoto T: Case of mucous membrane pemphigoid with autoantibodies solely to the α 2-subunit of laminin-332. *J Dermatol*, 41(8): 766-767, 2014.
 41. Ludwig RJ, Borradori L, Diaz LA, Hashimoto T, Hertl M, Ibrahim SM, Jonkman MF, Kitajima Y, Murrell DF, Schmidt E, Shimizu H, Stanley JR, Woodley D, Zillikens D: From epidemiology and genetics to diagnostics, outcome measures and novel treatments in autoimmune bullous diseases. *J Invest Dermatol*, 134(9): 2298-2300, 2014.
 42. Minakawa S, Kaneko T, Rokunohe D, Nakajima K, Matsuzaki Y, Nakano H, Hashimoto T, Sawamura D: Pemphigoid gestationis with prepartum flare. *J Dermatol*, 41(9):

- 850-851, 2014.
43. Jang HW, Chun SH, Lee JM, Jeon J, Hashimoto T, Kim IH: Radiotherapy-induced pemphigus vulgaris. *J Dermatol*, 41(9): 851-852, 2014.
 44. Alloo A, Strazzula L, Rothschild B, Hawryluk E, Levine D, Hoang MP, Koga H, Hashimoto T, Kroshinsky D: Refractory antilaminin 1 pemphigoid successfully treated with intravenous immunoglobulin and mycophenolate mofetil. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 28(10): 1401-1403, 2014.
 45. Igarashi M, Tsunemi Y, Koga H, Hashimoto T, Tateishi C, Tsuruta D, Ishii M, Kawashima M: Anti-laminin 1 pemphigoid associated with pustular psoriasis. *Eur J Dermatol*, 24(5): 629-630, 2014.
 46. Sasai S, Nishikawa R, Ohzono A, Hayakawa T, Tsuruta D, Kudoh K, Kikuchi T, Hashiguchi M, Ohata C, Furumura M, Koga H, Ishii N, Hashimoto T: Characterization of Two Cases of Bullous Pemphigoid Reactive Only with BP230 on Japanese Enzyme-linked Immunosorbent Assays. *Acta Derm Venereol*, 94(6): 734-736, 2014.
 47. Uchiyama R, Ishii N, Arakura F, Kiniwa Y, Nakazawa K, Uhara H, Hashimoto T, Okuyama R: IgA/IgG Pemphigus with Infiltration of Neutrophils and Eosinophils in an Ulcerative Colitis Patient. *Acta Derm Venereol*, 94(6): 737-738, 2014.
 48. Uchida S, Oiso N, Koga H, Ishii N, Okahashi K, Matsuda H, Hashimoto T, Kawada A: Refractory bullous pemphigoid leaving numerous milia during recovery. *J Dermatol*, 41(11): 1003-1005, 2014.
 49. Ansai SI, Hashizume S, Kawana S, Tateishi C, Koga H, Hashimoto T: Case of anti-laminin gamma-1 pemphigoid with antibody against C-terminal domain of BP180 in a patient with psoriasis vulgaris. *J Dermatol*, 41(11): 1031-1033, 2014.
 50. Sekiya A, Koderu M, Yamaoka T, Iwata Y, Usuda T, Ohzono A, Yasukochi A, Koga H, Ishii N, Hashimoto T: A case of lichen planus pemphigoides with autoantibodies to the NC16a and C-terminal domains of BP180 and to desmoglein-1. *Br J Dermatol*, 171(5): 1230-1235, 2014.
 51. Li X, Qian H, Ishii N, Yamaya M, Fukuda H, Mukai H, Hirako Y, Hashimoto T: A case of concurrent anti-laminin 1 pemphigoid and anti-laminin 332-type mucous membrane pemphigoid. *Br J Dermatol*, 171(5): 1257-1259, 2014.
 52. Miyamoto S, Chikazu D, Yasuda T, Enomoto A, Oh-i T, Hirako Y, Tsuchisaka A, Yasukochi A, Sogame R, Teye K, Koga H, Ishii N, Qian H, Li X, Hashimoto T: A case of oral mucous membrane pemphigoid with IgG antibodies to integrin 6 4. *Br J Dermatol*, 171(6): 1555-1557, 2014.
 53. Wozniak K, Kalinska-Bienias A, Hashimoto T, Kowalewski C: Ultraviolet-induced linear IgA bullous dermatosis. a case report and literature survey. *Br J Dermatol*, 171(6): 1578-1581, 2014.
 54. Kaipe H, Carlson LM, Erkers T, Nava S, Molldén P, Gustafsson B, Qian H, Li X, Hashimoto T, Sadeghi B, Alheim M, Ringden O: Immunogenicity of decidual stromal cells in an epidermolysis bullosa patient and in allogeneic hematopoietic stem

- cell transplantation patients. *Stem Cells Dev*, 26(3): 369-373, 2014.
55. Jinbu Y, Kashiwazaki A, Munemasa N, Ozawa M, Kusama M, Ishii N, Ohyama B, Ohata C, Hashimoto T: Oral lesions of a patient with antidesmoglein 1 antibody-positive and antidesmoglein 3 antibody-negative pemphigus. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 26(3): 369-373, 2014.
 56. Kamiya K, Aoyama Y, Kawata M, Takiguchi T, Mitsui S et al.: Treatment of a patient with neutrophilic dermatosis with granulocyte and monocyte adsorption apheresis: effects on serum cytokine levels. *Eur J Dermatol*, 25(2): 189-190, 2015.
 57. Kamiya K, Aoyama Y, Noda K, Miyake T, Yamaguchi M, Hamada T, Tokura Y, Iwatsuki K: Possible correlation of IgE autoantibody to BP180 with disease activity in bullous pemphigoid. *J Dermatol Sci*, 78(1): 77-79, 2015.
 58. Kamiya K, Aoyama Y, Yamaguchi M, Ukida A, Mizuno-Ikeda K, Fujii K, Hamada T, Tokura Y, Iwatsuki K: Clues to diagnosis for unusual mucosal pemphigus demonstrating undetectable anti-desmoglein 3 serum antibodies by routine tests. *J Dermatol*, 42(6): 572-529, 2015.
 59. Inuma S, Aikawa E, Tamai K, Fujita R, Kikuchi Y, Chino T, Kikuta J, McGrath J, Ishii M, Iizuka H, Kaneda Y: Transplanted bone marrow-derived circulating PDGFR α cells restore type VII collagen in recessive dystrophic epidermolysis bullosa mouse skin graft. *J Immunol*, 194(4):1996-2003, 2015.
 60. Ohzono A, Numata S, Hamada T, Fukuda S, Teye K, Shirakashi Y, Kasai H, Koga H, Ishii N, Sugiura M, Hashimoto T: Anti-laminin- 1 pemphigoid developed in a case of gene undetermined autosomal recessive congenital ichthyosis. *Acta Derm Venereol*, 95(1): 93-94, 2015.
 61. Ishii N, Furumura M, Hamada T, Mori O, Ohzono A, Ueda A, Karashima T, Nakama T, Tsuruta D, Takedatsu H, Fujita H, Hashimoto T: Esophageal involvement in epidermolysis bullosa acquisita. *Br J Dermatol*, 172(1): 288-290, 2015
 62. España A, Gimenez-Azcarate A, Ishii N, Idoate MA, Panizo C, Hashimoto T: Anti-desmoglein 1 autoantibody negative SPD-type IgA pemphigus associated with multiple myeloma. *Br J Dermatol*, 172(1): 296-298, 2015.
 63. Tani N, Kimura Y, Koga H, Kawakami T, Ohata C, Ishii N, Hashimoto T: Clinical and immunological profiles of 25 patients with pemphigus gestationis. *Br J Dermatol*, 172(1): 120-129, 2015.
 64. Yan Y, Furumura M, Numata S, Teye K, Karashima T, Ohyama B, Tanida N, Hashimoto T: Various peroxisome proliferator-activated receptor (PPAR)- agonists differently induce differentiation of cultured human keratinocytes. *Exp Dermatol*, 24(1): 62-65, 2015
 65. Li X, Qian H, Takizawa M, Koga H, Tsuchisaka A, Ishii N, Hayakawa T, Ohara K, Sitaru C, Zillikens D, Sekiguchi K, Hirako Y, Hashimoto T: N-linked glycosylation on laminin 1 influences recognition of anti-laminin 1 pemphigoid autoantibodies. *J Dermatol Sci*, 77(2): 125-129, 2015.

66. Asahina A, Niizuma A, Ohzono A, Ishii N, Koga H, Hashimoto T: Pemphigoid Nodularis with Diverse IgG, IgA and IgE Antibodies Showing Neutrophilic Papillary Microabscesses. *Acta Derm Venereol*, 95(2): 239-240, 2015.
67. Solano-López G, Concha-Garzón MJ, Sánchez-Pérez J, Hirako Y, Li X, Ishii N, Hashimoto T, Daudén E: Pure ocular mucous membrane pemphigoid reactive with both integrin beta-4 and BP180 C-terminal domain. *Br J Dermatol*, 172(2): 542-544, 2015
68. Tsuchisaka A, Ohara K, Ishii N, Nguyen NT, Peter Marinkovich M, Hashimoto T: Type VII Collagen is the Major Autoantigen for Sublamina Densa-Type Linear IgA Bullous Dermatitis. *J Invest Dermatol*, 135(2): 626-629, 2015.
69. Kanwar AJ, Vinay K, Varma S, Koga H, Ishii N, Hashimoto T: Anti-desmoglein antibody-negative paraneoplastic pemphigus successfully treated with rituximab. *Int J Dermatol*, 54(5): 576-579, 2015.
70. Iino Y, Kano T, Adachi F, Suzuki M, Nishikawa R, Ishii N, Ohata C, Furumura M, Hamada T, Hashimoto T: A case of bullous pemphigoid associated with psoriasis vulgaris showing Hailey-Hailey disease-like histopathological changes in regenerated epidermis without genomic mutation in ATP2C1 or ATP2A2 gene. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 29(8): 1646-1648, 2015.
71. Izaki S, Mitsuya J, Okada T, Koga H, Hashimoto T, Terui T: A Case of Linear IgA/IgG Bullous Dermatitis with Anti-laminin-332 Autoantibodies. *Acta Derm Venereol*, 95(3): 359-360, 2015.
72. Hong WJ, Lee SE, Chang SE, Hashimoto T, Kim SC: Paraneoplastic pemphigus associated with metastatic lymphoepithelioma-like carcinoma originating from the thyroid gland. *Br J Dermatol*, 172(3): 831-834, 2015.
73. Hirakawa Y, Oiso N, Ishii N, Koga H, Tatebayashi M, Uchida S, Matsuda H, Hashimoto T, Kawada A: Mucous Membrane Pemphigoid with Immunoglobulin G Autoantibodies to the 120-kDa Ectodomain of Type XVII Collagen (BP180/Linear IgA Dermatitis Antigen) in a Patient with Idiopathic Thrombocytopenic Purpura. *Acta Derm Venereol*, 95(4): 493-494, 2015.
74. On HR, Hashimoto T, Kim SC: Pemphigus herpetiformis with IgG autoantibodies to desmoglein 1 and desmocollin 1. *Br J Dermatol*, 172(4): 1144-1146, 2015.
75. Matsuda H, Oiso N, Ishii N, Sato M, Tatebayashi M, Hashimoto T, Kawada A: Bullous pemphigoid in infancy showing epitope-spreading phenomenon. recovery with topical therapy. *Acta Derm Venereol*, 95(5): 610-611, 2015.
76. Tsuchisaka A, Ishii N, Hamada T, Kwesi T, Sogame R, Koga H, Tsuruta D, Ohata C, Furumura M, Hashimoto T: Epidermal polymeric immunoglobulin receptors. Leads from intraepidermal neutrophilic IgA dermatosis-type IgA pemphigus. *Exp Dermatol*, 24(3): 217-219, 2015.
77. Minagawa A, Arakura F, Koga H, Tokuda Y, Koga H, Hashimoto T, Okuyama R: An immunogenetic study of bullous pemphigoid with mucosal involvement in two siblings. *Eur J Dermatol*, 25(2): 186-188, 2015.

78. Tsuchisaka A, Kaneko S, Imaoka K, Ota M, Kishimoto K, Tomaru U, Kasahara M, Ohata C, Furumura M, Takamori S, Morita E, Hashimoto T: Presence of autoimmune regulator and absence of desmoglein 1 in thymoma associated with a pemphigus foliaceus patient. *Br J Dermatol*, 173: 268-271, 2015.
79. Vinay K, Kanwar AJ, Mittal A, Dogra S, Minz RW, Hashimoto T: Intralesional Rituximab in the Treatment of Refractory Oral Pemphigus Vulgaris. *JAMA Dermatol*, 151(8): 878-882, 2015.
80. Takayama N, Nakazono S, Kumagai J, Chiorean R, Sitaru C, Ishii N, Hashimoto T, Namiki T: Pemphigoid gestationis with IgG autoantibodies to both the 120 kDa LAD-1 and the BP180 NC16a domain. *Eur J Dermatol*, 25(2): 190-192, 2015.
81. Ueo D, Ishii N, Hamada T, Teye K, Hashimoto T, Hatano Y, Fujiwara S: Desmocollin-specific antibodies in a patient with Hailey-Hailey disease. *Br J Dermatol*, 173(1): 307-309, 2015.
82. Sueki H, Sato Y, Ohtoshi S, Nakada T, Yoshimura A, Tateishi C, Bogdan Borza D, Fader W, Ghohestani RF, Hirako Y, Koga H, Ishii N, Tsuchisaka A, Qian H, Li X, Hashimoto T: A Case of Subepidermal Blistering Disease with Autoantibodies to Multiple Laminin Subunits who Developed Later Autoantibodies to Alpha-5 Chain of Type IV Collagen Associated with Membranous Glomerulonephropathy. *Acta Derm Venereol*, 95(7): 826-829, 2015.
83. Ishii N, Teye K, Fukuda S, Uehara R, Hachiya T, Koga H, Tsuchisaka A, Numata S, Ohyama B, Tateishi C, Tsuruta D, Furumura M, Hattori S, Kawakami T, Ohata C, Hashimoto T: Anti-desmocollin autoantibodies in non-classical pemphigus. *Br J Dermatol*, 173(1): 59-68, 2015.
84. Ishida S, Takahashi K, Kanaoka M, Okawa T, Tateishi C, Yasukochi A, Ishii N, Li X, Hashimoto T, Aihara M: A case of subepidermal autoimmune bullous disease with psoriasis vulgaris reacting to both BP180 C-terminal domain and laminin gamma-1. *J Dermatol*, 42(4): 391-393, 2015.
85. Hashimoto T: Production of numerous autoantibodies in paraneoplastic pemphigus. *Br J Dermatol*, 172(4): 849-850, 2015.
86. Kato K, Koike K, Kobayashi C, Iijima S, Hashimoto T, Tsuchida M: Bullous pemphigoid after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Pediatr Int*, 57(3): 480-483, 2015.
87. Imanishi A, Tateishi C, Imanishi H, Sowa-Osako J, Koga H, Tsuruta D, Hashimoto T: Pemphigoid with antibodies to laminin 1, BP180 and BP230, associated with psoriasis vulgaris. Successful disease control with cyclosporine. *J Dermatol*, 42(4): 394-397, 2015.
88. Vorobyev A, Ujiie H, Recke A, Buijsrogge JJ, Jonkman MF, Iwata H, Hashimoto T, Kim SC, Kim JH, Groves R, Samavedam U, Gupta Y, Schmidt E, Zillikens D, Shimizu H, Ludwig RJ: Autoantibodies to multiple epitopes on the non-collagenous-1 domain of type VII collagen induce blisters. *J Invest Dermatol*, 135(6): 1565-1573, 2015.

89. Morita R, Oiso N, Ishii N, Tatebayashi M, Matsuda H, Hashimoto T, Kawada A: A case of burn-associated bullous pemphigoid caused by anti-BP230 IgG autoantibodies. *J Dermatol*, 42: 657-658, 2015.
90. Numata S, Teye K, Krol P R, Karashima T, Fukuda S, Matsuda M, Ishii N, Furumura M, Ohata C, Saminathan D S, Ariffin R, Pramono A D Z, Leong K F, Hamada T, Hashimoto T: Mutation study for 9 genes in 23 unrelated patients with autosomal recessive congenital ichthyosis in Japan and Malaysia. *J Dermatol Sci*, 78(1): 82-85, 2015.

雑誌（和文）

1. 面高俊和、宇原 久、内山龍平、佐野 佑、久保仁美、石井文人、橋本 隆、奥山隆平. 広範囲に粘膜病変を認めた抗BP180型粘膜類天疱瘡の1例. *西日本皮膚科*, 6(4): 345-348, 2014
2. 照井 正. 健康保険組合レセプト情報を利用した乾癬の実態調査. *臨床医薬*, 30: 279-285, 2014
3. 宇谷厚志. 弾性線維性仮性黄色腫の現況と展望. *日本臨牀*, 72: 2073-2077, 2014
4. 宇谷厚志. 【新・皮膚科セミナー】真皮細胞外マトリックス病変から全身疾患を診断. *日本皮膚科学会雑誌*, 124: 909-915, 2014
5. 三長孝輔、山下幸孝、宇谷厚志、谷洋 平、幡丸景一、中谷泰樹、赤松拓司、瀬田剛史、浦井俊二、上野山義人. 胃粘膜生検後に出血性ショックを来した弾性線維性仮性黄色腫の1例. *日本消化器内視鏡学会雑誌*, 56: 1756-1762, 2014
6. 宗次太吉、藤本智子、芝間さやか、西澤綾、井川健、横関博雄. 高IgE症候群の患者に生じた寒冷誘発性発汗過多症. *皮膚病診療*, 36: 741-744, 2014
7. 宗次太吉、藤本智子、高山かおる、井川健、横関博雄. 当科で経験した特発性後天性全身性無汗症の臨床的検討. *皮膚病診療*, 36: 777-782, 2014
8. 土橋人士、長谷川敏男、秋山俊洋、込山悦子、池田志孝. 右前腕の限局した再発性環状紅い斑様乾癬の1例. *臨床皮膚科*, 68(12): 943-946, 2014
9. 扇谷咲子、土橋人士、平澤祐輔、大熊慶湖、池田志孝. 妊娠に際してinfliximabを中止しGMA/GCAPを、出産後はinfliximab再投与を行った妊婦膿疱性乾癬の1例. *日本皮膚科学会雑誌*, 124(6): 1127-1133, 2014

学会発表

1. 角田梨沙、山上 淳、大山 学、天谷雅行. 自己免疫性水疱症に対するアザチオプリン単剤療法. 第113回日本皮膚科学会総会. 平成26年5月31日 京都
2. 藤尾由美、山上 淳、小島和夫、橋口理宏、天谷雅行. 天疱瘡と類天疱瘡の血清中自己抗体測定におけるELISA法とCLEIA法の比較. 第36回水疱症研究会. 平成26年10月19日 東京

(平成27年度)

論文発表

書籍 (和文)

1. 池田志孝. 天疱瘡. 渡辺晋一、古川福美, 皮膚疾患再診の治療2015-2016. 株式会社南江堂, 115-118, 2015.
2. 宇谷厚志. 弾性線維性仮性黄色腫. 南山堂医学大辞典、第20版1刷. 南山堂(東京), 1572-1573, 2015.
3. 宇谷厚志. 弾性線維性仮性黄色腫. 渡辺晋一、古川福美, 皮膚疾患最新の治療2015-2016. 南江堂(東京), 155, 2015.
4. 宇谷厚志. エーラス・ダンロス症候群と弾性線維性仮性黄色腫のみかた. 平成27年度日本皮膚科学会研修講習会テキスト - 中部支部企画研修講習会(選択コース) -. 日本皮膚科学会(東京), 1-8, 2015.

雑誌 (欧文)

1. Saleh MA, Hashimoto R, Kase Y, Amagai M, Yamagami J: Low pathogenicity of anti-desmoglein 3 immunoglobulin G autoantibodies contributes to the atypical clinical phenotypes in pemphigus. *J Dermatol*, 42 (7): 685-689, 2015.
2. Murrell DF, Marinovic B, Caux F, Prost C, Ahmed R, Wozniak K, Amagai M, Bauer J, Beissert S, Borradori L, Culton D, Fairley JA, Fivenson D, Jonkman MF, Marinkovich MP, Woodley D, Zone J, Aoki V, Bernard P, Bruckner-Tuderman L, Cianchini G, Venning V, Diaz L, Eming R, Grando SA, Hall RP, Hashimoto T, Herrero-Gonzalez JE, Hertl M, Joly P, Karpati S, Kim J, Chan Kim S, Korman NJ, Kowalewski C, Lee SE, Rubenstein DR, Sprecher E, Yancey K, Zambruno G, Zillikens D, Doan S, Daniel BS, Werth VP: Definitions and outcome measures for mucous membrane pemphigoid: recommendations of an international panel of experts. *J Am Acad Dermatol*, 72 (1): 168-174, 2015.
3. Masunaga T, Saito M, Sasaki T, Kubo A, Amagai M, Ishiko A: Japanese recurrent mutation c.6216+5G>T in COL7A1 leads to a mild phenotype of dystrophic epidermolysis bullosa. *J Dermatol Sci*, 80 (3): 220-223, 2015.
4. Masunaga T, Niizeki H, Yasuda F, Yoshida K, Amagai M, Ishiko A: Splicing abnormality of integrin beta4 gene (ITGB4) due to nucleotide substitutions far from splice site underlies pyloric atresia-junctional epidermolysis bullosa syndrome. *J Dermatol Sci*, 78 (1): 61-66, 2015.
5. Kasai H, Sasaki T, Matsuzaki H, Yoshioka T, Nagao K, Amagai M, Ishiko A, Kubo A: Case of non-Herlitz junctional epidermolysis bullosa with COL17A1 mutation. *J Dermatol*, 42 (3): 323-325, 2015.
6. Kamiya K, Aoyama Y, Yamaguchi M, Tokura Y, Iwatsuki K: Detection of autoantibodies against the calcium-dependent epitopes of desmoglein 3 by ethylenediaminetetraacetic acid-treated enzyme-linked immunosorbent assay with mammalian cell expression systems. *J Dermatol*, 42(8):825-827, 2015.
7. Kamiya K, Aoyama Y, Yamaguchi M, Ukida A, Mizuno-Ikeda K, Fujii K, Hamada T, Tokura

- Y, Iwatsuki K: Clues to diagnosis for unusual mucosal pemphigus demonstrating undetectable anti-desmoglein 3 serum antibodies by routine tests. *J Dermatol*, 42(6): 572-579, 2015.
8. Arima K, Ohta S, Takagi A, Shiraishi H, Masuoka M, Ontsuka K, Suto H, Suzuki S, Yamamoto K, Ogawa M, Simmons O, Yamaguchi Y, Toda S, Aihara M, Conway SJ, Ikeda S, Izuhara K: Periostin contributes to epidermal hyperplasia in psoriasis common to atopic dermatitis. *Allergology International*, 64:41-48, 2015.
 9. Smithrithee R, Niyonsaba F, Kiatsurayanon C, Ushio H, Ikeda S, Okumura K, Ogawa H: Human α -defensin-3 increases the expression of interleukin-37 through CCR6 in human keratinocytes. *J Dermatol Sci*, Jan;77(1):46-53, 2015.
 10. Furusawa K, Hasegawa T, Hirasawa Y, Ikeda S: Mucous membrane pemphigoid with esophageal stricture treated with balloon dilatation. *J Dermatol*, 42(3):325-326, 2015.
 11. Kamiya K, Aoyama Y, Noda K, Miyake T, Yamaguchi M, Hamada T, Tokura Y, Iwatsuki K: Possible correlation of IgE autoantibody to BP180 with disease activity in bullous pemphigoid. *J Dermatol Sci*, 78: 77-79, 2015.
 12. Miyake T, Umemura H, Doi H, Kousogabe J, Tsuji K, Hamada T, Sugiura K, Aoyama Y, Akiyama M, Iwatsuki K: Annular pustular psoriasis with a heterozygous IL36RN mutation. *Eur J Dermatol*, 25: 349-350, 2015.
 13. Kajita A, Morizane S, Takiguchi T, Yamamoto T, Yamada M, Iwatsuki K: Interferon-Gamma Enhances TLR3 Expression and Anti-Viral Activity in Keratinocytes. *J Invest Dermatol*, 135: 2005-2011, 2015.
 14. Sato Y, Hara T, Okubo Y, Utani A: Axillary syringomas misdiagnosed as pseudoxanthoma elasticum for years. *J Dermatol*, 42: 933-934, 2015.
 15. Moriuchi R, Nishie W, Ujiie H, Natsuga K, Shimizu H: In vivo analysis of IgE autoantibodies in bullous pemphigoid: A study of 100 cases. *J Dermatol Sci*, 78: 21-25, 2015.
 16. Shimanuki M, Abe Y, Tamiya G, Ueki M, Hozumi Y, Suzuki T: Positive selection with diversity in oculocutaneous albinisms type 2 gene (OCA2) among Japanese. *Pigment Cell Melanoma Res*, 28:233-235, 2015.
 17. Tanaka M, Yang L, Wataya-Kaneda M, Suzuki T, Okamura K, Hozumi Y, Yang F, Katayama I: Case of Hermansky-Pudlak syndrome 1 in a Japanese infant. *J Dermatol*, 42:906-907, 2015.
 18. Eleftheriadou V, Thomas K, van Geel N, Hamzavi I, Lim H, Suzuki T, Katayama I, Anbar T, Abdallah M, Benzekri L, Gauthier Y, Harris J, Silva de Castro CC, Pandya A, Goh BK, Lan CC, Oiso N, Al Issa A, Esmat S, Le Poole C, Lee AY, Parsad D, Taieb A, Picardo M, Ezzedine K: Vitiligo Global Issues Consensus Group: Developing core outcome set for vitiligo clinical trials: international e-Delphi consensus. *Pigment Cell Melanoma Res*, 28:363-369, 2015.
 19. Tanemura A, Yang L, Yang F, Nagata Y, Wataya-Kaneda M, Fukai K, Tsuruta D, Ohe

- R, Yamakawa M, Suzuki T, Katayama I: An immune pathological and ultrastructural skin analysis for rhododenol-induced leukoderma patients. *J Dermatol Sci*, 77:185-188, 2015.
20. Kawaguchi M, Hozumi Y, Suzuki T: ADAM protease inhibitors reduce melanogenesis by regulating PMEL17 processing in human melanocytes. *J Dermatol Sci*, 78:133-42, 2015.
 21. Okamura K, Abe Y, Fukai K, Tsuruta D, Suga Y, Nakamura M, Funasaka Y, Oka M, Suzuki N, Wataya-Kaneda M, Seishima M, Hozumi Y, Kawaguchi M, Suzuki T: Mutation analyses of patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria: Ten novel mutations of the ADAR1 gene. *J Dermatol Sci*, 79: 88-90, 2015.
 22. Okamura K, Ohe R, Abe Y, Ueki M, Hozumi Y, Tamiya G, Matsunaga K, Yamakawa M, Suzuki T: Immunohistopathological analysis of frizzled-4-positive immature melanocytes from hair follicles of patients with Rhododenol-induced leukoderma. *J Dermatol Sci*, 80: 156-158, 2015.
 23. Okamura K, Oiso N, Tamiya G, Makino S, Tsujioka D, Abe Y, Kawaguchi M, Hozumi Y, Shimomura Y, Suzuki T: Waardenburg syndrome type IIE in a Japanese patient caused by a novel missense mutation in the SOX10 gene. *J Dermatol*, 42: 1211-1212, 2015.
 24. Korekawa A, Kaneko T, Nakajima K, Rokunohe D, Akasaka E, Nakano H, Sawamura D, Fukui T, Takiyoshi N, Kitamura H, Harada K: Mycosis fungoides bullosa associated with bullous pemphigoid. *Int J Dermatol*, 54(9): e366-e368, 2015.
 25. Akasaka E, Minakawa S, Rokunohe D, Toyomaki Y, Matsuzaki Y, Sawamura D, Nakano H: Superficial epidermolytic ichthyosis caused by a novel KRT2 mutation. *J Dermatol Sci*, 79(1): 86-88, 2015.
 26. Akasaka E, Nakano H, Korekawa A, Fukui T, Kaneko T, Koga H, Hashimoto T, Sawamura D: Anti-laminin 1 pemphigoid associated with ulcerative colitis and psoriasis vulgaris showing autoantibodies to laminin 1, type XVII collagen and laminin-332. *Eur J Dermatol*, 25(2): 198-199, 2015.
 27. Akasaka E, Okawa Y, Nakano H, Takiyoshi N, Rokunohe D, Toyomaki Y, Sawamura D, Sueki H: Two Japanese familial cases of punctate palmoplantar keratoderma caused by a novel AAGAB mutation, c.191_194delCAAA. *J Dermatol Sci*, 78(2): 156-158, 2015.
 28. Aikawa E, Fujita R, Kikuchi Y, Kaneda Y, Tamai K: Systemic high-mobility group box 1 administration suppresses skin inflammation by inducing an accumulation of PDGFR (+) mesenchymal cells from bone marrow. *Sci Rep*, 11008. doi: 10.1038/srep11008, 2015.
 29. Takemoto A, Cho O, Morohoshi Y, Sugita T, Muto M: Molecular characterization of the skin fungal microbiome in patients with psoriasis. *J Dermatol*, 42: 166-170, 2015.
 30. Numata S, Teye K, Krol RP, Karashima T, Fukuda S, Matsuda M, Ishii N, Furumura

- M, Ohata C1, Saminathan SD, Ariffin R, Pramono ZA, Leong KF, Hamada T, Hashimoto T: Mutation study for 9 genes in 23 unrelated patients with autosomal recessive congenital ichthyosis in Japan and Malaysia. *J Dermatol Sci*, 78 (1): 82-85, 2015.
31. Prùßmann W, Prùßmann J, Koga H, Recke A, Iwata H, Juhl D, Görg S, Henschler R13, Hashimoto T, Schmidt E, Zillikens D, Ibrahim SM, Ludwig RJ: Prevalence of pemphigus and pemphigoid autoantibodies in the general population. *Orphanet J Rare Dis*, 10(1): 63, 2015.
 32. Minagawa A, Arakura F, Koga H, Tokuda Y, Koga H, Hashimoto T, Okuyama R: An immunogenetic study of bullous pemphigoid with mucosal involvement in two sibilings. *Eur J Dermatol*, 25(2): 186-188, 2015.
 33. Kaibe H, Carlson LM, Erkers T, Nava S, Molldén P, Gustafsson B, Qian H, Li X, Hashimoto T, Sadeghi B, Alheim M, Ringden O: Immunogenicity of decidual stromal cells in an epidermolysis bullosa patient and in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation patients. *Stem Cells Dev*, 24(12): 1471-1482, 2015.
 34. Ohata C, Ishii N, Koga H, Fukuda S, Tateishi C, Tsuruta D, Furumura M, Hashimoto T: Coexistence of autoimmune bullous diseases and psoriasis: a series of 145 cases. *J Am Acad Dermatol*, 73(1): 50-55, 2015.
 35. Kato K, Koike K, Kobayashi C, Iijima S, Hashimoto T, Tsuchida M: Bullous pemphigoid after allogeneic hemaopoietic stem cell transplantation. *Pediat Int*, 57(3): 480-483, 2015.
 36. Okahashi K, Oiso N, Ishii N, Uchida S, Matsuda H, Hashimoto T, Kawada A: Bullous pemphigoid associated with psoriasis: a possible example of an inverse intramolecular epitope-spreading phenomenon. *J Dermatol*, 42(7): 758-759, 2015.
 37. Gawaz A, Metzler G, Hertl M, Hashimoto T, Schaller M: Treatment of anti-Laminin- 1-Pemphigoid with mycophenolate mofetil. *J Dtsch Dermatol Ges*, 13(7): 696-697, 2015.
 38. Akasaka E, Kayo SJ, Nakano H, Ishii N, Hashimoto T, Sawamura D: Diaminodiphenyl Sulfone-Induced Hemolytic Anemia and Alopecia in a Case of Linear IgA Bullous Dermatoses. *Case Rep Dermatol*, 7(2): 183-186, 2015.
 39. Yan Y, Furumura M, Gouya T, Iwanaga A, Teye K, Numata S, Karashima T, Li X, Hashimoto T: Shikonin promotes skin cell proliferation and exerts anti-inflammatory effect via proteasome inhibition in vitro. *Chin Med J*, 128(16): 2228-2233, 2015.
 40. Hashimoto T, Ishii N, Demitsu T: Response to the Letter to the Editor by Muro et al. The mechanisms for pathogenicity of autoantibodies to desmogleins. *Acta Derm Venereol*, 95(7): 872-874, 2015.
 41. Hashimoto T, Nishikawa T: Nomenclature for diseases with IgA anti-keratinocyte cell surface autoantibodies. *Br J Dermatol*, 173(3): 868-869, 2015.

42. Li X, Tsuchisaka A, Qian H, Teye K, Ishii N, Sogame R, Harada K, Nakagomi D, Shimada S, Tateishi C, Hirako Y, Hashimoto T: Linear IgA/IgG bullous dermatosis reacts with multiple laminins and integrins. *Eur J Dermatol*, 25(5): 418-423, 2015.
43. Shimada H, Shono T, Sakai T, Ishikawa K, Takeo N, Hatano Y, Ishii N, Hashimoto T, Inomata M, Tojigamori M, Ichimada M, Kitano S, Fujiwara S: Lichen planus pemphigoides concomitant with rectal adenocarcinoma: fortuitous or a true association? *Eur J Dermatol*, 25(5): 501-503, 2015.
44. Okada R, Yamaguchi Y, Sawaki H, Hashimoto T, Aihara M: Development of mucous membrane pemphigoid with antibodies to the $\alpha 3$ subunit of laminin 332 and bronchiolitis obliterans in a patient with chronic graft-versus-host disease. *Eur J Dermatol*, 25(5): 505-506, 2015.
45. Jakubowska B, Kowalewski C, Ishii N, Hashimoto T, Fraczek M, Kalinska-Bienias A, Sobocki J4, Wozniak K: Mucous membrane pemphigoid with severe stricture of the esophagus mediated by IgG and IgA autoantibodies to LAD-1. *Eur J Dermatol*, 25(5): 510-512, 2015.
46. Yamashita H, Ansai S, Ueno T, Kawana S, Koga H, Ishii N, Hashimoto T: Bullous pemphigoid with IgG autoantibodies to BP180 C-terminal domain and desmocollin 3 associated with transverse colon cancer. *Eur J Dermatol*, 25(5): 515-516, 2015.
47. Iijima S, Okazaki Y, Watanabe S, Tsuruta D, Tateishi C, Ishii N, Ohata C, Hashimoto T: A case of concurrence of anti-laminin gamma-1 pemphigoid and scabies. *J Dermatol*, 42(10): 1024-1026, 2015.
48. Matsuda M, Hamada T, Numata S, Teye k, Ishii N, Ohata C, Furumura M, Nakama T, Hashimoto T: A three-dimensional in vitro culture model of Hailey-Hailey disease. *Exp Dermatol*, 24(10): 788-789, 2015.
49. Hirano T, Higuchi Y, Yuki H, Hirata S, Nosaka K, Ishii N, Hashimoto T, Mitsuya H, Okuno Y: Rituximab Monotherapy and Rituximab-Containing Chemotherapy Were Effective for Paraneoplastic Pemphigus Accompanying Follicular Lymphoma, but not for Subsequent Bronchiolitis Obliterans. *J Clin Exp Hematop*, 55(2): 83-88, 2015.
50. Goto-Hamano H, Ito K, Sakamoto-Kimura K, Terui T, Ohyama B, Hashimoto T, Hara H: Autoantibodies Against Multiple Epitopes in Bp180 and Laminin Gamma-1 in Subepidermal Blistering Skin Disease Associated with Psoriatic Erythroderma. *Indian J Dermatol*, 60(5): 521, 2015.
51. Lazić-Mosler E, Jukić IL, Murat-Sušić S, Husar K, Skerlev M, Bukvić Mokos Z, Ishii N, Hashimoto T, Marinović B: Inflammatory epidermolysis bullosa acquisita in a 4-year-old girl. *J Dermatol*, 42(11): 1098-1100, 2015.
52. Takahashi H, Sato K, Takagi A, Ikawa S, Ishii N, Hashimoto T, Ishida-Yamamoto A, Iizuka H: Subepidermal autoimmune blistering lesion in a case of psoriasis

- successfully treated with cyclosporin. *J Dermatol*, 42(11): 1125-1126, 2015.
53. Murata S, Sumikawa Y, Takahashi H, Ota M, Kusatake K, Niihara H, Koga H, Hashimoto T, Morita E: A case of mucous membrane pemphigoid with immunoglobulin G antibodies to the beta 3 subunit of laminin-332 showing clinically Stevens-Johnson syndrome-like generalized blistering mucocutaneous lesions. *J Dermatol*, 42(11): 1126-1128, 2015.
 54. Ivars M, Hashimoto T, Ishii N, Bernad I, Lecumberri R, España A: Atypical bullous pemphigoid with extensive cutaneous and mucosal erosions associated with chronic lymphocytic leukaemia. *J Dermatol*, 42(11): 1128-1129, 2015.
 55. Uchiyama M, Mitsuhashi Y, Tsuboi R, Ishii N, Hayakawa T, Yasukochi A, Hashimoto T: Anti-BP180-type oral mucous membrane pemphigoid reactive to both NC16a and C-terminal domains. *Indian J Dermatol Venereol Leprol*, 81(6): 637-639, 2015.
 56. Ohzono A, Sogame R, Li X, Teye K, Tsuchisaka A, Numata S, Koga H, Kawakami T, Tsuruta D, Ishii N, Hashimoto T: Clinical and immunological findings in 104 cases of paraneoplastic pemphigus. *Br J Dermatol*, 173(6): 1447-1452, 2015.
 57. Inoue-Nishimoto T, Hanafusa T, Hirohata A, Mabuchi-Kiyohara E, Mizoguchi N, Matsumoto K, Ishii N, Hashimoto T, Ikegami R: IgG/IgA Pemphigus representing Pemphigus vegetans caused by low titers of IgG and IgA antibodies to desmoglein 3 and IgA antibodies to desmocollin 3. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 30(7): DOI: 10.1111/jdv.13158, 2015.
 58. Hashimoto T, Fukuda A, Himejima A, Morita S, Daisuke T, Koga H, Krol RP, Ishii N: Ten cases of severe oral lichen planus showing granular C3 deposition in oral mucosal basement membrane zone. *Eur J Dermatol*, 25(6): 539-547, 2015.
 59. Makino T, Hara H, Mizawa M, Seki Y, Hayashi M, Ishii N, Hashimoto T, Shimizu T: Detection of IgG antibodies to desmoglein 3 and desmocollins 2 and 3 in mucosal dominant-type pemphigus vulgaris with severe pharyngalgia and hyperemia of the bulbar conjunctiva. *Eur J Dermatol*, 25(6): 619-620, 2015.
 60. Sakurai Y, Morioke S, Takeda T, Takahagi S, Hide M, Shima M: Increased thrombin generation potential in patients with chronic spontaneous urticaria. *Allergol Int*, 64: 96-98, 2015.
 61. Kamijo M, Wada A, Mineki R, Sakanishi T, Ikeda S: Prostaglandin E receptor 4 inhibition restores UVB-induced downregulation of ATP2A2/SERCA2 in cultured normal human keratinocytes. *J Dermatol Sci*, 81(1): 69-71, 2016.
 62. Kamiya K, Aoyama Y, Wakashima C, Kudo T, Nakajima K, Sano S, Ishii N, Teye K, Hashimoto T, Iwatsuki K, Tokura Y: Atypical pemphigus with immunoglobulin G autoantibodies against desmoglein 3 and desmocollin 3. *J Dermatol*, 43(4): 429-431, 2016.
 63. Oiso N, Okubo Y, Utani A, Kawada A: Pseudoxanthoma elasticum with peculiar acne scar of the neck: Dermoscopic features of tissue bridges as intact skin between crater-like acne scars. *J Dermatol*, 43(4): 454-456, 2016.

64. Makino T, Shimizu K, Mizawa M, Nakano H, Sawamura D, Shimizu T: A novel deletion mutation of the ATP2C1 gene in a family with Hailey-Hailey disease. *Eur J Dermatol*, 26(4): 414-416, 2016.
65. Rokunohe A, Matsuzaki Y, Rokunohe D, Sakuraba Y, Fukui T, Nakano H, Sawamura D: Immunosuppressive effect of adipose-derived stromal cells on imiquimod-induced psoriasis in mice. *J Dermatol Sci*, 82(1): 50-53, 2016.
66. Han C, Tomita H, Ohba T, Nishizaki K, Ogata Y, Matsuzaki Y, Sawamura D, Yanagisawa T, Osanai T, Imaizumi T, Matsubara A, Adachi T, Ono K, Okumura K, Murakami M: Modified sympathetic nerve regulation in AKAP5-null mice. *Biochem Biophys Res Commun*, 469(4): 897-902, 2016.
67. Nakagawa K, Minakawa S, Sawamura D, Hara H: Skin surface imaging of psoriasis vulgaris by using an electron paramagnetic resonance spin probe. *J Dermatol Sci*, 81(1): 71-73, 2016.
68. Mizawa M, Makino T, Nakano H, Sawamura D, Shimizu T: Incomplete erythropoietic protoporphyria caused by a splice site modulator homozygous IVS3-48C polymorphism in the ferrochelatase gene. *Br J Dermatol*, 174(1): 172-175, 2016.
69. Hayashi R, Natsuga K, Watanabe M, Iwata H, Shinkuma S, Ito A, Masui Y, Ito M, Shimomura Y: Epidermolysis bullosa acquisita develops in dominant dystrophic epidermolysis bullosa. *J Invest Dermatol*, 136: 320-323, 2016.
70. Abe Y, Okamura K, Kawaguchi M, Hozumi Y, Aoki H, Kunisada T, Ito S, Wakamatsu K, Matsunaga K, Suzuki T: Rhododenol-induced leukoderma in a mouse model mimicking Japanese skin. *J Dermatol Sci*, 81: 35-43, 2016.
71. Okamura K, Abe Y, Araki Y, Hozumi Y, Kawaguchi M, Suzuki T: Behavior of melanocytes and keratinocytes in reticulate acropigmentation of Kitamura. *Pigment Cell Melanoma Res*, 29(2): 243-246, 2016.
72. Okamura K, Araki Y, Abe Y, Shigyou A, Fujiyama T, Baba A, Kanekura T, Chinen Y, Kono M, Niizeki H, Tsubota A, Konno T, Hozumi Y, Suzuki T: Genetic analyses of oculocutaneous albinism types 2 and 4 with eight novel mutations. *J Dermatol Sci*, 81: 140-142, 2016.
73. Fukuda A, Himejima A, Tsuruta D, Koga H, Ohyama B, Morita S, Hashimoto T: Four cases of mucous membrane pemphigoid with clinical features of oral lichen planus. *Int J Dermatol*, 55(6): 657-665, 2016.
74. Ohata C, Ishii N, Niizeki H, Shimomura Y, Furumura M, Inoko H, Mitsunaga S, Saiki M, Shigeta M, Fujiwara S, Yamakawa K, Kobayashi S, Kamata M, Inaba M, Ito T, Uhara H, Watanabe R, Ohtoshi S, Ohashi T, Tanaka T, Suzuki M, Sitaru C, Karpati S, Zone JJ, Hashimoto T: Unique characteristics in Japanese dermatitis herpetiformis. *Br J Dermatol*, 174 (1): 180-183, 2016.
75. Geller S, Gat A, Harel A, Mashiah J, Zeeli T, Eming R, Ishii N, Hertl M, Hashimoto T, Sprecher E: Childhood Pemphigus Foliaceus with Exclusive Immunoglobulin G Autoantibodies to Desmocollins. *Pediatr Dermatol*, 33(1): e10-e13, 2016.

76. Tsuchisaka A, Numata S, Teye K, Natsuaki Y, Kawakami T, Takeda Y, Wang W, Ishikawa K, Goto M, Koga H, Sogame R, Ishii N, Takamori S, Hoshino T, Brandt O, Pas Hendri, Fujiwara S, Hashimoto T: Epiplakin is a paraneoplastic pemphigus autoantigen and related to bronchiolitis obliterans in Japanese patients. *J Invest Dermatol*, 136(2): 399-408, 2016.
77. Concha-Garzón MJ, Pérez-Gala S, Solano-López G, Fraga J, Ishii N, Hashimoto T, Daudén E: Ketoprofen-induced lamina lucida-type linear IgA bullous dermatosis. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 30(2): 350-352, 2016.
78. Oh SJ, Lee SE, Hashimoto T, Kim SC: A case of paraneoplastic pemphigus associated with Castleman ' s disease reacting with multiple autoantigens including laminin 1. *Br J Dermatol*, 174(4): 930-932, 2016.
79. Otsuka Y, Ueno T, Kaneko A, Ito M, Osada S, Funasaka Y, Teye K, Ishii N, Hashimoto T, Kawana S: A case of paraneoplastic pemphigus with IgG and IgA antibodies to various antigens. *J Dermatol*, 43(8): 944-946, 2016.
80. Witte M, Koga H, Hashimoto T, Ludwig RJ, Bieber K: Discovering potential drug-targets for personalized treatment of autoimmune disorders - what we learn from Epidermolysis bullosa acquisita. *Expert Opin Ther Tar*, 20(8): 985-998, 2016.
81. Hashimoto T: Collaboration between dermatologists and dentists in autoimmune bullous diseases and IgA antibodies in pemphigus. *Br J Dermatol*, 175(1): 15-16, 2016.
82. Li X, Qian H, Sogame R, Hirako Y, Tsuruta D, Ishii N, Koga H, Tsuchisaka A, Jin Z, Tsubota K, Fukumoto A, Sotozono C, Kinoshita S, Hashimoto T: Integrin 4 is a major target antigen in pure ocular mucous membrane pemphigoid. *Eur J Dermatol*, 26(3): 247-253, 2016.
83. Ikawa T, Tada Y, Ohnishi T, Miyagaki T, Watanabe R, Ishii N, Hashimoto T, Watanabe S: Bullous pemphigoid with IgG anti-LAD-1 antibodies without evident erythema and eosinophil infiltration. *Acta Derm Venereol*, 96: 832-833, 2016.
84. Hayakawa T, Teye K, Hachiya T, Uehara R, Hashiguchi M, Kawakami T, Li X, Tsuchisaka A, Ohara K, Sogame R, Koga H, Hamada T, Ohata C, Furumura M, Ishii N, Fukano H, Shimosato K, Hashimoto T: Clinical and immunological profiles of anti-BP230-type bullous pemphigoid: Restriction of epitopes to C-terminal domain of BP230 shown by novel ELISAs of BP230-domain specific recombinant proteins. *Eur J Dermatol*, 26(2): 155-163, 2016.
85. Kalinska-Bienias A, Kalowska M, Kwiek B, Jakubowska B, Ishii N, Hashimoto T, Kowalewski C, Wozniak K: Efficacy and safety of perilesional/intralesional triamcinolone injections of oral mucous membrane pemphigoid. *Br J Dermatol*, 174(2): 436-438, 2016.
86. Tomida E, Kato Y, Ozawa H, Hasegawa H, Ishii N, Hashimoto T, Akiyama M: Causative drug detection by drug-induced lymphocyte stimulation test in drug-induced

- linear IgA bullous dermatosis. *Br J Dermatol*, 175(5): 1106-1108, 2016.
87. Fukuda A, Himejima A, Tsuruta D, Koga H, Ohyama B, Morita S, Hashimoto T: Four cases of mucous membrane pemphigoid with clinical features of oral lichen planus. *Int J Dermatol*, 55(6): 657-65, 2016.
 88. Sato-Shibuya M, Dainichi T, Egawa G, Honda T, Otsuka A, Hashimoto T, Miyachi Y, Kabashima K: Case with Brunsting-Perry-like localized subepidermal blister formations and IgG antibodies against unidentified basement membrane zone antigen. *J Dermatol*, 43(4): 426-428, 2016.
 89. Oyama N, Matsuda M, Hamada T, Numata S, Teye K, Hashimoto T, Hasegawa M: Two novel missense mutations of STS gene underlie X-linked recessive ichthyosis: understanding of the mutational 1 and structural spectrum. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 30(9): 1629-1631, 2016.
 90. Ise Y, Suga Y, Okumura K, Negi O, Ishii N, Hashimoto T: A case report of erythematous variety of bullous pemphigoid and literature surveillance. *Acta Derm Venereol*, 96: 412-413, 2016.
 91. Namba C, Tohyama M, Hanakawa Y, Murakami M, Shirakata Y, Matsumoto T, Suemori K, Ishii N, Hashimoto T, Sayama K: Paraneoplastic pemphigus associated with fatal bronchiolitis obliterans and intractable mucosal erosions: Treatment with cyclosporine in addition to steroid, rituximab and IVIG. *J Dermatol*, 43(4): 419-422, 2016.
 92. Maki N, Demitsu T, Umemoto N, Nagashima K, Nakamura T, Kakura M, Nakamura S, Yamada T, Ishii N, Hashimoto T: A possible paraneoplastic syndrome case of bullous pemphigoid with IgG anti-BP180 C-terminal domain antibodies associated with psoriasis and primary macroglobulinemia. *J Dermatol*, 43(5): 571-574, 2016.
 93. Arakawa M, Ohata C, Tsuruta D, Ishii N, Sogame R, Nakama T, Yasumoto S, Yokoyama Y, Takeishi E, Hashimoto T: A severe and prolonged case of pemphigoid gestationis successfully treated with combination therapies. *Br J Dermatol*, 174(4): 925-927, 2016.
 94. Izaki S, Ito K, Ishii N, Hashimoto T, Fujita H, Terui T: Infantile linear IgA/IgG bullous dermatosis. *Eur J Dermatol*, 26(1): 96-98, 2016.
 95. Irie H, Dainichi T, Fujita M, Endo Y, Fujisawa A, Tanioka M, Ishii N, Hashimoto T, Kabashima K, Miyachi Y: Anti-BP180 mucous membrane pemphigoid associated with acquired hemophilia A in a patient who suffered from life-threatening mucosal bleeding. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 30(12): e199-e201, 2016.
 96. Imanishi A, Imanishi H, Hiroyasu S, Ozawa T, Koga H, Ishii N, Kitajima Y, Hashimoto T, Tsuruta D: Anti-BP180-type mucous membrane pemphigoid immunoglobulin G shows heterogeneity of internalization of BP180/collagen XVII into keratinocyte cytoplasm. *Med Mol Morphol*, 49(2): 89-97, 2016.
 97. Yamate T, Shono T, Shimada H, Ishikawa K, Hatano Y, Kohno K, Yamamoto T, Fujimoto W, Yamaguchi M, Aoyama Y, Ishii N, Hashimoto T, Fujiwara S: Blistering disease

associated with diffuse large B cell lymphoma but without autoantibodies. J Dermatol, 43(3): 341-343, 2016.

98. Hashimoto T, Ohzono A, Ishii N: ' Reply to: Clinical and immunological findings in 104 cases of paraneoplastic pemphigus ' : reply from the authors. Br J Dermatol, 174(2): 461-462, 2016.
99. Hashimoto T, Hirako Y, Tsuruta D: 4 integrin in hereditary and acquired mucocutaneous diseases. Exp Dermatol, 25(4): 267-268, 2016.

雑誌 (和文)

1. 高橋勇人、天谷雅行. デスマグレイン3特異的T細胞によって誘導される多彩な皮膚病理. 実験医学, 33 (12 (増刊)): 1948-1953, 2015.
2. 田中諒、福田桂太郎、平井郁子、船越建、高江雄二郎、天谷雅行、田中勝. 二次性細菌感染により壊疽性膿瘡様皮疹を呈した水疱性類天疱瘡の1例. 臨床皮膚科, 69 (8): 554-559, 2015.
3. 中原とも子、高木 敦、住吉孝二、山上 淳、神谷浩二、青山裕美、岩月啓氏、池田志孝. 抗デスマグレイン3抗体価が高値・蛍光抗体間接法が陰性を示す尋常性天疱瘡寛解例2例の血清解析. 日本皮膚科学会誌, 125(8): 1593-1599, 2015.
4. 日本皮膚科学会膿疱性乾癬 (汎発型) 診療ガイドライン作成委員会 照井正、秋山真志、池田志孝、小澤 明、金蔵拓郎、黒澤美智子、小宮根真弓、佐野栄紀、根本 治、武藤正彦、山西清文、岩月啓氏. 膿疱性乾癬 (汎発型) 診療ガイドライン2014年度版. 日本皮膚科学会誌, (12): 2211-2257, 2015.
5. 坂本 淳、植木理恵、池田志孝. 限局性Darier病の1例. 皮膚科の臨床, (57): 1536-1539, 2015.
6. 大熊慶湖、池田志孝. 難治性皮膚疾患とアフェレシス. 腎臓内科・泌尿器科, 1(6): 607-615, 2015.
7. 杉本佐江子、青山裕美、岩月啓氏. 地固め期と治療維持期の天疱瘡に対する免疫抑制剤によるアドオン効果の検討. 日本皮膚科学会雑誌, 125: 1911-1917, 2015.
8. 中原とも子、高木 敦、住吉孝二、山上 淳、神谷浩二、青山裕美、岩月啓氏、池田志孝. 抗デスマグレイン3抗体価が高値・蛍光抗体間接法が陰性を示す尋常性天疱瘡寛解例2例の血清解析. 日本皮膚科学会雑誌, 125: 1593-1599, 2015.
9. 照井正、秋山真志、池田志孝、小澤明、金蔵拓郎、黒澤美智子、小宮根真弓、佐野栄紀、根本 治、武藤正彦、山西清文、岩月啓氏. 膿疱性乾癬 (汎発型) 診療ガイドライン2014年度版. 日本皮膚科学会雑誌, 125: 2211-2257, 2015.
10. 橋本 隆. 自己免疫性水疱症の最新の知見. 日本臨床皮膚科医会雑誌, 32(2): 170-174, 2015.
11. 橋本 隆、米田耕造. 角化症と水疱症 その基礎と臨床 自己免疫性水疱症の自己抗原解析と新しい分類法. 西日本皮膚科, 121(3): 281, 2015.
12. 沼田早苗、Teye Kwesi、Krol Rafal、濱田尚宏、松田光弘、須賀 康、橋本 隆. Peeling skin disease におけるCDSN遺伝子を含めた6遺伝子のホモ接合性欠失の同定. 日本遺伝カウンセリング学会誌, 36(2): 77, 2015.
13. 石井文人、大園綾花、大山文悟、大畑千佳、橋本 隆. CLEIA法を用いた抗デスマグレ

- イン抗体測定 of 臨床的検討. 西日本皮膚科, 77(2): 179, 2015.
14. 金 哲雄、古村南夫、松本 満、橋本 隆. 皮膚自己抗原解析による胸腺における中枢性免疫寛容機序の解明. 日本皮膚科学会雑誌, 125(4): 963, 2015.
 15. 永田 寛、石井文人、丸田康夫、大畑千佳、牧野輝彦、清水忠道、橋本 隆、名嘉眞武国. Duhring 疱疹状皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会雑誌, 125(4): 916, 2015.
 16. 秀 道広、岩本和真、大澤 勲、本田大介、小豆澤宏明、鈴木大士、山下浩平、田中彰、パワンカール ルビー. WAO Guideline for the Management of Hereditary Angioedema 遺伝性血管性浮腫診療のためのWAOガイドライン. アレルギー, 64: 1215-1241, 2015.
 17. 照井 正、秋山真志、池田志孝、小澤 明、金蔵拓郎、黒澤美智子、小宮根真弓、佐野栄紀、根本 治、武藤正彦、山西清文、岩月啓氏. 膿疱性乾癬(汎発性)診療ガイドライン2014年度版. 日本皮膚科学会雑誌, 125: 2211-2257, 2015.
 18. 藤本智子、横関博雄. 原発性手掌多汗症に対する長期50%塩化アルミニウム外用剤使用の効果と副作用の検討. Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology, 9(4): 238-242, 2015.
 19. 藤本智子、横関博雄、片山一朗、金田眞理、室田浩之、田村直俊、菅野範英、吉岡 洋、玉田康彦、四宮滋子、岩瀬 敏、犬飼洋子. 原発性局所多汗症診療ガイドライン策定委員会. 日本皮膚科学会ガイドライン 原発性局所多汗症診療ガイドライン2015年改訂版. 日本皮膚科学会雑誌, 125(7): 1379-1400, 2015.

学会発表

1. Amagai M: Innovative approaches to immunobullous disease. 95th Annual Meeting of British Association of Dermatologists, Manchester, UK, 2015. 7. 7-9.
2. Amagai M: Skin Barrier Homeostasis in Stratum Corneum and Granulosum. Gordon Research Conferences on Epithelial Differentiation & Keratinization, Newry, ME, USA, 2015. 7. 12- 17.
3. Amagai M: Central and peripheral tolerance to Dsg3-specific CD4 T cells in mice. Pemphigus Meeting Paris, France, 2015. 9.7-8.
4. Kase Y, Yamagami J, Wada N, Takahashi H, Koyasu S, Amagai M: Intravenous immunoglobulin regulates anti-desmoglein 3 autoantibody production in B220-antibody-producing cells in mice with pemphigus vulgaris. 45th Annual Meeting of the European Society for Dermatological Research, Rotterdam, The Netherlands, 2015. 9. 9-12.
5. Amagai M: Cellular autoimmune response in pemphigus. The 5th Shanghai International Bullous Disease Meeting, Shanghai, China, 2015. 10. 24-25.
6. Amagai M: Activities of the research team for rare and intractable skin diseases. The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Okayama, Japan, 2015. 12. 11-13.
7. Yamagami J, Kamata A, Amagai M: Characterization of the population like follicular helper T cells in the peripheral blood in patients with pemphigus.

The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Okayama, Japan, 2015. 12. 11-13.

8. 天谷雅行: 天疱瘡に対するIVIg療法を含めた治療戦略. 第114回日本皮膚科学会総会, 横浜, 2015. 5. 29- 31.
9. 山口麻里、青山裕美、神谷浩二、山上 淳、天谷雅行、岩月啓氏: 増殖性天疱瘡における病因シグナル解析. 第114回日本皮膚科学会総会, 横浜, 2015. 5. 29- 31.
10. 藤尾由美、山上 淳、小島和夫、橋口理宏、天谷雅行: 天疱瘡と類天疱瘡の血清中自己抗体測定におけるELISA 法とCLEIA 法の比較. 第114回日本皮膚科学会総会, 横浜, 2015. 5. 29- 31.
11. 栗原佑一、山上 淳、鳥居与作、早川宇宙、木村佳史、舩越 建、天谷雅行: 天疱瘡・類天疱瘡の治療経過における臨床症状スコア (PDAI/BPDAI) の推移の検討. 第37回水疱症研究会, 福島, 2015. 9. 26-27.
12. 入来景悟、舩越 建、内田理美、天谷雅行、角田和之、此枝生恵、谷川瑛子: 粘膜類天疱瘡との鑑別を要した嗄声を伴うBehçet病の1例. 第 39 回皮膚脈管・膠原病研究会, 大分, 2016. 1. 22-23.
13. 鳩貝亜希、栗原祐一、舩越 建、高橋勇人、久保亮治、山上 淳、松田 論、中村理恵子、神戸有希、天谷雅行: エンドキサンパルス療法、血漿交換法を必要とした食道狭窄を伴う粘膜類天疱瘡の1例. 第79回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学会大会, 東京, 2016. 2. 20-21.

(平成28年度)

論文発表

書籍 (欧文)

1. Yamagami J, Takahashi H, Amagai M: Pemphigus. Kabashima K, Immunology of the Skin; Basic and clinical sciences in skin immune responses. Springer (Berlin), 405-417, 2016.

書籍 (和文)

1. 高木 敦、池田志孝. Darier病・Hailey-Hailey病. 佐藤伸一、藤本 学, 皮膚科研修ノート. メディカルビュー社, 128, 2016.
2. 宇谷厚志. 弾性線維性仮性黄色腫. 佐藤伸一、藤本 学, 皮膚科研修ノート. 診断と治療社(東京), 386-387, 2016.
3. 秀 道広. 48 抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬. 矢崎義男, 治療薬Up-To-Date 2016. メディカルビュー社(東京), 599-603, 2016.
4. 秀 道広. 血管性浮腫. 佐藤伸一、藤本 学, 皮膚科研修ノート. 診断と治療社(東京), 275-277, 2016.
5. 山上 淳. 天疱瘡. 佐藤伸一、藤本 学, 皮膚科研修ノート. 診断と治療社, 350-351, 2016.
6. 鈴木民夫. 尋常性白斑. 福井次矢ら, 今日の治療指針2017私はこう治療している. 医学書院, 1226, 2017.
7. 山上 淳. 「日本の天疱瘡診療ガイドライン」の検証. 古川福実、渡辺晋一, 皮膚疾

患 最新の治療 2017-2018. 南江堂, 15-18, 2017.

雑誌 (欧文)

1. Kumagai Y, Umegaki-Arao N, Sasaki T, Nakamura Y, Takahashi H, Ashida A, Tsunemi Y, Kawashima M, Shimizu A, Ishiko A, Nakamura K, Tsuchihashi H, Amagai M, Kubo A: Distinct phenotype of epidermolysis bullosa simplex with infantile migratory circinate erythema due to frameshift mutations in the V2 domain of KRT5. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 31, e224-e272, 2016.
2. Yokouchi M, Atsugi T, Logtestijn MV, Tanaka RJ, Kajimura M, Suematsu M, Furuse M, Amagai M, Kubo A: Epidermal cell turnover across tight junctions based on Kelvin's tetrakaidecahedron cell shape. *Elife* 5 e19593, (doi:10.7554/eLife.19593), 2016.
3. Kamiya K, Aoyama Y, Suzuki T, Niwa H, Horio A, Nishio E, Tokura Y: Possible enhancement of BP180 autoantibody production by herpes zoster. *J Dermatol*, 43(2): 197-199, 2016.
4. Kono M, Matsumoto F, Suzuki Y, Suganuma M, Saito H, Ito Y, Fujiwara S, Moriwaki S, Matsumoto K, Matsumoto N, Tomita Y, Sugiura K, Akiyama M: Dyschromosis symmetrica hereditaria and Aicardi-Goutières syndrome 6 are phenotypic variants caused by ADAR1 mutations. *J Invest Dermatol*, 136: 875-878, 2016.
5. Suzuki S, Nomura T, Miyauchi T, Takeda M, Nakamura H, Shinkuma S, Fujita Y, Akiyama M, Shimizu H: Revertant mosaicism in ichthyosis with confetti caused by a novel frameshift mutation in KRT1. *J Invest Dermatol*, 136: 2093-2095, 2016.
6. Takeichi T, Liu L, Abdul-Wahab A, McMillan JR, Stone KL, Akiyama M, Simpson MA, Parsons M, Mellerio JE, McGrath JA: Large intragenic KRT1 deletion underlying atypical autosomal dominant keratinopathic ichthyosis. *J Invest Dermatol*, 136: 2095-2098, 2016.
7. Zhong FL, Mamaï O, Sborgi L, Boussofara L, Hopkins R, Robinson K, Szeverényi I, Takeichi T, Balaji R, Lau A, Tye H, Roy K, Bonnard C, Ahl PJ, Jones LA, Baker P, Lacina L, Otsuka A, Fournie PR, Malecaze F, Lane EB, Akiyama M, Kabashima K, Connolly JE, Masters SL, Soler VJ, Omar SS, McGrath JA, Nedelcu R, Gribaa M, Denguezli M, Saad A, Hiller S, Reversade B: Germline NLRP1 mutations cause skin inflammatory and cancer susceptibility syndromes via inflammasome activation. *Cell*, 167: 187-202. e17, 2016.
8. Oiso N, Okubo Y, Utani A, Kawada A: Pseudoxanthoma elasticum with peculiar acne scar of the neck: Dermoscopic features of tissue bridges as intact skin between crater-like acne scars. *J Dermatol*, 43: 454-456, 2016.
9. Takahashi T, Mizutani Y, Ito M, Nakano H, Sawamura D, Seishima M: Dystrophic epidermolysis bullosa pruriginosa successfully treated with immunosuppressants. *J Dermatol*, 43: 1391-1392, 2016.
10. Akasaka E, Hagiwara C, Takiyoshi N, Aizu T, Nakano H, Sawamura D, Ota T: Elevated levels of circulating immunoglobulin E autoantibodies against BP180 and BP230

- in an intractable case of bullous pemphigoid. *J Dermatol Sci*, 84: 110-113, 2016.
11. Makino T, Shimizu K, Mizawa M, Nakano H, Sawamura D, Shimizu T: A novel deletion mutation of the ATP2C1 gene in a family with Hailey-Hailey disease. *Eur J Dermatol*, 26: 414-416, 2016.
 12. Izumi K, Nishie W, Mai Y, Wada M, Natsuga K, Ujiie H, Iwata H, Yamagami J, Shimizu H: Autoantibody profile differentiates between inflammatory and noninflammatory bullous pemphigoid. *J Invest Dermatol*, 136: 2201-2210, 2016.
 13. Wada M, Nishie W, Ujiie H, Izumi K, Iwata H, Natsuga K, Nakamura H, Kitagawa Y, Shimizu H: Epitope-dependent pathogenicity of Abs targeting a major bullous pemphigoid autoAg collagen XVII/BP180. *J Invest Dermatol*, 136: 938-946, 2016.
 14. Araki Y, Abe Y, Takeda Y, Nakano H, Sawamura D, Yamashita H, Suzuki T: Incontinentia pigmenti with retinal vascular anomaly and deletion of exons 4-10 in NEMO. *J Dermatol*, 2016 Sep 26. doi: 10.1111/1346-8138.13609.
 15. Hayashi M, Okamura K, Araki Y, Suzuki M, Tanaka T, Abe Y, Nakano S, Yoshizawa J, Hozumi Y, Inoie M, Suzuki T: A novel three dimensional imaging method for the measurement of area in vitiligo and chemical leukoderma. *J Dermatol Sci*, 84: 219-221, 2016.
 16. Araki Y, Okamura K, Munkhbat B, Tamiya G, Erdene-Ochir B, Nemekhbaatar L, Hozumi Y, Suzuki T: Whole-exome sequencing confirmation of multiple MC1R variants associated with extensive freckles and red hair: Analysis of a Mongolian family. *J Dermatol Sci*, 84: 216-219, 2016.
 17. Iwata Y, Kobayashi T, Arima M, Numata S, Yagami A, Okamura K, Araki Y, Sugiura K, Suzuki T, Matsunaga K: Case of Japanese Hermansky-Pudlak syndrome patient with deeply invasive squamous cell carcinoma and multiple lesions of actinic keratosis on the face and neck. *J Dermatol*, 2016 May 14. doi: 10.1111/1346-8138.13462.
 18. Torii H, Terui T, Matsukawa M, Takesaki K, Ohtsuki M, Nakagawa H; Japanese Dermatological Association (JDA) PMS committee: Safety profiles and efficacy of infliximab therapy in Japanese patients with plaque psoriasis with or without psoriatic arthritis, pustular psoriasis or psoriatic erythroderma: Results from the prospective post-marketing surveillance. *J Dermatol*, 43: 767-778, 2016.
 19. Namba C, Tohyama M, Hanakawa Y, Murakami M, Shirakata Y, Matsumoto T, Suemori K, Ishii N, Hashimoto T, Sayama K: Paraneoplastic pemphigus associated with fatal bronchiolitis obliterans and intractable mucosal erosions: Treatment with cyclosporine in addition to steroid, rituximab and IVIG. *J Dermatol*, 43(4): 419-422, 2016.
 20. Kamiya, K, Aoyama Y, Wakashima C, Kudo T, Nakajima K, Sano S, Ishii N, Teye K, Hashimoto T, Iwatsuki K, Tokura Y: Atypical pemphigus with immunoglobulin autoantibodies against desmoglein 3 and desmocollin 3. *J Dermatol*, 43(4): 429-431, 2016.

21. Nishikawa R, Takahashi H, Matsuda M, Imaoka K, Ogawa M, Teye K, Tsuchisaka A, Koga H, Komorowski L, Probst C, Hachiya T, Fritzler M, Ishii N, Ohata C, Furumura M, Krol P. R, Muro Y, Morita E, Hashimoto T: Anti-early endosome antigen 1 autoantibodies were detected in a pemphigus-like patient but not in the majority of pemphigus diseases. *Exp Dermatol*, 25(5): 368-574, 2016.
22. Teye K, Suga Y, Numata S, Soejima M, Ishii N, Krol RP, Ohata C, Matsuda M, Honma M, Ishida-Yamamoto A, Hamada T, Koda Y, Hashimoto T: A founder deletion of corneodesmosin gene is prevalent in Japanese patients with peeling skin disease: identification of 2 new cases. *J Dermatol Sci*, 82(2): 134-137, 2016.
23. Fukuda A, Himejima A, Tsuruta D, Koga H, Ohyama B, Morita S, Hashimoto T: Four cases of mucous membrane pemphigoid with clinical features of oral lichen planus. *Int J Dermatol*, 55(6): 657-665, 2016.
24. Dainichi T, Hayden MS, Park SG, Oh H, Seeley JJ, Grinberg-Bleyer Y, Beck KM, Miyachi Y, Kabashima K, Hashimoto T, Ghosh S: PDK1 Is a Regulator of Epidermal Differentiation that Activates and Organizes Asymmetric Cell Division. *Cell Rep*, 15(8): 1615-1623, 2016.
25. Geller S, Gat A, Zeeli T, Schmidt E, Ishii N, Hashimoto T, Zillikens D, Sprecher E: A refractory, cutaneous, subepidermal bullous disease. *Clin Exp Dermatol*, 41(5): 573-575, 2016.
26. Teye K, Numata S, Ohzono A, Ohyama B, Tsuchisaka A, Koga H, Hachiya T, Tsuruta D, Ishii N, Hashimoto T: Establishment of IgA ELISAs of mammalian recombinant proteins of human desmogleins 1-3. *J Dermatol Sci*, 83(1): 75-77, 2016.
27. Inoue-Nishimoto T, Hanafusa T, Hirohata A, Mabuchi-Kiyohara E, Mizoguchi N, Matsumoto K, Ishii N, Hashimoto T, Ikegami R: IgG/IgA Pemphigus representing Pemphigus vegetans caused by low titers of IgG and IgA antibodies to desmoglein 3 and IgA antibodies to desmoglein 3. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 30(7): 1229-1231, 2016.
28. Winge MC, Ohyama B, Dey CN, Boxer LM, Li W, Ehsani-Chimeh N, Truong AK, Wu D, Armstrong AW, Makino T, Davidson M, Starcevic D, Kislak A, Nguyen NT, Hashimoto T, Homey B, Khavari PA, Bradley M, Waterman EA, Marinkovich MP: RAC1 activation drives pathologic interactions between the epidermis and immune cells. *J Clin Invest*, 126(7): 2661-2677, 2016.
29. Numata S, Teye K, Krol RP., Okamoto Y, Hashikawa K, Matsuda M, Fortugno P, Di Zenzo G, Castiglia D, Zambruno G, Hamada T, Hashimoto T: A compound synonymous mutation c.474G>A with p.Arg578X mutation in SPINK5 causes splicing disorder and mild phenotype in Netherton syndrome. *Exp Dermatol*, 25(7): 568-570, 2016.
30. Hashimoto T, Jin Z, Ishii N: Clinical and immunological studies for 105 Japanese seropositive patients of epidermolysis bullosa acquisita examined at Kurume University. *Expert Rev Clin Immunol*, 12(8): 895-902, 2016.
31. Otsuka Y, Ueno T, Kaneko A, Ito M, Osada S, Funasaka Y, Teye K, Ishii N, Hashimoto

- T, Kawana S: Case of paraneoplastic pemphigus with immunoglobulin (Ig)G and IgA antibodies to various antigens. *J Dermatol*, 43(8): 944-946, 2016.
32. Numata S, Teye K, Karashima T, Matsuda M, Hamada T, Hashimoto T: Functional study of TGM1 missense mutations in autosomal recessive congenital ichthyosis. *Exp Dermatol*, 25(8): 657-659, 2016.
 33. Teye K, Numata S, Ishii N, Krol RP, Tsuchisaka A, Hamada T, Koga H, Karashima T, Ohata C, Tsuruta D, Saya H, Haftek M, Hashimoto T: Isolation of all CD44 Transcripts in Human Epidermis and Regulation of their Expression by various Agents. *Plos One*, 11(8):e0160952, 2016.
 34. Yasukochi A, Teye K, Ishii N, Hashimoto T: Clinical and Immunological Study of 332 Japanese Patients Tentatively Diagnosed as Anti-BP180-type Mucous Membrane Pemphigoid: A Novel BP180 C-terminal Domain Enzyme-linked Immunosorbent Assay. *Acta Derm Venereol*, 96(6): 762-767, 2016.
 35. Oyama N, Matsuda M, Hamada T, Numata S, Teye K, Hashimoto T, Hasegawa M: Two novel missense mutations of STS gene underlie X-linked recessive ichthyosis: understanding of the mutational and structural spectrum. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 30(9): 1629-1631, 2016.
 36. Florea F, Koch M, Hashimoto T, Sitaru C: Autoimmunity against laminins. *Clin Immunol*, 170: 39-52, 2016.
 37. Kanwar AJ, Vinay K, Sawatkar GU, Dogra S, Minz RW, Ishii N, Hashimoto T: Clinical and immunological study of mucous membrane pemphigoid in a cohort of Indian patients. *Int J Dermatol*, 55(10): e557-e561, 2016.
 38. Yamase A, Kono K, Ishii N, Hashimoto T, Saeki H: An autoimmune bullous dermatosis with clinical, histopathological, and immunological features of bullous pemphigoid and epidermolysis bullosa acquisita in an adult. *Br J Dermatol*, 175(4): 790-793, 2016.
 39. Inoue T, Yagami A, Iwata Y, Ishii N, Hashimoto T, Matsunaga K: Mucous membrane pemphigoid reactive only with BP230. *J Dermatol*, 43(10): 1228-1229, 2016.
 40. Hashimoto T, Tsuruta D, Koga H, Fukuda S, Ohyama B, Komai A, Karashima T, Ohata C, Teye K, Ishii N: Summary of results of serological tests and diagnoses for 4774 cases of various autoimmune bullous diseases consulted to Kurume University. *Br J Dermatol*, 175(5): 953-965, 2016.
 41. Adachi A, Komine M, Suzuki M, Murata S, Hirano T, Ishii N, Hashimoto T, Ohtsuka M: Oral Colchicine Monotherapy for Epidermolysis Bullosa Acquisita: Mechanism of Action and Efficacy. *J Dermatol*, 43(11): 1389-1391, 2016.
 42. Koga H, Recke A, Vidarsson G, Pas HH, Jonkman MF, Hashimoto T, Kasprick A, Ghorbanalipour S, Tenor H, Zillikens D, Ludwig RJ: PDE4 inhibition as potential treatment of epidermolysis bullosa acquisita. *J Invest Dermatol*, 136(11): 2211-2220, 2016.
 43. Męcińska-Jundziłł K, Hashimoto T, Kowalewski C, Woźniak K, Ishii N, Czajkowski

- R: Discrepancies among clinical, histological and immunological findings in IgA pemphigus: a case report and literature survey. *Postepy Dermatol Alergol*, 33(6): 480-484, 2016.
44. Harada N, Hiragun T, Mizuno M, Kawaguchi T, Ishii K, Yanase Y, Hiragun T, Sugita Y, Hide M: A case of erythritol allergy studied by basophil histamine release and CD203c expression in vitro in addition to a challenge test in vivo. *J Invest Allergol Clin Immunol*, 26: 135-136, 2016.
 45. Muto M: Immunogenetic approach to psoriasis. *Bull Yamaguchi Medical School*, 63: 35-40, 2016.
 46. Yoshida K, Ishii K, Shimizu A, Yokouchi M, Amagai M, Shiraishi K, Shirakata Y, Stanley JR, Ishiko A: Non-pathogenic pemphigus foliaceus (PF) IgG acts synergistically with a directly pathogenic PF IgG to increase blistering by p38MAPK-dependent desmoglein 1 clustering. *J Dermatol Sci*, 85(3), 197-207, 2017.
 47. Okamura A, Nakamura R, Yamagami J, Ishii K, Kawakubo H, Omori T, Takeuchi H, Amagai M, Kitagawa Y: Evaluation of pharyngo-oesophageal involvement in pemphigus vulgaris and its correlation with disease activity. *Br J Dermatol*, 176: 224-226, 2017.
 48. Fujio Y, Kojima K, Hashiguchi M, Wakui M, Murata M, Amagai M, Yamagami J: Validation of chemiluminescent enzyme immunoassay in detection of autoantibodies in pemphigus and pemphigoid. *J Dermatol Sci*, 85: 208-215, 2017.
 49. Lee JYW, Hsu C-K, Michael M, Nanda A, Liu L, McMillan JR, Purreyron C, Takeichi T, Tolar J, Reid E, Hayday T, Blumen SC, Abu-Mouch S, Straussberg R, Basel-Vanagaite L, Barhum Y, Zouabi Y, Al-Ajmi H, Huang H-Y, Lin T-C, Akiyama M, Lee JYY, McLean WHI, Simpson MA, Parsons M, McGrath JA: Large intragenic deletion in DSTYK underlies autosomal recessive complicated spastic paraparesis (SPG23). *Am J Hum Genet*, 100: 364-70, 2017.
 50. Irabayashi T, Anjo T, Kaneko A, Senoo Y, Shibata A, Takama H, Yokoyama K, Nishito Y, Ono T, Taya C, Muramatsu K, Fukami K, Muñoz-Garcia A, Brash A, Ikeda K, Arita M, Akiyama M, Murakami M: PNPLA1 has a crucial role in skin barrier function by directing acylceramide biosynthesis. *Nat Commun*, 8: 14609, 2017.
 51. Morizane S, Mizuno K, Takiguchi T, Sugimoto S, Iwatsuki K: The involvement of serum amyloid A in psoriatic inflammation. *J Invest Dermatol*, 137(3): 757-760, 2017.
 52. Okamura K, Hayashi M, Abe Y, Araki Y, Hozumi Y, Suzuki T: Microsatellite polymorphism located immediately upstream of the phosphatidylinositol glycan, class K gene (PIGK) affects its expression, which correlates with tyrosinase activity in human melanocytes. *J Dermatol Sci*, 2017 Feb;85(2):131-134. doi: 10.1016/j.jdermsci.2016.10.012.
 53. Ozaki S, Funasaka Y, Otsuka Y, Oyama S, Ito M, Osada SI, Ueno T, Okamura K, Hozumi Y, Suzuki T, Kawana S, Saeki H: Melanotic Malignant Melanoma in Oculocutaneous

- Albinism Type 4. *Acta Derm Venereol*, 97: 287-288, 2017.
54. García-Diez I, Martínez-Escala ME, Ishii N, Hashimoto T, Mascaró Galy JM, Pujol RM, Herrero-González JE: Usefulness of a Simple Immunohistochemical Staining Technique to Differentiate Anti-p200 Pemphigoid From Other Autoimmune Blistering Diseases: A Report of 2 Cases. *Actas Dermosifiliogr*, 108(1): e1-e5, 2017.
 55. Kieny A, Hashimoto T, Ishii N, Antal MC, Boehm N, Lipsker D: Granular pemphigus-like IgM deposition around keratinocytes in a patient with Waldenström's macroglobulinaemia: a so far unreported finding. *J Eur Acad Dermatol Venereol*, 31(1): e47-e49, 2017.
 56. Wijayanti A, Zhao CY, Boettiger D, Chiang YZ, Ishii N, Hashimoto T, Murrell DF: The Reliability, Validity and Responsiveness of Two Disease Scores (BPDAI and ABSIS) for Bullous Pemphigoid: Which One to Use? *Acta Derm Venereol*, 96(7): 24-31, 2017.
 57. Amagai M, Ikeda S, Hashimoto T, Mizuashi M, Fujisawa A, Ihn H, Matsuzaki Y, Ohtsuka M, Fujiwara H, Furuta J, Tago O, Yamagami J, Tanikawa A, Uhara H, Morita A, Nakanishi G, Tani M, Aoyama Y, Makino E, Muto M, Manabe M, Konno T, Murata S, Izaki S, Watanabe H, Yamaguchi Y, Matsukura S, Seishima M, Habe K, Yoshida Y, Kaneko S, Shindo H, Nakajima K, Kanekura T, Takahashi K, Kitajima Y, Hashimoto K; Bullous Pemphigoid Study Group: A randomized double-blind trial of intravenous immunoglobulin for bullous pemphigoid. *J Dermatol Sci*, 85(2): 77-84, 2017.
 58. Hashimoto T, Tsuruta D, Ishii N: IgE autoantibodies in bullous pemphigoid detected by IgE ELISAs and perspectives. *JAMA Dermatol*, 153(1): 15-17, 2017.
 59. Hashimoto T, Teye K, Ishii N: Clinical and immunological studies of 49 cases of various types of intercellular IgA dermatosis and 13 cases of classical subcorneal pustular dermatosis examined at Kurume University. *Br J Dermatol*, 176(1): 168-175, 2017.
 60. Sawamura S, Kajihara I, Makino K, Makino T, Fukushima S, Jinnin M, Oyama B, Hashimoto T, Ihn H: Systemic lupus erythematosus associated with myasthenia gravis, pemphigus foliaceus and chronic thyroiditis after thymectomy. *Australas J Dermatol*, 2016 Jun 7. doi: 10.1111/ajd.12510. [Epub ahead of print].
 61. Hashimoto T, Ohzono A, Teye K, Numata S, Hiroyasu S, Tsuruta D, Hachiya T, Kuroda K, Hashiguchi M, Kawakami T, Ishii N: Detection of IgE autoantibodies to BP180 and BP230 and their relationship to clinical features in bullous pemphigoid. *Br J Dermatol*, 2016 Oct 7. doi: 10.1111/bjd.15114. [Epub ahead of print].
 62. Kawahira H, Higashi Y, Matsuoka A, Fujii K, Ishii N, Hashimoto T, Kanekura T: Pyodermatitis vegetans with antibodies to bullous pemphigoid antigen 180. *J Dermatol*, 2016 Dec 3. doi: 10.1111/1346-8138.13703. [Epub ahead of print].
 63. Orime M, Tomiyama K, Hashidate H, Yoshida S, Hokari S, Tsuda A, Yokoyama H, Narita

- JI, Uchida Y, Kanekura T, Abe R, Ishii N, Hashimoto T, Kawai K: Non-paraneoplastic autoimmune subepidermal bullous disease associated with fatal bronchiolitis obliterans. *J Dermatol*, 2016 Dec 3. doi: 10.1111/1346-8138.13706. [Epub ahead of print].
64. Nomura H, Mukai M, Niimi Y, Egami S, Yokoyama T, Sugiura M, Inazumi T, Ishii N, Hashimoto T: Coexistence of acquired perforating dermatosis and bullous pemphigoid: three cases. *Eur J Dermatol*, 2016 Dec 22. doi: 10.1684/ejd.2016.2944. [Epub ahead of print].
 65. Akasaka E, Nakano H, Takagi Y, Toyomaki Y, Sawamura D: Multiple milia as an isolated skin manifestation of dominant dystrophic epidermolysis bullosa: evidence of phenotypic variability. *Pediatr Dermatol*, in press 2016.
 66. Hashimoto T: Induced autoimmune bullous diseases. *Br J Dermatol*, in press 2016.
 67. Hashimoto T, Teye K, Numata S, Suga Y, Hamada T, Ishii N: Detection of SERPINB7 mutation can distinguish Nagashima-type palmoplantar keratoderma from other keratodermas with palmoplantar lesions. *Clin Exp Dermatol*, in press 2016.
 68. Yasuda H, Kanazawa N, Matsuda M, Hamada T, Furumura M, Hashimoto T, Nakama T, Furukawa F: A case of Hailey-Hailey disease with a novel nonsense mutation in the ATP2C1 gene. *Ann Dermatol*, in press 2016.
 69. Koga H, Ishii N, Hashimoto T, Nakama T: A case of shift from linear IgA bullous dermatosis (LABD) to pemphigus herpetiformis (PH) for a short period of time. *J Dermatol*, in press 2016.
 70. Bunimovich YL, Teye K, Ishii N, Ho J, Hashimoto T, Patton TJ: IgG/IgA Pemphigus with Autoantibodies to Desmoglein 1 and Desmocollin 3, and Associated Lung Cancer. *J Clin Cosmet Dermatol*, in press 2016.
 71. Matsuo Y, Tanaka A, Shimomura Y, Hide M: Identified in a Japanese patient with autosomal recessive woolly hair. *J Dermatol*, in press 2016.
 72. Teye K, Numata S, Krol RP, Ishii N, Matsuda M, Lee JB, Hamada T, Hashimoto T: Prevalence of filaggrin gene mutations in patients with atopic dermatitis and ichthyosis vulgaris in Kyushu area of Japan and South Korea. *J Dermatol Sci*, 2017 Jan 22. pii: S0923-1811(16)30846-5. doi: 10.1016/j.jdermsci.2017.01.009. [Epub ahead of print].
 73. Hashimoto T, Mizoguchi A: IL10-producing B-cells in autoimmune bullous diseases. *Br J Dermatol*, in press 2017.
 74. Aizawa N, Asahina A, Ishii N, Hashimoto T, Nakagawa H: The nose as a predilection site of pemphigus. *Clin Exp Dermatol*, in press 2017.
 75. Ohashi M, Takagi H, Mizutani Y, Seishima M, Koga H, Hashimoto T: A case of pemphigoid with IgG autoantibodies to the α 3 subunit of laminin 332 associated with psoriasis vulgaris. *Eur J Dermatol*, in press 2017.
 76. Tani S, Ishii N, Hashimoto T, Tsujioka K: Bullous pemphigoid arising in a patient with acquired perforating dermatosis. *Clin Exp Dermatol*, in press 2017.

77. Okahashi K, Oiso N, Ishii N, Sato M, Uchida S, Matsuda H, Kitano M, Hida J, Kawai S, Sano A, Hashimoto T, Kawada A: Paraneoplastic pemphigus associated with Castleman disease: Progression from mucous to mucocutaneous lesions with epitope-spreading phenomena. Br J Dermatol, in press 2017.
78. Miyake M, Oiso N, Ishii K, Hide M, Kawada A: Angioedema associated with excessive sweating and sweat allergy. J Dermatol, in press 2017.
79. Iwanaga A, Okubo Y, Yozaki M, Koike Y, Kuwatsuka Y, Tomimura S, Yamamoto Y, Tamura H, Ikeda S, Maemura K, Tsuiki E, Kitaoka T, Endo Y, Mishima H, Yoshiura K. I, Ogi T, Tanizaki H, Wataya-Kaneda M, Hattori T, Utani A: Analysis of clinical symptoms and ABCC6 mutations in 76 Japanese patients with pseudoxanthoma elasticum. J Dermatol, online, 2017.
80. Saito R, Boyce A, Hsu CK, Rashidghamat E, Hide M, Wedgeworth EK, Flohr C, Mellerio JE, McGrath JA: Predictive phenotyping of inherited ichthyosis by next generation DNA sequencing. Br J Dermatol, in press.

雑誌（和文）

1. 高橋勇人、天谷雅行. 天疱瘡におけるデスモグレイン3特異的T細胞の臓器を越えた病原的役割. 医学のあゆみ, 259 (2): 159-164, 2016.
2. 大井裕美子、角田梨沙、船越 建、山上 淳、谷川瑛子、寺本由紀子、天谷雅行. 乳癌の放射線治療部位に再燃した落葉状天疱瘡. 皮膚病診療, 38 (11): 1093-1096, 2016.
3. 青山裕美. DPP-4阻害薬内服患者に生じる薬剤関連水疱性類天疱瘡. 皮膚病診療, 38(10): 964-970, 2016.
4. 青山裕美. DPP-4阻害薬による薬剤性水疱性類天疱瘡. 糖尿病の最新治療, 7(4): 190-195, 2016.
5. 野口 篤、木村有太子、高森建二、須賀 康、池田志孝. 顆粒球吸着療法（GMA）による治療を試みた関節症性乾癬の1例. 第30回角化症研究会記録集, 112-116, 2016.
6. 白石映智子、長谷川敏男、平澤祐輔、池田志孝. 炭酸ガスレーザーにて繰り返し治療した劣性栄養障害型表皮水疱症における指趾癒合 - 3例の治療経験 - 皮膚科の臨床, 58(5): 689-692, 2016.
7. 西岡いずみ、平澤祐輔、吉原 渚、扇谷咲子、池田志孝、古賀浩嗣、橋本 隆. 線状IgA/IgG水疱症. 皮膚病診療, 38(10): 1023-1026, 2016.
8. 中原とも子、小川尊資、平澤祐輔、古賀浩嗣、石井文人、橋本 隆、池田志孝. 抗ラミニン 1抗体を含む種々の自己抗体が検出された自己免疫性表皮下水疱症の1例. 臨床皮膚科, 70(13): 1039-1044, 2016.
9. 佐藤之恵、原 肇秀、大久保佑美、大塚 大、宇谷厚志. 【鑑別に苦慮した皮膚病(2)】 <臨床例>弾性線維性仮性黄色腫との鑑別を要した腋窩の多発性丘疹の2例. 皮膚病診療, 38: 595-598, 2016.
10. 鈴木民夫. 【白斑治療の最前線】白斑の新しい分類と臨床像. Derma, 239: 10-16, 2016.
11. 鈴木民夫. 【皮膚疾患ペディア】色素異常症 眼皮膚白皮症(図説/特集). 日本医師

- 会雑誌, 145: 173, 2016.
12. 岡村 賢、鈴木民夫. 指定難病最前線 眼皮膚白皮症の診断基準と診療の実際(解説). 新薬と臨牀. 65: 1386-1391, 2016.
 13. 濱本千晶、吉益 隆、岡村 賢、鈴木民夫、金澤伸雄、古川福実. 眼皮膚白皮症 (oculocutaneous albinism:OCA)4型の1例. 日本小児皮膚科学会雑誌. 35: 107-110, 2016.
 14. 玉井克人. イラスト&ビジュアル「表皮水疱症」. Clinical Derma, 18(1): 3-6, 2016.
 15. 玉井克人. 表皮水疱症に対する遺伝子治療の現状と展望、今、着実に実り始めた遺伝子治療 最新研究と今後の展開. 遺伝子医学MOOK, 30: 158-163, 2016.
 16. 玉井克人. 末梢循環間葉系細胞の生体損傷組織再生メカニズムを利用した再生誘導医薬開発. Bio Clinica, 31(10): 34-38, 2016.
 17. 橋本啓代、山本洋輔、外川八英、石井文人、橋本 隆、松江弘之. Brunsting-Perry型を思わせる皮疹の分布を初発症状とした水疱性類天疱瘡. 皮膚病診療, 38(10): 983-986, 2016.
 18. 秦 舞子、周 円、加納宏行、清島真理子、古賀浩嗣、橋本 隆. 肺癌患者に生じた抗180型粘膜類天疱瘡. 皮膚病診療, 38(10): 995-998, 2016.
 19. 守屋智枝、周 円、加納宏行、小森聡子、橋本 隆、石井文人、清島真理子. 糖尿病治療薬による類天疱瘡型薬疹を疑った症例. 皮膚病診療, 38(10): 1003-1006, 2016.
 20. 西岡いずみ、平澤祐輔、吉原 渚、扇谷咲子、池田志孝、石井文人、古賀浩嗣、橋本 隆. 線状IgA/IgG水疱症. 皮膚病診療, 38(10): 1023-1026, 2016.
 21. 片山智恵子、齊藤恭子、徳永千春、小澤知倫、石井文人、橋本 隆. 歯肉辺縁に生じた尋常性天疱瘡. 皮膚病診療, 38(11): 1069-1072, 2016.
 22. 白川典子、船坂陽子、菊地伊豆実、大塚流音、橋本 隆、川名誠司、佐伯秀久. 【水疱症・膿疱症】原発性マクログロブリン血症に合併した腫瘍随伴性天疱瘡の1例. 皮膚科の臨床, 58(1): 9-13, 2016.
 23. 宇津宮まりか、佐々木哲雄、勝野正子、竹下芳裕、池澤善郎、野澤昭典、石井文人、橋本 隆. 【水疱症・膿疱症】掌蹠、口腔粘膜を中心に水疱を認めた後天性表皮水疱症の1例. 皮膚科の臨床, 58(1): 31-35, 2016.
 24. 藤田真文、遠藤雄一郎、藤澤章弘、谷岡未樹、大日輝記、椋島健治、石井文人、橋本 隆、宮地良樹. 歯肉粘膜びらんのみを呈した粘膜類天疱瘡の1例. 臨床皮膚科, 70(3): 207-212, 2016.
 25. 伊藤恵梨、足立秀禎、鈴木伸吾、石井文人、橋本 隆. 潰瘍性大腸炎に合併した線状IgA水疱性皮膚症の1例. 臨床皮膚科, 70(8): 585-590, 2016.
 26. 川村みゆき、石井文人、松田光弘、大畑千佳、名嘉真武国、橋本 隆. 【遺伝子検索を行った皮膚病】 臨床例 SERPINB7変異を認めた長島型掌蹠角化症の3例. 皮膚病診療, 38(8): 785-788, 2016.
 27. 島本純子、谷崎英昭、黒川晃夫、森脇真一、濱田尚宏、橋本 隆. 【遺伝子検索を行った皮膚病】 臨床例 ATP2C1遺伝子に新規変異を認めたHailey-Hailey病. 皮膚病診療, 38(8): 793-796, 2016.
 28. 山名やよい、小林里実、高山亜由美、福田俊平、橋本 隆. 口腔粘膜病変に加えて爪

- 困炎と小水疱性皮疹を呈した抗BP180型粘膜類天疱瘡. 皮膚病診療, 38(10): 999-1002, 2016.
29. 岩本和真、秀 道広. クインケ浮腫. MB Derma, 251: 11-16, 2016.
 30. 山口道也、中野純二、岡田 悠、松山法道、武藤正彦. 難治性粘膜皮膚型尋常性天疱瘡. 皮膚病診療, 38: 1077-1080, 2016.
 31. 深井和吉、大磯直毅、川口雅一、佐藤美保、堀田喜裕、種村 篤、金田眞理、川上民裕、西村栄美、林思 音、山下英俊、錦織千佳子、佐野栄紀、片山一朗、鈴木民夫. 眼皮膚白皮症診断ガイドライン作成委員会: 眼皮膚白皮症診療ガイドライン補遺. 日本皮膚科学会雑誌, 127: 133-135, 2017.
 32. 藤井麻美、水谷陽子、清島真理子、石井文人、橋本 隆. 抗BP180型粘膜類天疱瘡. Visual Dermatology, 16(1): 24-25, 2017.
 33. 堤 美穂、峠岡理沙、中川有夏、上田有希子、張 財源、益田浩司、加藤則人、立石千晴、鶴田大輔、橋本 隆. 抗ラミニン 1類天疱瘡の1例. 臨床皮膚科, 71(1): 37-42, 2017.
 34. 岩本和真、秀 道広. 血管性浮腫の治療展望. アレルギーの臨床, 37: 143-146, 2017.
 35. 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)診療ガイドライン作成委員会, 氏家秀之、岩田浩明、山上 淳、名嘉眞武国、青山裕美、池田志孝、石井文人、岩月啓氏、黒沢美智子、澤村大輔、谷川瑛子、鶴田大輔、西江 渉、藤本 亘、天谷雅行、清水 宏. 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)診療ガイドライン. 日本皮膚科学会雑誌, 127 (7): 2017 in press.

学会発表

1. Nomura H, Kase Y, Yamagami J, Wada N, Koyasu S, Takahashi H, Amagai M: FcgRIIb is critical to establish clonal ignorance and suppress pemphigus phenotype in pathogenic anti-desmoglein 3 antibody knock-in mice. 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Sendai, Japan, 2016. 12. 9-11.
2. Yoshida K, Ishii K, Shimizu A, Yokouchi M, Amagai M, Stanley JR, Ishiko A: p38MAPK contributes to loss of cell adhesion through clustering of desmoglein 1 but is not required for blistering in pemphigus foliaceus. 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Sendai, Japan, 2016. 12. 9-11.
3. Takahashi H, Nomura H, Iriki H, Mikami Y, Kanno Y, Kubo A, O'shea J, Amagai M: Novel immune regulation by CD4+ T cells via cholesterol 25-hydroxylase pathway. 46th Annual Meeting of the European Society for Dermatological Research, Munich, Germany, 2016. 9. 7- 10.
4. Amagai M: Peripheral tolerance to Dsg3-specific CD4 T cells. Pathogenesis of Pemphigus and Pemphigoid (PPP) Meeting 2016, Munich, Germany, 2016. 9. 5- 7.
5. 入来景悟、高橋勇人、和田直子、天谷雅行: 天疱瘡自己抗原デスモグレイン3 に対するT 細胞末梢免疫寛容機構の解析. 第23回分子皮膚科学フォーラム, 大阪, 2016. 4. 15-16.
6. 佐野里紗、森泉友斉、栗原佑一、舩越 建、天谷雅行、山上 淳: 天疱瘡治療におけ

- る血漿交換療法（単純膜濾過法）の抗体除去率から見た有用性の検討．第115回日本皮膚科学会総会，京都，2016．6．3-5．
7. 天谷雅行：水疱性類天疱瘡の診断と新しい治療法．第115回日本皮膚科学会総会，京都，2016．6．3-5．
 8. 早川宇宙、鳥居与作、栗原佑一、舩越 建、天谷雅行、山上 淳：天疱瘡・類天疱瘡における臨床症状スコアの治療介入による推移．第115回日本皮膚科学会総会，京都，2016．6．3-5．
 9. 朝倉涼平、梅垣知子、栗原佑一、山上 淳、西川武二、天谷雅行：原因薬剤中止のみで軽快したブシラミン誘発性疱疹状天疱瘡の1例．第866回日本皮膚科学会東京地方会，東京，2016．6．18．
 10. 高杉亜里紗、栗原佑一、鈴木さつき、鳩貝亜希、持丸奈央子、田中千尋、横内麻里子、舩越 建、山上 淳、天谷雅行：エンドキサンパルス（IVCY）を複数回施行し病勢の抑制に至った難治性尋常性天疱瘡の1例．第866回日本皮膚科学会東京地方会，東京，2016．6．18．
 11. 天谷雅行：水疱性類天疱瘡の診断と新しい治療法．第8回関西皮膚自己免疫疾患談話会，大阪，2016．7．1．
 12. 内田理美、舩越 建、栗原佑一、山上 淳、定平知江子、小川優一、天谷雅行：4歳で発症し、プレドニゾロンの内服治療で軽快した尋常性天疱瘡の小児例．第40回日本小児皮膚科学会・学術大会，広島，2016．7．2-3．
 13. 椎山理恵、種本紗枝、舩越 建、梅垣知子、大畑恵之、石井文人、橋本 隆、天谷雅行、山上 淳：乾癬軽快時に発症した水疱性類天疱瘡の1例．第871回日本皮膚科学会東京地方会，東京，2017．1．21．
 14. 天谷雅行：天疱瘡、類天疱瘡におけるIVIg療法．第31回Transfusion Medicine Conference，葉山市，2017．1．27- 28．

G．知的所有権の取得状況

- 1.特許取得
なし
- 2.実用新案登録
なし
- 3.その他
なし

平成28年度 研究業績

書籍

欧文

著者名	論文タイトル	編集者名	書名	出版社 (出版地)	出版年 (西暦)、頁
<u>Yamagami J.</u> Takahashi H, <u>Amagai M</u>	Pemphigus.	Kabashima K	Immunology of the Skin; Basic and clinical sciences in skin immune responses.	Springer (Berlin)	405-417, 2016

書籍（和文）

平成26年度 研究業績

著者名	論文タイトル	編集者名	書名	出版社 (出版地)	出版年 (西暦)、頁
<u>青山裕美</u>	水疱症 自己抗体の抗原検索	宮地良樹	定番 皮膚科外来検査のすべて	文光堂（東京）	152-154, 2014
<u>橋本 隆</u>	臓器特異性自己免疫性疾患のプロトタイプとしての自己免疫性水疱症の最新の知見	松村稔、吉田佳代、市原達矢	アレルギー・免疫11月号	医療ジャーナル社（大阪）	17-19, 2014
<u>武藤正彦</u>	掌蹠角化症	渡辺晋一、古川福実	皮膚疾患 最新の治療2015-2016	南江堂（東京）	145, 2015

平成27年度 研究業績

著者名	論文タイトル	編集者名	書名	出版社 (出版地)	出版年 (西暦)、頁
<u>池田志孝</u>	天疱瘡	渡辺晋一、古川福美	皮膚疾患再診の治療2015-2016	株式会社南江堂	115-118, 2015
<u>宇谷厚志</u>	弾性線維性仮性黄色腫		南山堂医学大辞典、第20版1刷	南山堂（東京）	1572-1573, 2015
<u>宇谷厚志</u>	弾性線維性仮性黄色腫	渡辺晋一、古川福実	皮膚疾患最新の治療2015-2016	南江堂（東京）	155, 2015

著者名	論文タイトル	編集者名	書名	出版社 (出版地)	出版年 (西暦)、頁
<u>宇谷厚志</u>	エーラス・ダン ロス症候群と弾 性線維性仮性黄 色腫のみかた		平成27年度日本 皮膚科学会研修 講習会テキスト －中部支部企画 研修講習会（選 択コース）－	日本皮膚科学会 (東京)	1-8, 2015

平成28年度 研究業績

著者名	論文タイトル	編集者名	書名	出版社 (出版地)	出版年 (西暦)、頁
<u>高木 敦</u> 、 <u>池田 志孝</u>	Darier病・ Hailey-Hailey病	佐藤伸一、藤本 学	皮膚科研修ノー ト	メディカル ビュー社	128, 2016
<u>宇谷厚志</u>	弾性線維性仮性 黄色腫	佐藤伸一、藤本 学	皮膚科研修ノー ト	診断と治療社(東 京)	386-387, 2016
<u>秀 道広</u>	48 抗ヒスタミ ン薬・抗アレルギー薬	矢崎義男	治療薬Up-To- Date 2016	メディカル ビュー社(東 京)	599-603, 2016
<u>秀 道広</u>	血管性浮腫	佐藤伸一、藤本 学	皮膚科研修ノー ト	診断と治療社 (東京)	275-277, 2016
<u>山上 淳</u>	天疱瘡	佐藤伸一、藤本 学	皮膚科研修ノー ト	診断と治療社	350-351, 2016
<u>鈴木民夫</u>	尋常性白斑	福井次矢ら	今日の治療指針 2017私はこちら治 療している	医学書院	1226, 2017

著者名	論文タイトル	編集者名	書名	出版社 (出版地)	出版年 (西暦)、頁
<u>山上 淳</u>	「日本の天疱瘡 診療ガイドライ ン」の検証	古川福実、渡辺 晋一	皮膚疾患 最新の 治療 2017-2018	南江堂	15-18, 2017

雑誌 (欧文)

平成26年度 研究業績

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Tanahashi K, Sugiura K, Asagoe K, <u>Aoyama Y</u> , <u>Iwatsuki K</u> , <u>Akiyama M</u>	Novel TGM1 Missense Mutation p.Arg727Gln in a Case of Self-healing Collodion Baby.	Acta Derm Venereol	94(5): 589-590, 2014
Shimizu T, Takebayashi T, Sato Y, <u>Niizeki H</u> , <u>Aoyama Y</u> , Kitajima Y, <u>Iwatsuki K</u> , <u>Hashimoto T</u> , <u>Yamagami J</u> , Werth VP, <u>Amagai M</u> , <u>Tanikawa A</u>	Grading criteria for disease severity by pemphigus disease area index.	J Dermatol	41(11): 963-973, 2014
Committee for guidelines for the management of pemphigus disease, <u>Amagai M</u> , <u>Tanikawa A</u> , Shimizu T, <u>Hashimoto T</u> , <u>Ikeda S</u> , <u>Kurosawa M</u> , <u>Niizeki H</u> , <u>Aoyama Y</u> , <u>Iwatsuki K</u> , Kitajima Y	Japanese guidelines for the management of pemphigus.	J Dermatol	41(6): 471-486, 2014
<u>Niizeki H</u> , Shiohama A, Sasaki T, Seki A, Kabashima K, Otsuka A, Takeshita M, Hirakiyama A, Okuyama T, Tanese K, Ishiko A, <u>Amagai M</u> , Kudoh J	The novel SLC02A1 heterozygous missense mutation p.E427K and nonsense mutation p.R603* in a female patient with pachydermoperiostosis with an atypical phenotype.	Br J Dermatol	170(5): 1187-1189, 2014
<u>Niizeki H</u> , Shiohama A, Sasaki T, Seki A, Kabashima K, Otsuka A, Kosaki K, Ogo A, Yamada T, Miyasaka M, Matsuoka K, Hirakiyama A, Okuyama T, Matsuda M, Nakabayashi K, Tanese K, Ishiko A, <u>Amagai M</u> , Kudoh J	The complete type of pachydermoperiostosis: A novel nonsense mutation p.E141* of the SLC02A1 gene.	J Dermatol Sci	75(3): 193-195, 2014

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Shimizu Y, Ogawa Y, Sugiura K, Takeda J, Sakai-Sawada K, Yanagi T, Kon A, <u>Sawamura D</u> , Shimizu H, Akiyama M	A palindromic motif in the -2084 to -2078 upstream region is essential for ABCA12 promoter function in cultured human keratinocytes.	Sci Rep.	4: 6737, 2014
Yoshihara N, Nakano H, <u>Sawamura D</u> , Ikeda S	Novel missense mutation of COL7A1 in a recessive dystrophic epidermolysis bullosa patient with mild clinical phenotype.	J Dermatol	41(10): 939-940, 2014
Moritsugu R, <u>Tamai K</u> , Nakano H, Aizu T, Nakajima K, Yamazaki T, <u>Sawamura D</u>	Functional analysis of the nuclear localization signal of the POU transcription factor Skn-1a in epidermal keratinocytes.	Int J Mol Med.	34(2): 539-544, 2014
Park K, Nakano H, <u>Sawamura D</u> , Kabashima K, Miyachi Y	A case of dominant dystrophic epidermolysis bullosa with diabetes mellitus presenting as progressive recalcitrant blisters and erosions.	Int Wound J.	11(5): 567-568, 2014
Sugiura K, <u>Muto M</u> , <u>Akiyama M</u>	Card 14 c.526G>C(p.Asp176His) is a significant risk factor for generalized pustular psoriasis with psoriasis vulgaris in the Japanese	J Invest Dermatol	134: 1755-1757, 2014
Nakamura Y, Takahata H, Teye K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , <u>Muto M</u>	A case of pemphigus herpetiformis-like atypical pemphigus with IgG anti-desmoglein 3 antibodies.	Br J Dermatol	171: 1555-1608, 2014
Nakahara T, Takagi A, <u>Yamagami J</u> , Kamiya K, <u>Aoyama Y</u> , <u>Iwatsuki K</u> , <u>Ikeda S</u>	High Anti-Desmoglein 3 Antibody ELISA Index and Negative Indirect Immunofluorescence Result in a Patient With Pemphigus Vulgaris in Remission: Evaluation of the Antibody Profile by Newly Developed Methods.	JAMA Dermatol	150(12): 1327-1330, 2014

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Demitsu T, Yamada T, Nakamura S, Kakurai M, Dohmoto T, Kamiya K, <u>Aoyama Y, Iwatsuki K, Yamagami J</u> , Ohyama B, Ohata C, Koga H, <u>Hashimoto T</u>	Detection of Autoantibodies to Precursor Proteins of Desmogleins in Sera of a Patient with Bowen Carcinoma.	Acta Derm Venereol	94(5): 601-603, 2014
Kurata M, Mizukawa Y, <u>Aoyama Y</u> , Shiohara T	Herpes simplex virus reactivation as a trigger of mucous lesions in pemphigus vulgaris.	Br J Dermatol	171(3): 554-560, 2014
Ujiie H, Sasaoka T, Izumi K, Nishie W, Shinkuma S, Natsuga K, Nakamura H, Shibaki A, <u>Shimizu H</u>	Bullous pemphigoid autoantibodies directly induce blister formation without complement activation.	J Immunol	193: 4415-4428, 2014
Nishie W, Natuga K, Nakamura H, Ito T, Toyonaga E, Sato H, <u>Shimizu H</u>	A recurrent 'hot spot' glycine substitution mutation, G2043R in COL7A1, induces dominant dystrophic epidermolysis bullosa associated with intracytoplasmic accumulation of pro-collagen VII.	J Dermatol Sci	75: 63-71, 2014
Akiyama T, Niyonsaba F, Kiatsurayanon C, Nguyen TT, Ushio H, Fujimura T, Ueno T, Okumura K, Ogawa H, <u>Ikeda S</u>	The human cathelicidin LL-37 host defense peptide upregulates tight junction-related proteins and increases human epidermal keratinocyte barrier	J Innate Immun	6(6): 739-753, 2014
Hattori F, Kiatsurayanon C, Okumura K, Ogawa H, <u>Ikeda S</u> , Okamoto K, Niyonsaba F	The antimicrobial protein S100A7/psoriasin enhances the expression of keratinocyte differentiation markers and strengthens the skin's tight junction barrier.	Br J Dermatol	171(4): 742-753, 2014
Mine Y, Iwanaga A, Ikehara S, Koike Y, Takamura N, <u>Utani A</u>	Pseudoxanthoma elasticum-like skin lesions with congenital erythropoietic porphyria.	Eur J Dermatol	24: 401-402, 2014

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Tanioka M, <u>Utani A</u> , Tamura H, Yoshimura N, Kashiwagi N, Kondo E, Konishi I, Miyachi Y	Calcification of the placenta in a woman with pseudoxanthoma elasticum with a mutation of the ABCC6 gene.	J Dermatol	41: 189-191, 2014
Ito T, Furukawa F, <u>Iwatsuki K</u> , Matsue H, Shimada S, Takigawa M, Tokura Y	Efficacious treatment of psoriasis with low-dose and intermittent cyclosporin microemulsion therapy.	J Dermatol	41: 377-381, 2014
Mabuchi T, Ota T, Manabe Y, Ikoma N, Ozawa A, <u>Terui T</u> , <u>Ikeda S</u> , Inoko H, Oka A	HLA-C*12:02 is a susceptibility factor in late-onset type of psoriasis in Japanese.	J Dermatol	41: 697-704, 2014
Vinay K, Kanwar AJ, Sawatkar GU, Dogra S, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Successful use of rituximab in the treatment of childhood and juvenile pemphigus.	J Am Acad Dermatol	71(4): 669-675, 2014
Hida T, Kase K, Hamada T, Matsuda M, <u>Hashimoto T</u> , Yamashita T	Ankyloblepharon-ectodermal defects-cleft lip/palate syndrome: a case with a novel p63 mutation associated with abnormal keratohyalin granules.	Eur J Dermatol	24(4): 495-497, 2014
Hayakawa T, Furumura M, Fukano H, Li X, Ishii N, Hamada T, Ohata C, Tsuruta D, Shimozato K, <u>Hashimoto T</u>	Diagnosis of oral mucous membrane pemphigoid by means of combined serologic testing.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol	117(4): 483-496, 2014
Zenke Y, Nakano T, Eto H, Koga H, <u>Hashimoto T</u>	A case of vancomycin-associated linear IgA bullous dermatosis and IgA antibodies to the alpha3 subunit of laminin-332.	Br J Dermatol	170(4): 965-969, 2014
Sato M, Oiso N, Koga H, Ishii N, Matsuda H, Hayamizu K, Saitou K, Doi K, <u>Hashimoto T</u> , Kawada A	Mucosal dominant-type pemphigus vulgaris associated with gastrointestinal stromal tumor.	Eur J Dermatol	24(4): 494-495, 2014

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Furuya A, Takahashi E, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Satoh T	IgG/IgA pemphigus recognizing desmogleins 1 and 3 in a patient with Sjögren' s syndrome.	Eur J Dermatol	24(4) : 512-513, 2014
Sato H, Toriyama K, Yagi S, Takanari K, Takama H, Sawada M, <u>Hashimoto T</u> , Kamei Y	Surgical Correction of Microstomia in a Patient With Antilaminin 332 Mucous Membrane Pemphigoid.	Ann Plast Surg	72(5) : 553-555, 2014
Hatano Y, Ishikawa K, Koga H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Takeo N, Shimada H, Sakai T, Okamoto O, Fujiwara S	A case of concurrent pemphigoid vegetans and pemphigus vegetans remitted without oral corticosteroid.	Br J Dermatol	170(5) : 1192-1194, 2014
Kanwar AJ, Vinay K, Sawatkar GU, Dogra S, Minz RW, Shear NH, Koga H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Clinical and immunological outcomes of high and low dose rituximab treatments in pemphigus patients. A randomized comparative observer blinded study.	Br J Dermatol	170(6) : 1341-1349, 2014
Aoki N, Nakajima K, Shiga T, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Sano S	A case of anti-BP180 type mucous membrane pemphigoid treated with intravenous immunoglobulin.	J Dermatol	41(6) : 557-559, 2014
Osawa M, Ueda-Hayakawa I, Isei T, Yoshimura K, Fukuda S, <u>Hashimoto T</u> , Okamoto H	A case of childhood bullous pemphigoid with IgG and IgA autoantibodies to various domains of BP180.	J Am Acad Dermatol	70(6) : e129-e131, 2014
Takayama N, Nakazono S, Kumagai J, Kawamura T, Suzuki F, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Namiki T	Case of subepidermal bullous disease with diffuse esophageal involvement presenting with immunoglobulin G autoantibodies to both the BP180 NC16a and C-terminal domains, and immunoglobulin A autoantibodies to the BP180 NC16a domain.	J Dermatol	41(7) : 665-667, 2014

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Nagamoto E, Fujisawa A, Jinnin M, Koga H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Yoshino Y	Case of pemphigoid vegetans positive with both BP180 and BP230 in enzyme-linked immunosorbent assays.	J Dermatol	41(7): 667-668, 2014
Kanaoka M, Matsukura S, Ishikawa H, Matsuura M, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Aihara M	Paraneoplastic pemphigus associated with fatal bronchiolitis obliterans and appearance of anti-BP180 antibodies in the late stage of the disease.	J Dermatol	41(7): 628-630, 2014
Tsuchisaka A, Kawano H, Yasukochi A, Teye K, Ishii N, Koga H, Sogame R, Ohzono A, Krol RP, Kawakami T, Furumura M, Ohata C, Li X, <u>Hashimoto T</u>	Immunological and Statistical Studies of Anti-BP180 Antibodies in Paraneoplastic Pemphigus.	J Invest Dermatol	134(8): 2283-2287, 2014
Matsukura S, Takahashi K, Hirokado M, Ikezawa Y, Nakamura K, Fukuda S, <u>Hashimoto T</u> , Ikezawa Z, Aihara M, Kambara T	Recalcitrant pemphigus herpetiformis with high titer of immunoglobulin G antibody to desmoglein 1 and positive IgG antibody to desmocollin 3, elevating thymus and activation-regulated chemokine.	Int J Dermatol	53(8): 1023-1026, 2014
Qian H, Kusuvara M, Li X, Tsuruta D, Tsuchisaka A, Ishii N, Koga H, Hayakawa T, Ohara K, Karashima T, Ohyama B, Ohata C, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	B-cell activating factor detected on both naive and memory B-cells in bullous pemphigoid.	Exp Dermatol	23(8): 596-605, 2014
Yoneda K, Moriue J, Demitsu T, Ishii N, Kubota Y, <u>Hashimoto T</u>	Case of mucous membrane pemphigoid with autoantibodies solely to the γ 2-subunit of laminin-332.	J Dermatol	41(8): 766-767, 2014
Ludwig RJ, Borradori L, Diaz LA, <u>Hashimoto T</u> , Hertl M, Ibrahim SM, Jonkman MF, Kitajima Y, Murrell DF, Schmidt E, <u>Shimizu H</u> , Stanley JR, Woodley D, Zillikens D	From epidemiology and genetics to diagnostics, outcome measures and novel treatments in autoimmune bullous diseases.	J Invest Dermatol	134(9): 2298-2300, 2014

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Minakawa S, Kaneko T, Rokunohe D, Nakajima K, Matsuzaki Y, Nakano H, <u>Hashimoto T</u> , Sawamura D	Pemphigoid gestationis with prepartum flare.	J Dermatol	41(9) : 850-851, 2014
Jang HW, Chun SH, Lee JM, Jeon J, <u>Hashimoto T</u> , Kim IH	Radiotherapy-induced pemphigus vulgaris.	J Dermatol	41(9) : 851-852, 2014
Alloo A, Strazzula L, Rothschild B, Hawryluk E, Levine D, Hoang MP, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Kroshinsky D	Refractory antilaminin γ 1 pemphigoid successfully treated with intravenous immunoglobulin and mycophenolate mofetil.	J Eur Acad Dermatol Venereol	28(10) : 1401-1403, 2014
Igarashi M, Tsunemi Y, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Tateishi C, Tsuruta D, Ishii M, Kawashima M	Anti-laminin γ 1 pemphigoid associated with pustular psoriasis.	Eur J Dermatol	24(5) : 629-630, 2014
Sasai S, Nishikawa R, Ohzono A, Hayakawa T, Tsuruta D, Kudoh K, Kikuchi T, Hashiguchi M, Ohata C, Furumura M, Koga H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Characterization of Two Cases of Bullous Pemphigoid Reactive Only with BP230 on Japanese Enzyme-linked Immunosorbent Assays.	Acta Derm Venereol	94(6) : 734-736, 2014
Uchiyama R, Ishii N, Arakura F, Kuniwa Y, Nakazawa K, Uhara H, <u>Hashimoto T</u> , Okuyama R	IgA/IgG Pemphigus with Infiltration of Neutrophils and Eosinophils in an Ulcerative Colitis Patient.	Acta Derm Venereol	94(6) : 737-738, 2014
Uchida S, Oiso N, Koga H, Ishii N, Okahashi K, Matsuda H, <u>Hashimoto T</u> , Kawada A	Refractory bullous pemphigoid leaving numerous milia during recovery.	J Dermatol	41(11) : 1003-1005, 2014
Ansai SI, Hashizume S, Kawana S, Tateishi C, Koga H, <u>Hashimoto T</u>	Case of anti-laminin gamma-1 pemphigoid with antibody against C-terminal domain of BP180 in a patient with psoriasis vulgaris.	J Dermatol	41(11) : 1031-1033, 2014

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Sekiya A, Kodera M, Yamaoka T, Iwata Y, Usuda T, Ohzono A, Yasukochi A, Koga H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	A case of lichen planus pemphigoides with autoantibodies to the NC16a and C-terminal domains of BP180 and to desmoglein-1.	Br J Dermatol	171(5): 1230-1235, 2014
Li X, Qian H, Ishii N, Yamaya M, Fukuda H, Mukai H, Hirako Y, <u>Hashimoto T</u>	A case of concurrent anti-laminin $\gamma 1$ pemphigoid and anti-laminin 332-type mucous membrane pemphigoid.	Br J Dermatol	171(5): 1257-1259, 2014
Miyamoto S, Chikazu D, Yasuda T, Enomoto A, Oh-i T, Hirako Y, Tsuchisaka A, Yasukochi A, Sogame R, Teye K, Koga H, Ishii N, Qian H, Li X, <u>Hashimoto T</u>	A case of oral mucous membrane pemphigoid with IgG antibodies to integrin $\alpha 6 \beta 4$.	Br J Dermatol	171(6): 1555-1557, 2014
Wozniak K, Kalinska-Bienias A, <u>Hashimoto T</u> , Kowalewski C	Ultraviolet-induced linear IgA bullous dermatosis. a case report and literature survey.	Br J Dermatol	171(6): 1578-1581, 2014
Kaipe H, Carlson LM, Erkers T, Nava S, Molldén P, Gustafsson B, Qian H, Li X, <u>Hashimoto T</u> , Sadeghi B, Alheim M, Ringden O	Immunogenicity of decidual stromal cells in an epidermolysis bullosa patient and in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation patients.	Stem Cells Dev	26(3): 369-373, 2014
Jinbu Y, Kashiwazaki A, Munemasa N, Ozawa M, Kusama M, Ishii N, Ohyama B, Ohata C, <u>Hashimoto T</u>	Oral lesions of a patient with antidesmoglein 1 antibody-positive and antidesmoglein 3 antibody-negative pemphigus.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol	26(3): 369-373, 2014
Kamiya K, <u>Aoyama Y</u> , Kawata M, Takiguchi T, Mitsui S et al.	Treatment of a patient with neutrophilic dermatosis with granulocyte and monocyte adsorption apheresis: effects on serum cytokine levels.	Eur J Dermatol	25(2): 189-190, 2015
Kamiya K, Aoyama Y, Noda K, Miyake T, Yamaguchi M, Hamada T, Tokura Y, <u>Iwatsuki K</u>	Possible correlation of IgE autoantibody to BP180 with disease activity in bullous pemphigoid.	J Dermatol Sci	78(1): 77-79, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Kamiya K, Aoyama Y, Yamaguchi M, Ukida A, Mizuno-Ikeda K, Fujii K, Hamada T, Tokura Y, <u>Iwatsuki K</u>	Clues to diagnosis for unusual mucosal pemphigus demonstrating undetectable anti-desmoglein 3 serum antibodies by routine tests.	J Dermatol	42(6) : 572-529, 2015
Iinuma S, Aikawa E, <u>Tamai K</u> , Fujita R, Kikuchi Y, Chino T, Kikuta J, McGrath J, Ishii M, Iizuka H, Kaneda Y	Transplanted bone marrow-derived circulating PDGFR α + cells restore type VII collagen in recessive dystrophic epidermolysis bullosa mouse skin graft.	J Immunol	194(4) : 1996-2003, 2015
Ohzono A, Numata S, Hamada T, Fukuda S, Teye K, Shirakashi Y, Kasai H, Koga H, Ishii N, Sugiura M, <u>Hashimoto T</u>	Anti-laminin- γ 1 pemphigoid developed in a case of gene undetermined autosomal recessive congenital ichthyosis.	Acta Derm Venereol	95(1) : 93-94, 2015
Ishii N, Furumura M, Hamada T, Mori O, Ohzono A, Ueda A, Karashima T, Nakama T, Tsuruta D, Takedatsu H, Fujita H, <u>Hashimoto T</u>	Esophageal involvement in epidermolysis bullosa acquisita.	Br J Dermatol	172(1) : 288-290, 2015
España A, Gimenez-Azcarate A, Ishii N, Idoate MA, Panizo C, <u>Hashimoto T</u>	Anti-desmocollin 1 autoantibody negative SPD-type IgA pemphigus associated with multiple myeloma.	Br J Dermatol	172(1) : 296-298, 2015
Tani N, Kimura Y, Koga H, Kawakami T, Ohata C, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Clinical and immunological profiles of 25 patients with pemphigoid gestationis.	Br J Dermatol	172(1) : 120-129, 2015
Yan Y, Furumura M, Numata S, Teye K, Karashima T, Ohyama B, Tanida N, <u>Hashimoto T</u>	Various peroxisome proliferator-activated receptor (PPAR)- γ agonists differently induce differentiation of cultured human keratinocytes.	Exp Dermatol	24(1) : 62-65, 2015
Li X, Qian H, Takizawa M, Koga H, Tsuchisaka A, Ishii N, Hayakawa T, Ohara K, Sitaru C, Zillikens D, Sekiguchi K, Hirako Y, <u>Hashimoto T</u>	N-linked glycosylation on laminin γ 1 influences recognition of anti-laminin γ 1 pemphigoid autoantibodies.	J Dermatol Sci	77(2) : 125-129, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Asahina A, Niizuma A, Ohzono A, Ishii N, Koga H, <u>Hashimoto T</u>	Pemphigoid Nodularis with Diverse IgG, IgA and IgE Antibodies Showing Neutrophilic Papillary Microabscesses.	Acta Derm Venereol	95(2): 239-240, 2015
Solano-López G, Concha-Garzón MJ, Sánchez-Pérez J, Hirako Y, Li X, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Daudén E	Pure ocular mucous membrane pemphigoid reactive with both integrin beta-4 and BP180 C-terminal domain.	Br J Dermatol	172(2): 542-544, 2015
Tsuchisaka A, Ohara K, Ishii N, Nguyen NT, Peter Marinkovich M, <u>Hashimoto T</u>	Type VII Collagen is the Major Autoantigen for Sublamina Densa-Type Linear IgA Bullous Dermatitis.	J Invest Dermatol	135(2): 626-629, 2015
Kanwar AJ, Vinay K, Varma S, Koga H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Anti-desmoglein antibody-negative paraneoplastic pemphigus successfully treated with rituximab.	Int J Dermatol	54(5): 576-579, 2015
Iino Y, Kano T, Adachi F, Suzuki M, Nishikawa R, Ishii N, Ohata C, Furumura M, Hamada T, <u>Hashimoto T</u>	A case of bullous pemphigoid associated with psoriasis vulgaris showing Hailey-Hailey disease-like histopathological changes in regenerated epidermis without genomic mutation in ATP2C1 or ATP2A2 gene.	J Eur Acad Dermatol Venereol	29(8): 1646-1648, 2015
Izaki S, Mitsuya J, Okada T, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , <u>Terui T</u>	A Case of Linear IgA/IgG Bullous Dermatitis with Anti-laminin-332 Autoantibodies.	Acta Derm Venereol	95(3): 359-360, 2015
Hong WJ, Lee SE, Chang SE, <u>Hashimoto T</u> , Kim SC	Paraneoplastic pemphigus associated with metastatic lymphoepithelioma-like carcinoma originating from the thyroid gland.	Br J Dermatol	172(3): 831-834, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Hirakawa Y, Oiso N, Ishii N, Koga H, Tatebayashi M, Uchida S, Matsuda H, <u>Hashimoto T</u> , Kawada A	Mucous Membrane Pemphigoid with Immunoglobulin G Autoantibodies to the 120-kDa Ectodomain of Type XVII Collagen (BP180/Linear IgA Dermatitis Antigen) in a Patient with Idiopathic Thrombocytopenic Purpura.	Acta Derm Venereol	95(4) : 493-494, 2015
On HR, <u>Hashimoto T</u> , Kim SC	Pemphigus herpetiformis with IgG autoantibodies to desmoglein 1 and desmocollin 1.	Br J Dermatol	172(4) : 1144-1146, 2015
Matsuda H, Oiso N, Ishii N, Sato M, Tatebayashi M, <u>Hashimoto T</u> , Kawada A	Bullous pemphigoid in infancy showing epitope-spreading phenomenon. recovery with topical therapy.	Acta Derm Venereol	95(5) : 610-611, 2015
Tsuchisaka A, Ishii N, Hamada T, Kwesi T, Sogame R, Koga H, Tsuruta D, Ohata C, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	Epidermal polymeric immunoglobulin receptors. Leads from intraepidermal neutrophilic IgA dermatosis-type IgA pemphigus.	Exp Dermatol	24(3) : 217-219, 2015
Minagawa A, Arakura F, Koga H, Tokuda Y, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Okuyama R	An immunogenetic study of bullous pemphigoid with mucosal involvement in two siblings.	Eur J Dermatol	25(2) : 186-188, 2015
Tsuchisaka A, Kaneko S, Imaoka K, Ota M, Kishimoto K, Tomaru U, Kasahara M, Ohata C, Furumura M, Takamori S, Morita E, <u>Hashimoto T</u>	Presence of autoimmune regulator and absence of desmoglein 1 in thymoma associated with a pemphigus foliaceus patient.	Br J Dermatol	173: 268-271, 2015
Vinay K, Kanwar AJ, Mittal A, Dogra S, Minz RW, <u>Hashimoto T</u>	Intralesional Rituximab in the Treatment of Refractory Oral Pemphigus Vulgaris.	JAMA Dermatol	151(8) : 878-882, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Takayama N, Nakazono S, Kumagai J, Chiorean R, Sitaru C, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Namiki T	Pemphigoid gestationis with IgG autoantibodies to both the 120 kDa LAD-1 and the BP180 NC16a domain.	Eur J Dermatol	25(2): 190-192, 2015
Ueo D, Ishii N, Hamada T, Teye K, <u>Hashimoto T</u> , Hatano Y, Fujiwara S	Desmocolin-specific antibodies in a patient with Hailey-Hailey disease.	Br J Dermatol	173(1): 307-309, 2015
Sueki H, Sato Y, Ohtoshi S, Nakada T, Yoshimura A, Tateishi C, Bogdan Borza D, Fader W, Ghohestani RF, Hirako Y, Koga H, Ishii N, Tsuchisaka A, Qian H, Li X, <u>Hashimoto T</u>	A Case of Subepidermal Blistering Disease with Autoantibodies to Multiple Laminin Subunits who Developed Later Autoantibodies to Alpha-5 Chain of Type IV Collagen Associated with Membranous Glomerulonephropathy.	Acta Derm Venereol	95(7): 826-829, 2015
Ishii N, Teye K, Fukuda S, Uehara R, Hachiya T, Koga H, Tsuchisaka A, Numata S, Ohyama B, Tateishi C, Tsuruta D, Furumura M, Hattori S, Kawakami T, Ohata C, <u>Hashimoto T</u>	Anti-desmocolin autoantibodies in non-classical pemphigus.	Br J Dermatol	173(1): 59-68, 2015
Ishida S, Takahashi K, Kanaoka M, Okawa T, Tateishi C, Yasukochi A, Ishii N, Li X, <u>Hashimoto T</u> , Aihara M	A case of subepidermal autoimmune bullous disease with psoriasis vulgaris reacting to both BP180 C-terminal domain and laminin gamma-1.	J Dermatol	42(4): 391-393, 2015
<u>Hashimoto T</u>	Production of numerous autoantibodies in paraneoplastic pemphigus.	Br J Dermatol	172(4): 849-850, 2015
Kato K, Koike K, Kobayashi C, Iijima S, <u>Hashimoto T</u> , Tsuchida M	Bullous pemphigoid after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Pediat Int	57(3): 480-483, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Imanishi A, Tateishi C, Imanishi H, Sowa-Osako J, Koga H, Tsuruta D, <u>Hashimoto T</u>	Pemphigoid with antibodies to laminin γ 1, BP180 and BP230, associated with psoriasis vulgaris. Successful disease control with cyclosporine.	J Dermatol	42(4): 394-397, 2015
Vorobyev A, Ujiie H, Recke A, Buijsrogge JJ, Jonkman MF, Iwata H, <u>Hashimoto T</u> , Kim SC, Kim JH, Groves R, Samavedam U, Gupta Y, Schmidt E, Zillikens D, Shimizu H, Ludwig RJ	Autoantibodies to multiple epitopes on the non-collagenous-1 domain of type VII collagen induce blisters.	J Invest Dermatol	135(6): 1565-1573, 2015
Morita R, Oiso N, Ishii N, Tatebayashi M, Matsuda H, <u>Hashimoto T</u> , Kawada A	A case of burn-associated bullous pemphigoid caused by anti-BP230 IgG autoantibodies.	J Dermatol	42: 657-658, 2015
Numata S, Teye K, Krol P R, Karashima T, Fukuda S, Matsuda M, Ishii N, Furumura M, Ohata C, Saminathan DS, Ariffin R, Pramono AD Z, Leong KF, Hamada T, <u>Hashimoto T</u>	Mutation study for 9 genes in 23 unrelated patients with autosomal recessive congenital ichthyosis in Japan and Malaysia.	J Dermatol Sci	78(1): 82-85, 2015
平成27年度 研究業績			
著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Saleh MA, Hashimoto R, Kase Y, <u>Amagai M, Yamagami J</u>	Low pathogenicity of anti-desmoglein 3 immunoglobulin G autoantibodies contributes to the atypical clinical phenotypes in pemphigus.	J Dermatol	42 (7), 685-689, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Murrell DF, Marinovic B, Caux F, Prost C, Ahmed R, Wozniak K, <u>Amagai M</u> , Bauer J, Beissert S, Borradori L, Culton D, Fairley JA, Fivenson D, Jonkman MF, Marinkovich MP, Woodley D, Zone J, Aoki V, Bernard P, Bruckner-Tuderman L, Cianchini G, Venning V, Diaz L, Eming R, Grando SA, Hall RP, Hashimoto T, Herrero-Gonzalez JE, Hertl M, Joly P, Karpati S, Kim J, Chan Kim S, Korman NJ, Kowalewski C, Lee SE, Rubenstein DR, Sprecher E, Yancey K, Zambruno G, Zillikens D, Doan S, Daniel BS, Werth VP	Definitions and outcome measures for mucous membrane pemphigoid: recommendations of an international panel of experts.	J Am Acad Dermatol	72 (1), 168-174, 2015
Masunaga T, Saito M, Sasaki T, Kubo A, <u>Amagai M</u> , Ishiko A	Japanese recurrent mutation c.6216+5G>T in COL7A1 leads to a mild phenotype of dystrophic epidermolysis bullosa.	J Dermatol Sci	78 (1), 61-66, 2015
Masunaga T, Niizeki H, Yasuda F, Yoshida K, <u>Amagai M</u> , Ishiko A	Splicing abnormality of integrin beta4 gene (ITGB4) due to nucleotide substitutions far from splice site underlies pyloric atresia-junctional epidermolysis bullosa syndrome.	J Dermatol Sci	78 (1), 61-66, 2015
Kasai H, Sasaki T, Matsuzaki H, Yoshioka T, Nagao K, <u>Amagai M</u> , Ishiko A, Kubo A	Case of non-Herlitz junctional epidermolysis bullosa with COL17A1 mutation.	J Dermatol	42 (3), 323-325, 2015
Kamiya K, <u>Aoyama Y</u> , Yamaguchi M, Tokura Y, Iwatsuki K	Detection of autoantibodies against the calcium-dependent epitopes of desmoglein 3 by ethylenediaminetetraacetic acid-treated enzyme-linked immunosorbent assay with mammalian cell expression systems.	J Dermatol	42 (8) :825-827, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Kamiya K, <u>Aoyama Y</u> , Yamaguchi M, Ukida A, Mizuno-Ikeda K, Fujii K, Hamada T, Tokura Y, Iwatsuki K	Clues to diagnosis for unusual mucosal pemphigus demonstrating undetectable anti-desmoglein 3 serum antibodies by routine tests.	J Dermatol	42(6) : 572-579, 2015
Arima K, Ohta S, Takagi A, Shiraishi H, Masuoka M, Ontsuka K, Suto H, Suzuki S, Yamamoto K, Ogawa M, Simmons O, Yamaguchi Y, Toda S, Aihara M, Conway SJ, <u>Ikeda S</u> , Izuhara K	Periostin contributes to epidermal hyperplasia in psoriasis common to atopic dermatitis.	Allergology International	64:41-48, 2015
Smithrithee R, Niyonsaba F, Kiatsurayanon C, Ushio H, <u>Ikeda S</u> , Okumura K, Ogawa H	Human β -defensin-3 increases the expression of interleukin-37 through CCR6 in human keratinocytes.	J Dermatol Sci	Jan;77(1) :46-53, 2015
Furusawa K, Hasegawa T, Hirasawa Y, <u>Ikeda S</u>	Mucous membrane pemphigoid with esophageal stricture treated with balloon dilatation.	J Dermatol	42(3) :325-326, 2015
Kamiya K, Aoyama Y, Noda K, Miyake T, Yamaguchi M, Hamada T, Tokura Y, <u>Iwatsuki K</u>	Possible correlation of IgE autoantibody to BP180 with disease activity in bullous pemphigoid.	J Dermatol Sci	78: 77-79, 2015
Miyake T, Umemura H, Doi H, Kousogabe J, Tsuji K, Hamada T, Sugiura K, Aoyama Y, Akiyama M, <u>Iwatsuki K</u>	Annular pustular psoriasis with a heterozygous IL36RN mutation.	Eur J Dermatol	25: 349-350, 2015
Kajita A, Morizane S, Takiguchi T, Yamamoto T, Yamada M, <u>Iwatsuki K</u>	Interferon-Gamma Enhances TLR3 Expression and Anti-Viral Activity in Keratinocytes.	J Invest Dermatol	135: 2005-2011, 2015
Sato Y, Hara T, Okubo Y, <u>Utani A</u>	Axillary syringomas misdiagnosed as pseudoanthoma elasticum for years.	J Dermatol	42: 933-934, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Moriuchi R, Nishie W, Ujiie H, Natsuga K, <u>Shimizu H</u>	In vivo analysis of IgE autoantibodies in bullous pemphigoid: A study of 100 cases.	J Dermatol Sci	78: 21-25, 2015
Shimanuki M, Abe Y, Tamiya G, Ueki M, Hozumi Y, <u>Suzuki T</u>	Positive selection with diversity in oculocutaneous albinisms type 2 gene (OCA2) among Japanese.	Pigment Cell Melanoma Res	28:233-235, 2015
Tanaka M, Yang L, Wataya-Kaneda M, <u>Suzuki T</u> , Okamura K, Hozumi Y, Yang F, Katayama I	Case of Hermansky-Pudlak syndrome 1 in a Japanese infant.	J Dermatol	42:906-907, 2015
Eleftheriadou V, Thomas K, van Geel N, Hamzavi I, Lim H, <u>Suzuki T</u> , Katayama I, Anbar T, Abdallah M, Benzekri L, Gauthier Y, Harris J, Silva de Castro CC, Pandya A, Goh BK, Lan CC, Oiso N, Al Issa A, Esmat S, Le Poole C, Lee AY, Parsad D, Taieb A, Picardo M, Ezzedine K	Vitiligo Global Issues Consensus Group: Developing core outcome set for vitiligo clinical trials: international e-Delphi consensus.	Pigment Cell Melanoma Res	28:363-369, 2015
Tanemura A, Yang L, Yang F, Nagata Y, Wataya-Kaneda M, Fukai K, Tsuruta D, Ohe R, Yamakawa M, <u>Suzuki T</u> , Katayama I	An immune pathological and ultrastructural skin analysis for rhododendrol-induced leukoderma patients.	J Dermatol Sci	77:185-188, 2015
Kawaguchi M, Hozumi Y, <u>Suzuki T</u>	ADAM protease inhibitors reduce melanogenesis by regulating PMEL17 processing in human melanocytes.	J Dermatol Sci	78:133-42, 2015
Okamura K, Abe Y, Fukai K, Tsuruta D, Suga Y, Nakamura M, Funasaka Y, Oka M, Suzuki N, Wataya-Kaneda M, Seishima M, Hozumi Y, Kawaguchi M, <u>Suzuki T</u>	Mutation analyses of patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria: Ten novel mutations of the ADAR1 gene.	J Dermatol Sci	79: 88-90, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Okamura K, Ohe R, Abe Y, Ueki M, Hozumi Y, Tamiya G, Matsunaga K, Yamakawa M, <u>Suzuki T</u>	Immunohistopathological analysis of frizzled-4-positive immature melanocytes from hair follicles of patients with Rhododendrol-induced leukoderma.	J Dermatol Sci	80: 156-158, 2015
Okamura K, Oiso N, Tamiya G, Makino S, Tsujioka D, Abe Y, Kawaguchi M, Hozumi Y, Shimomura Y, <u>Suzuki T</u>	Waardenburg syndrome type IIE in a Japanese patient caused by a novel missense mutation in the SOX10 gene.	J Dermatol	42: 1211-1212, 2015
Korekawa A, Kaneko T, Nakajima K, Rokunohe D, Akasaka E, Nakano H, <u>Sawamura D</u> , Fukui T, Takiyoshi N, Kitamura H, Harada K	Mycosis fungoides bullosa associated with bullous pemphigoid.	Int J Dermatol	54(9): e366-e368, 2015
Akasaka E, Minakawa S, Rokunohe D, Toyomaki Y, Matsuzaki Y, <u>Sawamura D</u> , Nakano H	Superficial epidermolytic ichthyosis caused by a novel KRT2 mutation.	J Dermatol Sci	79(1): 86-88, 2015
Akasaka E, Nakano H, Korekawa A, Fukui T, Kaneko T, Koga H, Hashimoto T, <u>Sawamura D</u>	Anti-laminin γ 1 pemphigoid associated with ulcerative colitis and psoriasis vulgaris showing autoantibodies to laminin γ 1, type XVII collagen and laminin-332.	Eur J Dermatol	25(2): 198-199, 2015
Akasaka E, Okawa Y, Nakano H, Takiyoshi N, Rokunohe D, Toyomaki Y, <u>Sawamura D</u> , Sueki H	Two Japanese familial cases of punctate palmoplantar keratoderma caused by a novel AAGAB mutation, c.191_194delCAAA.	J Dermatol Sci	78(2): 156-158, 2015
Aikawa E, Fujita R, Kikuchi Y, Kaneda Y, <u>Tamai K</u>	Systemic high-mobility group box 1 administration suppresses skin inflammation by inducing an accumulation of PDGFR α (+) mesenchymal cells from bone marrow.	Sci Rep	11008. doi: 10.1038/srep11008, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Takemoto A, Cho O, Morohoshi Y, Sugita T, <u>Muto M</u>	Molecular characterization of the skin fungal microbiome in patients with psoriasis.	J Dermatol	42: 166-170, 2015
Numata S, Teye K, Krol RP, Karashima T, Fukuda S, Matsuda M, Ishii N, Furumura M, Ohata C1, Saminathan SD, Ariffin R, Pramono ZA, Leong KF, Hamada T, <u>Hashimoto T</u>	Mutation study for 9 genes in 23 unrelated patients with autosomal recessive congenital ichthyosis in Japan and Malaysia.	J Dermatol Sci	78 (1): 82-85, 2015
Prüßmann W, Prüßmann J, Koga H, Recke A, Iwata H, Juhl D, Görg S, Henschler R13, <u>Hashimoto T</u> , Schmidt E, Zillikens D, Ibrahim SM, Ludwig RJ	Prevalence of pemphigus and pemphigoid autoantibodies in the general population.	Orphanet J Rare Dis	10(1): 63, 2015
Minagawa A, Arakura F, Koga H, Tokuda Y, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Okuyama R	An immunogenetic study of bullous pemphigoid with mucosal involvement in two siblings.	Eur J Dermatol	25(2): 186-188, 2015
Kaipe H, Carlson LM, Erkers T, Nava S, Molldén P, Gustafsson B, Qian H, Li X, <u>Hashimoto T</u> , Sadeghi B, Alheim M, Ringden O	Immunogenicity of decidual stromal cells in an epidermolysis bullosa patient and in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation patients.	Stem Cells Dev	24(12): 1471-1482, 2015
Ohata C, Ishii N, Koga H, Fukuda S, Tateishi C, Tsuruta D, Furumura M, <u>Hashimoto T</u>	Coexistence of autoimmune bullous diseases and psoriasis: a series of 145 cases.	J Am Acad Dermatol	73(1): 50-55, 2015
Kato K, Koike K, Kobayashi C, Iijima S, <u>Hashimoto T</u> , Tsuchida M	Bullous pemphigoid after allogeneic hemaopoietic stem cell transplantation.	Pediat Int	57(3): 480-483, 2015
Okahashi K, Oiso N, Ishii N, Uchida S, Matsuda H, <u>Hashimoto T</u> , Kawada A	Bullous pemphigoid associated with psoriasis: a possible example of an inverse intramolecular epitope-spreading phenomenon.	J Dermatol	42(7): 758-759, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Gawaz A, Metzler G, Hertl M, <u>Hashimoto T</u> , Schaller M	Treatment of anti-Laminin- γ 1-Pemphigoid with mycophenolate mofetil.	J Dtsch Dermatol Ges	13(7): 696-697, 2015
Akasaka E, Kayo SJ, Nakano H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Sawamura D	Diaminodiphenyl Sulfone-Induced Hemolytic Anemia and Alopecia in a Case of Linear IgA Bullous Dermatitis.	Case Rep Dermatol	7(2): 183-186, 2015
Yan Y, Furumura M, Gouya T, Iwanaga A, Teye K, Numata S, Karashima T, Li X, <u>Hashimoto T</u>	Shikonin promotes skin cell proliferation and exerts anti-inflammatory effect via proteasome inhibition in vitro.	Chin Med J	128(16): 2228-2233, 2015
<u>Hashimoto T</u> , Ishii N, Demitsu T	Response to the Letter to the Editor by Muro et al. The mechanisms for pathogenicity of autoantibodies to desmogleins.	Acta Derm Venereol	95(7): 872-874, 2015
<u>Hashimoto T</u> , Nishikawa T	Nomenclature for diseases with IgA anti-keratinocyte cell surface autoantibodies.	Br J Dermatol	173(3): 868-869, 2015
Li X, Tsuchisaka A, Qian H, Teye K, Ishii N, Sogame R, Harada K, Nakagomi D, Shimada S, Tateishi C, Hirako Y, <u>Hashimoto T</u>	Linear IgA/IgG bullous dermatosis reacts with multiple laminins and integrins.	Eur J Dermatol	25(5): 418-423, 2015
Shimada H, Shono T, Sakai T, Ishikawa K, Takeo N, Hatano Y, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Inomata M, Tojigamori M, Ichimada M, Kitano S, Fujiwara S	Lichen planus pemphigoides concomitant with rectal adenocarcinoma: fortuitous or a true association?	Eur J Dermatol	25(5): 501-503, 2015
Okada R, Yamaguchi Y, Sawaki H, <u>Hashimoto T</u> , Aihara M	Development of mucous membrane pemphigoid with antibodies to the β 3 subunit of laminin 332 and bronchiolitis obliterans in a patient with chronic graft-versus-host disease.	Eur J Dermatol	25(5): 505-506, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Jakubowska B, Kowalewski C, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Fraczek M, Kalinska-Bienias A, Sobocki J4, Wozniak K	Mucous membrane pemphigoid with severe stricture of the esophagus mediated by IgG and IgA autoantibodies to LAD-1.	Eur J Dermatol	25(5): 510-512, 2015
Yamashita H, Ansai S, Ueno T, Kawana S, Koga H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Bullous pemphigoid with IgG autoantibodies to BP180 C-terminal domain and desmocollin 3 associated with transverse colon cancer.	Eur J Dermatol	25(5): 515-516, 2015
Iijima S, Okazaki Y, Watanabe S, Tsuruta D, Tateishi C, Ishii N, Ohata C, <u>Hashimoto T</u>	A case of concurrence of anti-laminin gamma-1 pemphigoid and scabies.	J Dermatol	42(10): 1024-1026, 2015
Matsuda M, Hamada T, Numata S, Teye k, Ishii N, Ohata C, Furumura M, Nakama T, <u>Hashimoto T</u>	A three-dimensional in vitro culture model of Hailey-Hailey disease.	Exp Dermatol	24(10): 788-789, 2015
Hirano T, Higuchi Y, Yuki H, Hirata S, Nosaka K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Mitsuya H, Okuno Y	Rituximab Monotherapy and Rituximab-Containing Chemotherapy Were Effective for Paraneoplastic Pemphigus Accompanying Follicular Lymphoma, but not for Subsequent Bronchiolitis Obliterans.	J Clin Exp Hematop	55(2): 83-88, 2015
Goto-Hamano H, Ito K, Sakamoto-Kimura K, Terui T, Ohyama B, <u>Hashimoto T</u> , Hara H	Autoantibodies Against Multiple Epitopes in Bp180 and Laminin Gamma-1 in Subepidermal Blistering Skin Disease Associated with Psoriatic Erythroderma.	Indian J Dermatol	60(5): 521, 2015
Lazić-Mosler E, Jukić IL, Murat-Sušić S, Husar K, Skerlev M, Bukvić Mokos Z, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Marinović B	Inflammatory epidermolysis bullosa acquisita in a 4-year-old girl.	J Dermatol	42(11): 1098-1100, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Takahashi H, Sato K, Takagi A, Ikawa S, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Ishida-Yamamoto A, Iizuka H	Subepidermal autoimmune blistering lesion in a case of psoriasis successfully treated with cyclosporin.	J Dermatol	42(11): 1125-1126, 2015
Murata S, Sumikawa Y, Takahashi H, Ota M, Kusatake K, Niihara H, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Morita E	A case of mucous membrane pemphigoid with immunoglobulin G antibodies to the beta 3 subunit of laminin-332 showing clinically Stevens-Johnson syndrome-like generalized blistering mucocutaneous lesions.	J Dermatol	42(11): 1126-1128, 2015
Ivars M, <u>Hashimoto T</u> , Ishii N, Bernad I, Lecumberri R, España A	Atypical bullous pemphigoid with extensive cutaneous and mucosal erosions associated with chronic lymphocytic leukaemia.	J Dermatol	42(11): 1128-1129, 2015
Uchiyama M, Mitsuhashi Y, Tsuboi R, Ishii N, Hayakawa T, Yasukochi A, <u>Hashimoto T</u>	Anti-BP180-type oral mucous membrane pemphigoid reactive to both NC16a and C-terminal domains.	Indian J Dermatol Venereol Leprol	81(6): 637-639, 2015
Ohzono A, Sogame R, Li X, Teye K, Tsuchisaka A, Numata S, Koga H, Kawakami T, Tsuruta D, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Clinical and immunological findings in 104 cases of paraneoplastic pemphigus.	Br J Dermatol	173(6): 1447-1452, 2015
Inoue-Nishimoto T, Hanafusa T, Hirohata A, Mabuchi-Kiyohara E, Mizoguchi N, Matsumoto K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Ikegami R	IgG/IgA Pemphigus representing Pemphigus vegetans caused by low titers of IgG and IgA antibodies to desmoglein 3 and IgA antibodies to desmocollin 3.	J Eur Acad Dermatol Venereol	30(7): DOI: 10.1111/jdv.13158, 2015
<u>Hashimoto T</u> , Fukuda A, Himejima A, Morita S, Daisuke T, Koga H, Krol RP, Ishii N	Ten cases of severe oral lichen planus showing granular C3 deposition in oral mucosal basement membrane zone.	Eur J Dermatol	25(6): 539-547, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Makino T, Hara H, Mizawa M, Seki Y, Hayashi M, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Shimizu T	Detection of IgG antibodies to desmoglein 3 and desmocollins 2 and 3 in mucosal dominant-type pemphigus vulgaris with severe pharyngalgia and hyperemia of the bulbar conjunctiva.	Eur J Dermatol	25(6) : 619-620, 2015
Sakurai Y, Morioke S, Takeda T, Takahagi S, <u>Hide M</u> , Shima M	Increased thrombin generation potential in patients with chronic spontaneous urticaria.	Allergol Int	64: 96-98, 2015
Kamiyo M, Wada A, Mineki R, Sakanishi T, <u>Ikeda S</u>	Prostaglandin E receptor 4 inhibition restores UVB-induced downregulation of ATP2A2/SERCA2 in cultured normal human keratinocytes.	J Dermatol Sci	81(1) : 69-71, 2016
Kamiya K, Aoyama Y, Wakashima C, Kudo T, Nakajima K, Sano S, Ishii N, Teye K, Hashimoto T, <u>Iwatsuki K</u> , Tokura Y	Atypical pemphigus with immunoglobulin G autoantibodies against desmoglein 3 and desmocollin 3.	J Dermatol	43(4) : 429-431, 2016
Oiso N, Okubo Y, <u>Utani A</u> , Kawada A	Pseudoxanthoma elasticum with peculiar acne scar of the neck: Dermoscopic features of tissue bridges as intact skin between crater-like acne scars.	J Dermatol	43(4) : 454-456, 2016
Makino T, Shimizu K, Mizawa M, Nakano H, <u>Sawamura D</u> , Shimizu T	A novel deletion mutation of the ATP2C1 gene in a family with Hailey-Hailey disease.	Eur J Dermatol	26(4) : 414-416, 2016
Rokunohe A, Matsuzaki Y, Rokunohe D, Sakuraba Y, Fukui T, Nakano H, <u>Sawamura D</u>	Immunosuppressive effect of adipose-derived stromal cells on imiquimod-induced psoriasis in mice.	J Dermatol Sci	82(1) : 50-53, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Han C, Tomita H, Ohba T, Nishizaki K, Ogata Y, Matsuzaki Y, <u>Sawamura D</u> , Yanagisawa T, Osanai T, Imaizumi T, Matsubara A, Adachi T, Ono K, Okumura K,	Modified sympathetic nerve regulation in AKAP5-null mice.	Biochem Biophys Res Commun	469(4): 897-902, 2016
Nakagawa K, Minakawa S, <u>Sawamura D</u> , Hara H	Skin surface imaging of psoriasis vulgaris by using an electron paramagnetic resonance spin probe.	J Dermatol Sci	81(1): 71-73, 2016
Mizawa M, Makino T, Nakano H, <u>Sawamura D</u> , Shimizu T	Incomplete erythropoietic protoporphyria caused by a splice site modulator homozygous IVS3-48C polymorphism in the ferrochelatase gene.	Br J Dermatol	174(1): 172-175, 2016
Hayashi R, Natsuga K, Watanabe M, Iwata H, Shinkuma S, Ito A, Masui Y, Ito M, <u>Shimomura Y</u>	Epidermolysis bullosa acquisita develops in dominant dystrophic epidermolysis bullosa.	J Invest Dermatol	136: 320-323, 2016
Abe Y, Okamura K, Kawaguchi M, Hozumi Y, Aoki H, Kunisada T, Ito S, Wakamatsu K, Matsunaga K, <u>Suzuki T</u>	Rhododenol-induced leukoderma in a mouse model mimicking Japanese skin.	J Dermatol Sci	81: 35-43, 2016
Okamura K, Abe Y, Araki Y, Hozumi Y, Kawaguchi M, <u>Suzuki T</u>	Behavior of melanocytes and keratinocytes in reticulate acropigmentation of Kitamura.	Pigment Cell Melanoma Res	29(2): 243-246, 2016
Okamura K, Araki Y, Abe Y, Shigyou A, Fujiyama T, Baba A, Kanekura T, Chinen Y, Kono M, Niizeki H, Tsubota A, Konno T, Hozumi Y, <u>Suzuki T</u>	Genetic analyses of oculocutaneous albinism types 2 and 4 with eight novel mutations.	J Dermatol Sci	81: 140-142, 2016
Fukuda A, Himejima A, Tsuruta D, Koga H, Ohyama B, Morita S, <u>Hashimoto T</u>	Four cases of mucous membrane pemphigoid with clinical features of oral lichen planus.	Int J Dermatol	55(6): 657-665, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Ohata C, Ishii N, Niizeki H, Shimomura Y, Furumura M, Inoko H, Mitsunaga S, Saiki M, Shigeta M, Fujiwara S, Yamakawa K, Kobayashi S, Kamata M, Inaba M, Ito T, Uhara H, Watanabe R, Ohtoshi S, Ohashi T, Tanaka T, Suzuki M, Sitaru C, Karpati S, Zone JJ, <u>Hashimoto T</u>	Unique characteristics in Japanese dermatitis herpetiformis.	Br J Dermatol	174 (1): 180-183, 2016
Geller S, Gat A, Harel A, Mashiah J, Zeeli T, Eming R, Ishii N, Hertl M, <u>Hashimoto T</u> , Sprecher E	Childhood Pemphigus Foliaceus with Exclusive Immunoglobulin G Autoantibodies to Desmocollins.	Pediatr Dermatol	33(1): e10-e13, 2016
Tsuchisaka A, Numata S, Teye K, Natsuaki Y, Kawakami T, Takeda Y, Wang W, Ishikawa K, Goto M, Koga H, Sogame R, Ishii N, Takamori S, Hoshino T, Brandt O, Pas Hendri, Fujiwara S, <u>Hashimoto T</u>	Epiplakin is a paraneoplastic pemphigus autoantigen and related to bronchiolitis obliterans in Japanese patients.	J Invest Dermatol	136(2): 399-408, 2016
Concha-Garzón MJ, Pérez-Gala S, Solano-López G, Fraga J, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Daudén E	Ketoprofen-induced lamina lucida-type linear IgA bullous dermatosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol	30(2): 350-352, 2016
Oh SJ, Lee SE, <u>Hashimoto T</u> , Kim SC	A case of paraneoplastic pemphigus associated with Castleman's disease reacting with multiple autoantigens including laminin $\gamma 1$.	Br J Dermatol	174(4): 930-932, 2016
Otsuka Y, Ueno T, Kaneko A, Ito M, Osada S, Funasaka Y, Teye K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Kawana S	A case of paraneoplastic pemphigus with IgG and IgA antibodies to various antigens.	J Dermatol	43(8): 944-946, 2016
Witte M, Koga H, <u>Hashimoto T</u> , Ludwig RJ, Bieber K	Discovering potential drug-targets for personalized treatment of autoimmune disorders - what we learn from Epidermolysis bullosa acquisita.	Expert Opin Ther Tar	20(8): 985-998, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
<u>Hashimoto T</u>	Collaboration between dermatologists and dentists in autoimmune bullous diseases and IgA antibodies in pemphigus.	Br J Dermatol	175(1): 15-16, 2016
Li X, Qian H, Sogame R, Hirako Y, Tsuruta D, Ishii N, Koga H, Tsuchisaka A, Jin Z, Tsubota K, Fukumoto A, Sotozono C, Kinoshita S, <u>Hashimoto T</u>	Integrin $\beta 4$ is a major target antigen in pure ocular mucous membrane pemphigoid.	Eur J Dermatol	26(3): 247-253, 2016
Ikawa T, Tada Y, Ohnishi T, Miyagaki T, Watanabe R, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Watanabe S	Bullous pemphigoid with IgG anti-LAD-1 antibodies without evident erythema and eosinophil infiltration.	Acta Derm Venereol	96: 832-833, 2016
Hayakawa T, Teye K, Hachiya T, Uehara R, Hashiguchi M, Kawakami T, Li X, Tsuchisaka A, Ohara K, Sogame R, Koga H, Hamada T, Ohata C, Furumura M, Ishii N, Fukano H, Shimozato K, <u>Hashimoto T</u>	Clinical and immunological profiles of anti-BP230-type bullous pemphigoid: Restriction of epitopes to C-terminal domain of BP230 shown by novel ELISAs of BP230-domain specific recombinant proteins.	Eur J Dermatol	26(2): 155-163, 2016
Kalinska-Bienias A, Kalowska M, Kwiek B, Jakubowska B, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Kowalewski C, Wozniak K	Efficacy and safety of perilesional/intralesional triamcinolone injections of oral mucous membrane pemphigoid.	Br J Dermatol	174(2): 436-438, 2016
Tomida E, Kato Y, Ozawa H, Hasegawa H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Akiyama M	Causative drug detection by drug-induced lymphocyte stimulation test in drug-induced linear IgA bullous dermatosis.	Br J Dermatol	175(5): 1106-1108, 2016
Fukuda A, Himejima A, Tsuruta D, Koga H, Ohyama B, Morita S, <u>Hashimoto T</u>	Four cases of mucous membrane pemphigoid with clinical features of oral lichen planus.	Int J Dermatol	55(6): 657-65, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Sato-Shibuya M, Dainichi T, Egawa G, Honda T, Otsuka A, <u>Hashimoto T</u> , Miyachi Y, Kabashima K	Case with Brunsting-Perry-like localized subepidermal blister formations and IgG antibodies against unidentified basement membrane zone antigen.	J Dermatol	43(4): 426-428, 2016
Oyama N, Matsuda M, Hamada T, Numata S, Teye K, <u>Hashimoto T</u> , Hasegawa M	Two novel missense mutations of STS gene underlie X-linked recessive ichthyosis: understanding of the mutational 1 and structural spectrum.	J Eur Acad Dermatol Venereol	30(9): 1629-1631, 2016
Ise Y, Suga Y, Okumura K, Negi O, Ishii, N, <u>Hashimoto T</u>	A case report of erythematous variety of bullous pemphigoid and literature surveillance.	Acta Derm Venereol	96: 412-413, 2016
Namba C, Tohyama M, Hanakawa Y, Murakami M, Shirakata Y, Matsumoto T, Suemori K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Sayama K	Paraneoplastic pemphigus associated with fatal bronchiolitis obliterans and intractable mucosal erosions: Treatment with cyclosporine in addition to steroid, rituximab and IVIG.	J Dermatol	43(4): 419-422, 2016
Maki N, Demitsu T, Umemoto N, Nagashima K, Nakamura T, Kakura M, Nakamura S, Yamada T, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	A possible paraneoplastic syndrome case of bullous pemphigoid with IgG anti-BP180 C-terminal domain antibodies associated with psoriasis and primary macroglobulinemia.	J Dermatol	43(5): 571-574, 2016
Arakawa M, Ohata C, Tsuruta D, Ishii N, Sogame R, Nakama T, Yasumoto S, Yokoyama Y, Takeishi E, <u>Hashimoto T</u>	A severe and prolonged case of pemphigoid gestationis successfully treated with combination therapies.	Br J Dermatol	174(4): 925-927, 2016
Izaki S, Ito K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Fujita H, Terui T	Infantile linear IgA/IgG bullous dermatosis.	Eur J Dermatol	26(1): 96-98, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Irie H, Dainichi T, Fujita M, Endo Y, Fujisawa A, Tanioka M, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Kabashima K, Miyachi Y	Anti-BP180 mucous membrane pemphigoid associated with acquired hemophilia A in a patient who suffered from life-threatening mucosal bleeding.	J Eur Acad Dermatol Venereol	30(12): e199-e201, 2016
Imanishi A, Imanishi H, Hiroyasu S, Ozawa T, Koga H, Ishii N, Kitajima Y, <u>Hashimoto T</u> , Tsuruta D	Anti-BP180-type mucous membrane pemphigoid immunoglobulin G shows heterogeneity of internalization of BP180/collagen XVII into keratinocyte cytoplasm.	Med Mol Morphol	49(2): 89-97, 2016
Yamate T, Shono T, Shimada H, Ishikawa K, Hatano Y, Kohno K, Yamamoto T, Fujimoto W, Yamaguchi M, Aoyama Y, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Fujiwara S	Blistering disease associated with diffuse large B cell lymphoma but without autoantibodies.	J Dermatol	43(3): 341-343, 2016
<u>Hashimoto T</u> , Ohzono A, Ishii N	'Reply to: Clinical and immunological findings in 104 cases of paraneoplastic pemphigus': reply from the authors.	Br J Dermatol	174(2): 461-462, 2016
<u>Hashimoto T</u> , Hirako Y, Tsuruta D	$\beta 4$ integrin in hereditary and acquired mucocutaneous diseases.	Exp Dermatol	25(4): 267-268, 2016

平成28年度 研究業績

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Kumagai Y, Umegaki-Arao N, Sasaki T, Nakamura Y, Takahashi H, Ashida A, Tsunemi Y, Kawashima M, Shimizu A, Ishiko A, Nakamura K, Tsuchihashi H, <u>Amagai M</u> , Kubo	Distinct phenotype of epidermolysis bullosa simplex with infantile migratory circinate erythema due to frameshift mutations in the V2 domain of KRT5.	J Eur Acad Dermatol Venereol	31: e224-e272, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Yokouchi M, Atsugi T, Logtestijn MV, Tanaka RJ, Kajimura M, Suematsu M, Furuse M, Amagai M, Kubo A	Epidermal cell turnover across tight junctions based on Kelvin's tetrakaidecahedron cell shape.	Elife	5: e19593, (doi:10.7554/eLife.19593), 2016
Kamiya K, <u>Aoyama Y</u> , Suzuki T, Niwa H, Horio A, Nishio E, Tokura Y	Possible enhancement of BP180 autoantibody production by herpes zoster.	J Dermatol	43(2): 197-199, 2016
Kono M, Matsumoto F, Suzuki Y, Suganuma M, Saito H, Ito Y, Fujiwara S, Moriwaki S, Matsumoto K, Matsumoto N, Tomita Y, Sugiura K, <u>Akiyama M</u>	Dyschromatosis symmetrica hereditaria and Aicardi-Goutières syndrome 6 are phenotypic variants caused by ADAR1 mutations.	J Invest Dermatol	136: 875-878, 2016
Suzuki S, Nomura T, Miyauchi T, Takeda M, Nakamura H, Shinkuma S, Fujita Y, <u>Akiyama M</u> , Shimizu H	Revertant mosaicism in ichthyosis with confetti caused by a novel frameshift mutation in KRT1.	J Invest Dermatol	136: 2093-2095, 2016
Takeichi T, Liu L, Abdul-Wahab A, McMillan JR, Stone KL, <u>Akiyama M</u> , Simpson MA, Parsons M, Mellerio JE, McGrath JA	Large intragenic KRT1 deletion underlying atypical autosomal dominant keratinopathic ichthyosis.	J Invest Dermatol	136: 2095-2098, 2016
Zhong FL, Mamař O, Sborgi L, Boussofara L, Hopkins R, Robinson K, Szeverényi I, Takeichi T, Balaji R, Lau A, Tye H, Roy K, Bonnard C, Ahl PJ, Jones LA, Baker P, Lacina L, Otsuka A, Fournie PR, Malecaze F, Lane EB, <u>Akiyama M</u> , Kabashima K, Connolly JE, Masters SL, Soler VJ, Omar SS, McGrath JA, Nedelcu R, Gribaa M, Denguezli M, Saad A, Hiller S, Reversade B	Germline NLRP1 mutations cause skin inflammatory and cancer susceptibility syndromes via inflammasome activation.	Cell	167: 187-202. e17, 2016
Oiso N, Okubo Y, <u>Utani A</u> , Kawada A	Pseudoxanthoma elasticum with peculiar acne scar of the neck: Dermoscopic features of tissue bridges as intact skin between crater-like acne scars.	J Dermatol	43: 454-456, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Takahashi T, Mizutani Y, Ito M, Nakano H, <u>Sawamura D</u> , Seishima M	Dystrophic epidermolysis bullosa pruriginosa successfully treated with immunosuppressants.	J Dermatol	43: 1391-1392, 2016
Akasaka E, Hagiwara C, Takiyoshi N, Aizu T, Nakano H, <u>Sawamura D</u> , Ota T	Elevated levels of circulating immunoglobulin E autoantibodies against BP180 and BP230 in an intractable case of bullous pemphigoid.	J Dermatol Sci	84: 110-113, 2016
Makino T, Shimizu K, Mizawa M, Nakano H, <u>Sawamura D</u> , Shimizu T	A novel deletion mutation of the ATP2C1 gene in a family with Hailey-Hailey disease.	Eur J Dermatol	26: 414-416, 2016
Izumi K, Nishie W, Mai Y, Wada M, Natsuga K, Ujiie H, Iwata H, Yamagami J, <u>Shimizu H</u>	Autoantibody profile differentiates between inflammatory and noninflammatory bullous pemphigoid.	J Invest Dermatol	136: 2201-2210, 2016
Wada M, Nishie W, Ujiie H, Izumi K, Iwata H, Natsuga K, Nakamura H, Kitagawa Y, <u>Shimizu H</u>	Epitope-dependent pathogenicity of Abs targeting a major bullous pemphigoid autoAg collagen XVII/BP180.	J Invest Dermatol	136: 938-946, 2016
Araki Y, Abe Y, Takeda Y, Nakano H, Sawamura D, Yamashita H, <u>Suzuki T</u>	Incontinentia pigmenti with retinal vascular anomaly and deletion of exons 4-10 in NEMO.	J Dermatol	2016 Sep 26. doi: 10.1111/1346-8138.13609.
Hayashi M, Okamura K, Araki Y, Suzuki M, Tanaka T, Abe Y, Nakano S, Yoshizawa J, Hozumi Y, Inoie M, <u>Suzuki T</u>	A novel three dimensional imaging method for the measurement of area in vitiligo and chemical leukoderma.	J Dermatol Sci	84: 219-221, 2016
Araki Y, Okamura K, Munkhbat B, Tamiya G, Erdene-Ochir B, Nemekhbaatar L, Hozumi Y, <u>Suzuki T</u>	Whole-exome sequencing confirmation of multiple MC1R variants associated with extensive freckles and red hair: Analysis of a Mongolian family.	J Dermatol Sci	84: 216-219, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Iwata Y, Kobayashi T, Arima M, Numata S, Yagami A, Okamura K, Araki Y, Sugiura K, <u>Suzuki T</u> , Matsunaga K	Case of Japanese Hermansky-Pudlak syndrome patient with deeply invasive squamous cell carcinoma and multiple lesions of actinic keratosis on the face and neck.	J Dermatol	2016 May 14. doi: 10.1111/1346-8138.13462.
Torii H, <u>Terui T</u> , Matsukawa M, Takesaki K, Ohtsuki M, Nakagawa H; Japanese Dermatological Association (JDA) PMS committee	Safety profiles and efficacy of infliximab therapy in Japanese patients with plaque psoriasis with or without psoriatic arthritis, pustular psoriasis or psoriatic erythroderma: Results from the prospective post-marketing surveillance.	J Dermatol	43: 767-778, 2016
Namba C, Tohyama M, Hanakawa Y, Murakami M, Shirakata Y, Matsumoto T, Suemori K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Sayama K	Paraneoplastic pemphigus associated with fatal bronchiolitis obliterans and intractable mucosal erosions: Treatment with cyclosporine in addition to steroid, rituximab and IVIG.	J Dermatol	43(4): 419-422, 2016
Kamiya, K, Aoyama Y, Wakashima C, Kudo T, Nakajima K, Sano S, Ishii N, Teye K, <u>Hashimoto T</u> , Iwatsuki K, Tokura Y	Atypical pemphigus with immunoglobulin autoantibodies against desmoglein 3 and desmocollin 3.	J Dermatol	43(4): 429-431, 2016
Nishikawa R, Takahashi H, Matsuda M, Imaoka K, Ogawa M, Teye K, Tsuchisaka A, Koga H, Komorowski L, Probst C, Hachiya T, Fritzler M, Ishii N, Ohata C, Furumura M, Krol P. R, Muro Y, Morita E, <u>Hashimoto T</u>	Anti-early endosome antigen 1 autoantibodies were detected in a pemphigus-like patient but not in the majority of pemphigus diseases.	Exp Dermatol	25(5): 368-574, 2016
Teye K, Suga Y, Numata S, Soejima M, Ishii N, Krol RP, Ohata C, Matsuda M, Honma M, Ishida-Yamamoto A, Hamada T, Koda Y, <u>Hashimoto T</u>	A founder deletion of corneodesmosin gene is prevalent in Japanese patients with peeling skin disease: identification of 2 new cases.	J Dermatol Sci	82(2): 134-137, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Fukuda A, Himejima A, Tsuruta D, Koga H, Ohyama B, Morita S, <u>Hashimoto T</u>	Four cases of mucous membrane pemphigoid with clinical features of oral lichen planus.	Int J Dermatol	55(6) : 657-665, 2016
Dainichi T, Hayden MS, Park SG, Oh H, Seeley JJ, Grinberg-Bleyer Y, Beck KM, Miyachi Y, Kabashima K, <u>Hashimoto T</u> , Ghosh S	PDK1 Is a Regulator of Epidermal Differentiation that Activates and Organizes Asymmetric Cell Division.	Cell Rep	15(8) : 1615-1623, 2016
Geller S, Gat A, Zeeli T, Schmidt E, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Zillikens D, Sprecher E	A refractory, cutaneous, subepidermal bullous disease.	Clin Exp Dermatol	41(5) : 573-575, 2016
Teye K, Numata S, Ohzono A, Ohyama B, Tsuchisaka A, Koga H, Hachiya T, Tsuruta D, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Establishment of IgA ELISAs of mammalian recombinant proteins of human desmogleins 1-3.	J Dermatol Sci	83(1) : 75-77, 2016
Inoue-Nishimoto T, Hanafusa T, Hirohata A, Mabuchi-Kiyohara E, Mizoguchi N, Matsumoto K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Ikegami R	IgG/IgA Pemphigus representing Pemphigus vegetans caused by low titers of IgG and IgA antibodies to desmoglein 3 and IgA antibodies to desmoglein 3.	J Eur Acad Dermatol Venereol	30(7) : 1229-1231, 2016
Winge MC, Ohyama B, Dey CN, Boxer LM, Li W, Ehsani-Chimeh N, Truong AK, Wu D, Armstrong AW, Makino T, Davidson M, Starcevic D, Kislak A, Nguyen NT, <u>Hashimoto T</u> , Homey B, Khavari PA, Bradley M, Waterman EA, Marinkovich MP	RAC1 activation drives pathologic interactions between the epidermis and immune cells.	J Clin Invest	126(7) : 2661-2677, 2016
Numata S, Teye K, Krol RP., Okamoto Y, Hashikawa K, Matsuda M, Fortugno P, Di Zenzo G, Castiglia D, Zambruno G, Hamada T, <u>Hashimoto T</u>	A compound synonymous mutation c.474G>A with p.Arg578X mutation in SPINK5 causes splicing disorder and mild phenotype in Netherton syndrome.	Exp Dermatol	25(7) : 568-570, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
<u>Hashimoto T</u> , Jin Z, Ishii N	Clinical and immunological studies for 105 Japanese seropositive patients of epidermolysis bullosa acquisita examined at Kurume University.	Expert Rev Clin Immunol	12(8) : 895-902, 2016
Otsuka Y, Ueno T, Kaneko A, Ito M, Osada S, Funasaka Y, Teye K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Kawana S	Case of paraneoplastic pemphigus with immunoglobulin (Ig)G and IgA antibodies to various antigens.	J Dermatol	43(8) : 944-946, 2016
Numata S, Teye K, Karashima T, Matsuda M, Hamada T, <u>Hashimoto T</u>	Functional study of TGM1 missense mutations in autosomal recessive congenital ichthyosis.	Exp Dermatol	25(8) : 657-659, 2016
Teye K, Numata S, Ishii N, Krol RP, Tsuchisaka A, Hamada T, Koga H, Karashima T, Ohata C, Tsuruta D, Saya H, Haftek M, <u>Hashimoto T</u>	Isolation of all CD44 Transcripts in Human Epidermis and Regulation of their Expression by various Agents.	Plos One	11(8) : e0160952, 2016
Yasukochi A, Teye K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Clinical and Immunological Study of 332 Japanese Patients Tentatively Diagnosed as Anti-BP180-type Mucous Membrane Pemphigoid: A Novel BP180 C-terminal Domain Enzyme-linked Immunosorbent Assay.	Acta Derm Venereol	96(6) : 762-767, 2016
Oyama N, Matsuda M, Hamada T, Numata S, Teye K, <u>Hashimoto T</u> , Hasegawa M	Two novel missense mutations of STS gene underlie X-linked recessive ichthyosis: understanding of the mutational and structural spectrum.	J Eur Acad Dermatol Venereol	30(9) : 1629-1631, 2016
Florea F, Koch M, <u>Hashimoto T</u> , Sitaru C	Autoimmunity against laminins.	Clin Immunol	170: 39-52, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Kanwar AJ, Vinay K, Sawatkar GU, Dogra S, Minz RW, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Clinical and immunological study of mucous membrane pemphigoid in a cohort of Indian patients.	Int J Dermatol	55(10): e557-e561, 2016
Yamase A, Kono K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Saeki H	An autoimmune bullous dermatosis with clinical, histopathological, and immunological features of bullous pemphigoid and epidermolysis bullosa acquisita in an adult.	Br J Dermatol	175(4): 790-793, 2016
Inoue T, Yagami A, Iwata Y, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Matsunaga K	Mucous membrane pemphigoid reactive only with BP230.	J Dermatol	43(10): 1228-1229, 2016
<u>Hashimoto T</u> , Tsuruta D, Koga H, Fukuda S, Ohyama B, Komai A, Karashima T, Ohata C, Teye K, Ishii N	Summary of results of serological tests and diagnoses for 4774 cases of various autoimmune bullous diseases consulted to Kurume University.	Br J Dermatol	175(5): 953-965, 2016
Adachi A, Komine M, Suzuki M, Murata S, Hirano T, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Ohtsuka M	Oral Colchicine Monotherapy for Epidermolysis Bullosa Acquisita: Mechanism of Action and Efficacy.	J Dermatol	43(11): 1389-1391, 2016
Koga H, Recke A, Vidarsson G, Pas HH, Jonkman MF, <u>Hashimoto T</u> , Kasprick A, Ghorbanalipoor S, Tenor H, Zillikens D, Ludwig RJ	PDE4 inhibition as potential treatment of epidermolysis bullosa acquisita.	J Invest Dermatol	136(11): 2211-2220, 2016
Męcińska-Jundziłł K, <u>Hashimoto T</u> , Kowalewski C, Woźniak K, Ishii N, Czajkowski R	Discrepancies among clinical, histological and immunological findings in IgA pemphigus: a case report and literature survey.	Postepy Dermatol Alergol	33(6): 480-484, 2016
Harada N, Hiragun T, Mizuno M, Kawaguchi T, Ishii K, Yanase Y, Hiragun T, Sugita Y, <u>Hide M</u>	A case of erythritol allergy studied by basophil histamine release and CD203c expression in vitro in addition to a challenge test in vivo.	J Invest Allergol Clin Immunol	26: 135-136, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
<u>Muto M</u>	Immunogenetic approach to psoriasis.	Bull Yamaguchi Medical School	63: 35-40, 2016
Yoshida K, Ishii K, Shimizu A, Yokouchi M, <u>Amagai M</u> , Shiraishi K, Shirakata Y, Stanley JR, Ishiko A	Non-pathogenic pemphigus foliaceus (PF) IgG acts synergistically with a directly pathogenic PF IgG to increase blistering by p38MAPK-dependent desmoglein 1 clustering.	J Dermatol Sci	85(3): 197-207, 2017
Okamura A, Nakamura R, <u>Yamagami J</u> , Ishii K, Kawakubo H, Omori T, Takeuchi H, <u>Amagai M</u> , Kitagawa Y	Evaluation of pharyngo-oesophageal involvement in pemphigus vulgaris and its correlation with disease activity.	Br J Dermatol	176: 224-226, 2017
Fujio Y, Kojima K, Hashiguchi M, Wakui M, Murata M, <u>Amagai M</u> , <u>Yamagami J</u>	Validation of chemiluminescent enzyme immunoassay in detection of autoantibodies in pemphigus and pemphigoid.	J Dermatol Sci	85: 208-215, 2017
Lee JYW, Hsu C-K, Michael M, Nanda A, Liu L, McMillan JR, Pourreyron C, Takeichi T, Tolar J, Reid E, Hayday T, Blumen SC, Abu-Mouch S, Straussberg R, Basel-Vanagaite L, Barhum Y, Zouabi Y, Al-Ajmi H, Huang H-Y, Lin T-C, <u>Akiyama M</u> , Lee JYY, McLean WHI, Simpson MA, Parsons M, McGrath	Large intragenic deletion in DSTYK underlies autosomal recessive complicated spastic paraparesis (SPG23).	Am J Hum Genet	100: 364-70, 2017
Irabayashi T, Anjo T, Kaneko A, Senoo Y, Shibata A, Takama H, Yokoyama K, Nishito Y, Ono T, Taya C, Muramatsu K, Fukami K, Muñoz-Garcia A, Brash A, Ikeda K, Arita M, <u>Akiyama M</u> , Murakami M	PNPLA1 has a crucial role in skin barrier function by directing acylceramide biosynthesis.	Nat Commun	8: 14609, 2017

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Morizane S, Mizuno K, Takiguchi T, Sugimoto S, <u>Iwatsuki K</u>	The involvement of serum amyloid A in psoriatic inflammation.	J Invest Dermatol	137(3): 757-760, 2017
Okamura K, Hayashi M, Abe Y, Araki Y, Hozumi Y, <u>Suzuki T</u>	Microsatellite polymorphism located immediately upstream of the phosphatidylinositol glycan, class K gene (PIGK) affects its expression, which correlates with tyrosinase activity in human melanocytes.	J Dermatol Sci	2017 Feb;85(2):131-134. doi: 10.1016/j.jdermsci.2016.10.012.
Ozaki S, Funasaka Y, Otsuka Y, Oyama S, Ito M, Osada SI, Ueno T, Okamura K, Hozumi Y, <u>Suzuki T</u> , Kawana S, Saeki H	Melanotic Malignant Melanoma in Oculocutaneous Albinism Type 4.	Acta Derm Venereol	97: 287-288, 2017
García-Díez I, Martínez-Escala ME, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Mascaró Galy JM, Pujol RM, Herrero-González JE	Usefulness of a Simple Immunohistochemical Staining Technique to Differentiate Anti-p200 Pemphigoid From Other Autoimmune Blistering Diseases: A Report of 2	Actas Dermosifiliogr	108(1): e1-e5, 2017
Kieny A, <u>Hashimoto T</u> , Ishii N, Antal MC, Boehm N, Lipsker D	Granular pemphigus-like IgM deposition around keratinocytes in a patient with Waldenström's macroglobulinaemia: a so far unreported finding.	J Eur Acad Dermatol Venereol	31(1): e47-e49, 2017
Wijayanti A, Zhao CY, Boettiger D, Chiang YZ, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Murrell DF	The Reliability, Validity and Responsiveness of Two Disease Scores (BPDAI and ABSIS) for Bullous Pemphigoid: Which One to Use?	Acta Derm Venereol	96(7): 24-31, 2017

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Amagai M, Ikeda S, <u>Hashimoto T</u> , Mizuashi M, Fujisawa A, Ihn H, Matsuzaki Y, Ohtsuka M, Fujiwara H, Furuta J, Tago O, Yamagami J, Tanikawa A, Uhara H, Morita A, Nakanishi G, Tani M, Aoyama Y, Makino E, Muto M, Manabe M, Konno T, Murata S, Izaki S, Watanabe H, Yamaguchi Y, Matsukura S, Seishima M, Habe K, Yoshida Y, Kaneko S, Shindo H, Nakajima K, Kanekura T, Takahashi K, Kitajima Y, <u>Hashimoto K</u> : Bullous	A randomized double-blind trial of intravenous immunoglobulin for bullous pemphigoid.	J Dermatol Sci	85(2): 77-84, 2017
<u>Hashimoto T</u> , Tsuruta D, Ishii N	IgE autoantibodies in bullous pemphigoid detected by IgE ELISAs and perspectives.	JAMA Dermatol	153(1): 15-17, 2017
<u>Hashimoto T</u> , Teye K, Ishii N	Clinical and immunological studies of 49 cases of various types of intercellular IgA dermatosis and 13 cases of classical subcorneal pustular dermatosis examined at Kurume University.	Br J Dermatol	176(1): 168-175, 2017
Sawamura S, Kajihara I, Makino K, Makino T, Fukushima S, Jinnin M, Oyama B, <u>Hashimoto T</u> , Ihn H	Systemic lupus erythematosus associated with myasthenia gravis, pemphigus foliaceus and chronic thyroiditis after thymectomy.	Australas J Dermatol	2016 Jun 7. doi: 10.1111/ajd.12510. [Epub ahead of print]
<u>Hashimoto T</u> , Ohzono A, Teye K, Numata S, Hiroyasu S, Tsuruta D, Hachiya T, Kuroda K, Hashiguchi M, Kawakami T, Ishii N	Detection of IgE autoantibodies to BP180 and BP230 and their relationship to clinical features in bullous pemphigoid.	Br J Dermatol	2016 Oct 7. doi: 10.1111/bjd.15114. [Epub ahead of print]
Kawahira H, Higashi Y, Matsuoka A, Fujii K, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Kanekura T	Pyodermatitis vegetans with antibodies to bullous pemphigoid antigen 180.	J Dermatol	2016 Dec 3. doi: 10.1111/1346-8138.13703. [Epub ahead of print]

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Orime M, Tomiyama K, Hashidate H, Yoshida S, Hokari S, Tsuda A, Yokoyama H, Narita JI, Uchida Y, Kanekura T, Abe R, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Kawai K	Non-paraneoplastic autoimmune subepidermal bullous disease associated with fatal bronchiolitis obliterans.	J Dermatol	2016 Dec 3. doi: 10.1111/1346-8138.13706. [Epub ahead of print]
Nomura H, Mukai M, Niimi Y, Egami S, Yokoyama T, Sugiura M, Inazumi T, Ishii N, <u>Hashimoto T</u>	Coexistence of acquired perforating dermatosis and bullous pemphigoid: three cases.	Eur J Dermatol	2016 Dec 22. doi: 10.1684/ejd.2016.2944. [Epub ahead of print]
Akasaka E, Nakano H, Takagi Y, Toyomaki Y, <u>Sawamura D</u>	Multiple milia as an isolated skin manifestation of dominant dystrophic epidermolysis bullosa: evidence of phenotypic variability.	Pediatr Dermatol	in press 2016
<u>Hashimoto T</u>	Induced autoimmune bullous diseases.	Br J Dermatol	in press 2016
<u>Hashimoto T</u> , Teye K, Numata S, Suga Y, Hamada T, Ishii N	Detection of SERPINB7 mutation can distinguish Nagashima-type palmoplantar keratoderma from other keratodermas with palmoplantar lesions.	Clin Exp Dermatol	in press 2016
Yasuda H, Kanazawa N, Matsuda M, Hamada T, Furumura M, <u>Hashimoto T</u> , Nakama T, Furukawa F	A case of Hailey-Hailey disease with a novel nonsense mutation in the ATP2C1 gene.	Ann Dermatol	in press 2016
Koga H, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Nakama T	A case of shift from linear IgA bullous dermatosis (LABD) to pemphigus herpetiformis (PH) for a short period of time.	J Dermatol	in press 2016
Bunimovich YL, Teye K, Ishii N, Ho J, <u>Hashimoto T</u> , Patton TJ	IgG/IgA Pemphigus with Autoantibodies to Desmoglein 1 and Desmocollin 3, and Associated Lung Cancer.	J Clin Cosmet Dermatol	in press 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Matsuo Y, Tanaka A, Shimomura Y, <u>Hide M</u>	Identified in a Japanese patient with autosomal recessive woolly hair.	J Dermatol	in press 2016
Teye K, Numata S, Krol RP, Ishii N, Matsuda M, Lee JB, Hamada T, <u>Hashimoto T</u>	Prevalence of filaggrin gene mutations in patients with atopic dermatitis and ichthyosis vulgaris in Kyushu area of Japan and South Korea.	J Dermatol Sci	2017 Jan 22. pii: S0923-1811(16)30846-5. doi: 10.1016/j.jdermsci.2017.01.009. [Epub ahead of print]
<u>Hashimoto T</u> , Mizoguchi A	IL10-producing B-cells in autoimmune bullous diseases.	Br J Dermatol	in press 2017
Aizawa N, Asahina A, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Nakagawa H	The nose as a predilection site of pemphigus.	Clin Exp Dermatol	in press 2017
Ohashi M, Takagi H, Mizutani Y, Seishima M, Koga H, <u>Hashimoto T</u>	A case of pemphigoid with IgG autoantibodies to the $\alpha 3$ subunit of laminin 332 associated with psoriasis vulgaris.	Eur J Dermatol	in press 2017
Tani S, Ishii N, <u>Hashimoto T</u> , Tsujioka K	Bullous pemphigoid arising in a patient with acquired perforating dermatosis.	Clin Exp Dermatol	in press 2017
Okahashi K, Oiso N, Ishii N, Sato M, Uchida S, Matsuda H, Kitano M, Hida J, Kawai S, Sano A, <u>Hashimoto T</u> , Kawada A	Paraneoplastic pemphigus associated with Castleman disease: Progression from mucous to mucocutaneous lesions with epitope-spreading phenomena.	Br J Dermatol	in press 2017

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
Miyake M, Oiso N, Ishii K, <u>Hide M</u> , Kawada A	Angioedema associated with excessive sweating and sweat allergy.	J Dermatol	in press 2017
Iwanaga A, Okubo Y, Yozaki M, Koike Y, Kuwatsuka Y, Tomimura S, Yamamoto Y, Tamura H, Ikeda S, Maemura K, Tsuiki E, Kitaoka T, Endo Y, Mishima H, Yoshiura K. I, Ogi T, Tanizaki H, Wataya-Kaneda M, Hattori T, <u>Utani A</u>	Analysis of clinical symptoms and ABCC6 mutations in 76 Japanese patients with pseudoxanthoma elasticum.	J Dermatol	online, 2017
Saito R, Boyce A, Hsu CK, Rashidghamat E, <u>Hide M</u> , Wedgeworth EK, Flohr C, Mellerio JE, McGrath JA	Predictive phenotyping of inherited ichthyosis by next generation DNA sequencing.	Br J Dermatol	in press

雑誌（和文）

平成26年度 研究業績

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
面高俊和、宇原 久、内山龍平、佐野 佑、久保仁美、石井文人、橋本 隆、奥山隆平	広範囲に粘膜病変を認めた抗BP180型粘膜類天疱瘡の1例	西日本皮膚科	6(4)： 345-348, 2014
照井 正	健康保険組合レセプト情報を利用した乾癬の実態調査	臨床医薬	30： 279-285, 2014
宇谷厚志	弾性線維性仮性黄色腫の現況と展望	日本臨牀	72： 2073-2077, 2014
宇谷厚志	【新・皮膚科セミナーウム】真皮細胞外マトリックス病変から全身疾患を診断	日本皮膚科学会雑誌	124： 909-915, 2014
三長孝輔、山下幸孝、 <u>宇谷厚志</u> 、谷口洋平、幡丸景一、中谷泰樹、赤松拓司、瀬田剛史、浦井俊二、上野山義人	胃粘膜生検後に出血性ショックを来した弾性線維性仮性黄色腫の1例	日本消化器内視鏡学会雑誌	56： 1756-1762, 2014
宗次太吉、藤本智子、芝間さやか、西澤 綾、井川 健、 <u>横関博雄</u>	高IgE症候群の患者に生じた寒冷誘発性発汗過多症	皮膚病診療	36： 741-744, 2014
宗次太吉、藤本智子、高山かおる、井川 健、 <u>横関博雄</u>	当科で経験した特発性後天性全身性無汗症の臨床的検討	皮膚病診療	36： 777-782, 2014

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
土橋人士、長谷川敏男、秋山俊洋、込山悦子、 <u>池田志孝</u>	右前腕の限局した再発性環状紅い斑様乾癬の1例	臨床皮膚科	68(12)：943-2946, 2014
扇谷咲子、土橋人士、平澤祐輔、大熊慶湖、 <u>池田志孝</u>	妊娠に際してinfliximabを中止しGMA/GCAPを、出産後はinfliximab再投与を行った妊婦膿疱性乾癬の1例	日本皮膚科学会雑誌	124(6)：1127-1133, 2014
平成27年度 研究業績			
著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
高橋勇人、 <u>天谷雅行</u>	デスモグレイン3特異的T細胞によって誘導される多彩な皮膚病理	実験医学	33 (12 (増刊))：1948-1953, 2015
田中 諒、福田桂太郎、平井郁子、船越 建、高江雄二郎、 <u>天谷雅行</u> 、田中 勝	二次性細菌感染により壊疽性膿瘡様皮疹を呈した水疱性類天疱瘡の1例	臨床皮膚科	69 (8)：554-559, 2015
中原とも子、高木 敦、住吉孝二、山上 淳、神谷浩二、青山裕美、岩月啓氏、 <u>池田志孝</u>	抗デスモグレイン3抗体価が高値・蛍光抗体間接法が陰性を示す尋常性天疱瘡寛解例2例の血清解析	日本皮膚科学会誌	125(8)：1593-1599, 2015
日本皮膚科学会膿疱性乾癬（汎発型）診療ガイドライン作成委員会照井正、秋山真志、 <u>池田志孝</u> 、小澤 明、金蔵拓郎、黒澤美智子、小宮根真弓、佐野栄紀、根本治、武藤正彦、山西清文、岩月啓氏	膿疱性乾癬（汎発型）診療ガイドライン2014年度版	日本皮膚科学会誌	(12)：2211-2257, 2015
坂本 淳、植木理恵、 <u>池田志孝</u>	限局性Darier病の1例	皮膚科の臨床	(57)：1536-1539, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
大熊慶湖、 <u>池田志孝</u>	難治性皮膚疾患とアフェレシス	腎臓内科・泌尿器科	1(6)：607-615, 2015
杉本佐江子、青山裕美、 <u>岩月啓氏</u>	地固め期と治療維持期の天疱瘡に対する免疫抑制剤によるアドオン効果の検討	日本皮膚科学会雑誌	125：1911-1917, 2015
中原とも子、高木 敦、住吉孝二、山上 淳、神谷浩二、青山裕美、 <u>岩月啓氏</u> 、池田志孝	抗デスマグレイン3抗体価が高値・蛍光抗体間接法が陰性を示す尋常性天疱瘡寛解例2例の血清解析	日本皮膚科学会雑誌	125：1593-1599, 2015
照井正、秋山真志、池田志孝、小澤明、金蔵拓郎、 <u>黒澤美智子</u> 、小宮根真弓、佐野栄紀、根本 治、武藤正彦、山西清文、岩月啓氏	膿疱性乾癬（汎発型）診療ガイドライン2014年度版	日本皮膚科学会雑誌	125：2211-2257, 2015
<u>橋本 隆</u>	自己免疫性水疱症の最新の知見	日本臨床皮膚科医学会雑誌	32(2)：170-174, 2015
<u>橋本 隆</u> 、米田耕造	角化症と水疱症 その基礎と臨床 自己免疫性水疱症の自己抗原解析と新しい分類法	西日本皮膚科	121(3)：281, 2015
沼田早苗、Teye Kwesi、Krol Rafal、濱田尚宏、松田光弘、須賀 康、 <u>橋本 隆</u>	Peeling skin disease におけるCDSN遺伝子を含めた6遺伝子のホモ接合性欠失の同定	日本遺伝カウンセリング学会誌	36(2)：77, 2015
石井文人、大園綾花、大山文悟、大畑千佳、 <u>橋本 隆</u>	CLEIA法を用いた抗デスマグレイン抗体測定の臨床的検討	西日本皮膚科	77(2)：179, 2015

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
金 哲雄、古村南夫、松本 満、 <u>橋本 隆</u>	皮膚自己抗原解析による胸腺における中枢性免疫寛容機序の解明	日本皮膚科学会雑誌	125(4)：963, 2015
永田 寛、石井文人、丸田康夫、大畑千佳、牧野輝彦、清水忠道、 <u>橋本 隆</u> 、名嘉眞武国	Duhring疱疹状皮膚炎の1例	日本皮膚科学会雑誌	125(4)：916, 2015
<u>秀 道広</u> 、岩本和真、大澤 勲、本田大介、小豆澤宏明、鈴木大士、山下浩平、田中 彰、パワーカール ルビー	WAO Guideline for the Management of Hereditary Angioedema 遺伝性血管性浮腫診療のためのWAOガイドライン	アレルギー	64：1215-1241, 2015
照井 正、秋山真志、池田志孝、小澤 明、金蔵拓郎、黒澤美智子、小宮根真弓、佐野栄紀、根本治、 <u>武藤正彦</u> 、山西清文、岩月啓氏	膿疱性乾癬（汎発性）診療ガイドライン2014年度版	日本皮膚科学会雑誌	125：2211-2257, 2015
藤本智子、 <u>横関博雄</u>	原発性手掌多汗症に対する長期50%塩化アルミニウム外用剤使用の効果と副作用の検討	Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology	9(4)：238-242, 2015
藤本智子、 <u>横関博雄</u> 、片山一朗、金田眞理、室田浩之、田村直俊、菅野範英、吉岡 洋、玉田康彦、四宮滋子、岩瀬 敏、犬飼洋子、原発性局所多汗症診療ガイドライン策定委員会	日本皮膚科学会ガイドライン 原発性局所多汗症診療ガイドライン2015年改訂版	日本皮膚科学会雑誌	125(7)：1379-1400, 2015
平成28年度 研究業績			
著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
高橋勇人、 <u>天谷雅行</u>	天疱瘡におけるデスモグレイン3 特異的T細胞の臓器を越えた病原的役割	医学のあゆみ	259 (2)：159-164, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
大井裕美子、角田梨沙、舩越建、山上 淳、谷川瑛子、寺本由紀子、 <u>天谷雅行</u>	乳癌の放射線治療部位に再燃した落葉状天疱瘡	皮膚病診療	38 (11): 1093-1096, 2016
<u>青山裕美</u>	DPP-4阻害薬内服患者に生じる薬剤関連水疱性類天疱瘡	皮膚病診療	38(10): 964-970, 2016
<u>青山裕美</u>	DPP-4阻害薬による薬剤性水疱性類天疱瘡	糖尿病の最新治療	7(4): 190-195, 2016
野口 篤、木村有太子、高森建二、須賀 康、 <u>池田志孝</u>	顆粒球吸着療法 (GMA)による治療を試みた関節症性乾癬の1例	第30回角化症研究会記録集	112-116, 2016
白石映智子、長谷川敏男、平澤祐輔、 <u>池田志孝</u>	炭酸ガスレーザーにて繰り返し治療した劣性栄養障害型表皮水疱症における指趾癒合-3例の治療経験-	皮膚科の臨床	58(5): 689-692, 2016
西岡いずみ、平澤祐輔、吉原渚、扇谷咲子、 <u>池田志孝</u> 、古賀浩嗣、橋本 隆	線状IgA/IgG水疱症	皮膚病診療	38(10): 1023-1026, 2016
中原とも子、小川尊資、平澤祐輔、古賀浩嗣、石井文人、橋本隆、 <u>池田志孝</u>	抗ラミニンγ1抗体を含む種々の自己抗体が検出された自己免疫性表皮下水疱症の1例	臨床皮膚科	70(13): 1039-1044, 2016
佐藤之恵、原 肇秀、大久保佑美、 <u>鋏塚 大</u> 、 <u>宇谷厚志</u>	【鑑別に苦慮した皮膚病(2)】 <臨床例>弾性線維性仮性黄色腫との鑑別を要した腋窩の多発性丘疹の2例	皮膚病診療	38: 595-598, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
<u>鈴木民夫</u>	【白斑治療の最前線】白斑の新しい分類と臨床像	Derma	239: 10-16, 2016
<u>鈴木民夫</u>	【皮膚疾患ペディア】色素異常症 眼皮膚白皮症(図説/特集)	日本医師会雑誌	145: 173, 2016
岡村 賢、 <u>鈴木民夫</u>	指定難病最前線 眼皮膚白皮症の診断基準と診療の実際(解説)	新薬と臨床	65: 1386-1391, 2016
濱本千晶、吉益 隆、岡村 賢、 <u>鈴木民夫</u> 、金澤伸雄、古川福実	眼皮膚白皮症(oculocutaneous albinism:OCA)4型の1例	日本小児皮膚科学会雑誌	35: 107-110, 2016
<u>玉井克人</u>	イラスト&ビジュアル「表皮水疱症」	Clinical Derma	18(1) : 3-6, 2016
<u>玉井克人</u>	表皮水疱症に対する遺伝子治療の現状と展望、今、着実に実り始めた遺伝子治療—最新研究と今後の展開	遺伝子医学MOOK	30: 158-163, 2016
<u>玉井克人</u>	末梢循環間葉系細胞の生体損傷組織再生メカニズムを利用した再生誘導医薬開発	Bio Clinica	31(10): 34-38, 2016
橋本啓代、山本洋輔、外川八英、石井文人、 <u>橋本 隆</u> 、松江弘之	Brunsting-Perry型を思わせる皮疹の分布を初発症状とした水疱性類天疱瘡	皮膚病診療	38(10): 983-986, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
秦 舞子、周 円、加納宏行、清島真理子、古賀浩嗣、 <u>橋本 隆</u>	肺癌患者に生じた抗180型粘膜類天疱瘡	皮膚病診療	38(10)： 995-998, 2016
守屋智枝、周 円、加納宏行、小森聡子、 <u>橋本 隆</u> 、石井文人、清島真理子	糖尿病治療薬による類天疱瘡型薬疹を疑った症例	皮膚病診療	38(10)： 1003-1006, 2016
西岡いずみ、平澤祐輔、吉原渚、扇谷咲子、池田志孝、石井文人、古賀浩嗣、 <u>橋本 隆</u>	線状IgA/IgG水疱症	皮膚病診療	38(10)： 1023-1026, 2016
片山智恵子、齊藤恭子、徳永千春、小澤知倫、石井文人、 <u>橋本 隆</u>	歯肉辺縁に生じた尋常性天疱瘡	皮膚病診療	38(11)： 1069-1072, 2016
白川典子、船坂陽子、菊地伊豆実、大塚流音、 <u>橋本 隆</u> 、川名誠司、佐伯秀久	【水疱症・膿疱症】原発性マクログロブリン血症に合併した腫瘍随伴性天疱瘡の1例	皮膚科の臨床	58(1)： 9-13, 2016
宇津宮まりか、佐々木哲雄、勝野正子、竹下芳裕、池澤善郎、野澤昭典、石井文人、 <u>橋本 隆</u>	【水疱症・膿疱症】掌蹠、口腔粘膜を中心に水疱を認めた後天性表皮水疱症の1例	皮膚科の臨床	58(1)： 31-35, 2016
藤田真文、遠藤雄一郎、藤澤章弘、谷岡未樹、大日輝記、椛島健治、石井文人、 <u>橋本 隆</u> 、宮地良樹	歯肉粘膜びらんのみを呈した粘膜類天疱瘡の1例	臨床皮膚科	70(3)： 207-212, 2016
伊藤恵梨、足立秀禎、鈴木伸吾、石井文人、 <u>橋本 隆</u>	潰瘍性大腸炎に合併した線状IgA水疱性皮膚症の1例	臨床皮膚科	70(8)： 585-590, 2016

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
川村みゆき、石井文人、松田光弘、大畑千佳、名嘉眞武国、 <u>橋本隆</u>	【遺伝子検索を行った皮膚病】 〈臨床例〉SERPINB7変異を認めた長島型掌蹠角化症の3例	皮膚病診療	38(8)：785-788, 2016
島本純子、谷崎英昭、黒川晃夫、森脇真一、濱田尚宏、 <u>橋本隆</u>	【遺伝子検索を行った皮膚病】 〈臨床例〉ATP2C1遺伝子に新規変異を認めたHailey-Hailey病	皮膚病診療	38(8)：793-796, 2016
山名やよい、小林里実、高山亜由美、福田俊平、 <u>橋本隆</u>	口腔粘膜病変に加えて爪囲炎と小水疱性皮疹を呈した抗BP180型粘膜類天疱瘡	皮膚病診療	38(10)：999-1002, 2016
岩本和真、 <u>秀道広</u>	クインケ浮腫	MB Derma	251：11-16, 2016
山口道也、中野純二、岡田悠、松山法道、 <u>武藤正彦</u>	難治性粘膜皮膚型尋常性天疱瘡	皮膚病診療	38：1077-1080, 2016
深井和吉、大磯直毅、川口雅一、佐藤美保、堀田喜裕、種村篤、金田眞理、川上民裕、西村栄美、林思音、山下英俊、錦織千佳子、佐野栄紀、片山一郎、 <u>鈴木民夫</u>	眼皮膚白皮症診断ガイドライン作成委員会：眼皮膚白皮症診療ガイドライン補遺	日本皮膚科学会雑誌	127：133-135, 2017
藤井麻美、水谷陽子、清島真理子、石井文人、 <u>橋本隆</u>	抗BP180型粘膜類天疱瘡	Visual Dermatology	16(1)：24-25, 2017
堤美穂、峠岡理沙、中川有夏、上田有希子、張財源、益田浩司、加藤則人、立石千晴、鶴田大輔、 <u>橋本隆</u>	抗ラミニン γ 1類天疱瘡の1例	臨床皮膚科	71(1)：37-42, 2017

著者名	論文タイトル	誌名	巻：頁、出版年(西暦)
岩本和真、 <u>秀 道広</u>	血管性浮腫の治療展望	アレルギーの臨床	37: 143-146, 2017